

雙雙

第三十年版

別有

まえがき

本要覧は別府市の概要を知る便に供するために編纂したもので主として昭和29年度の資料に基き集録したが調査の関係上これと異なるものは調査期日を略記した。

又市役所主管以外と雖も必要と認めたものは努めて集録した。内容の各部内に亘り不充分で改善の点が少なくないと思うが逐次整備を加へたいと思う。

尚編纂に当り貴重な資料を提供下さつた諸官署、諸団体各位に対して深く感謝の意を表すると共に本書がいさゝかなりとも市勢の一般を紹介するに役立つならば誠に幸である。

昭和30年9月

別府市役所



市長 荒金啓治



市議会議長 永井正



助役 岡本亮介



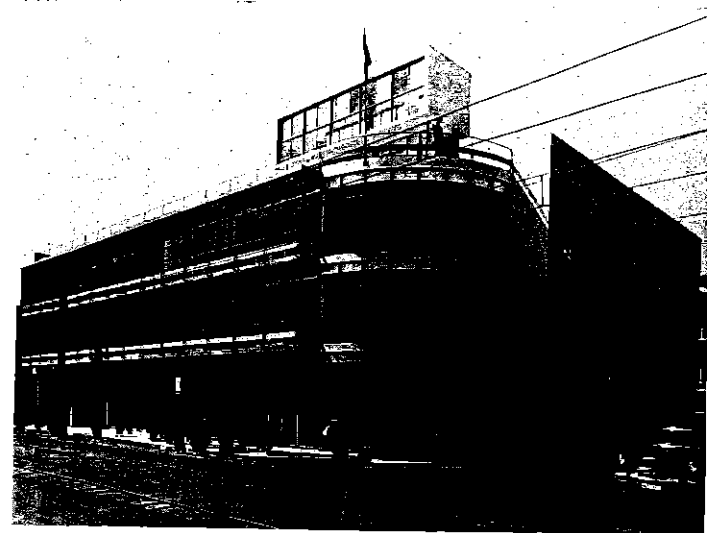
収入役 山田耕平



市議会副議長 大塚熊喜



伸びゆく国際観光都市大別府の遠望



新装なつた県物産観光館



仲よし公園より県警察を眺む



市営鉄筋アパート



モデルスクール青山中学校



大浴場



岩風呂

別府温泉



ロマンス風呂



天然砂湯



展望温泉(地上十五米)



ケーブル楽天地よりの
別府市の遠望



十 万 地 獄

地 獄



海 地 獄



湯 突 や ぐ ら

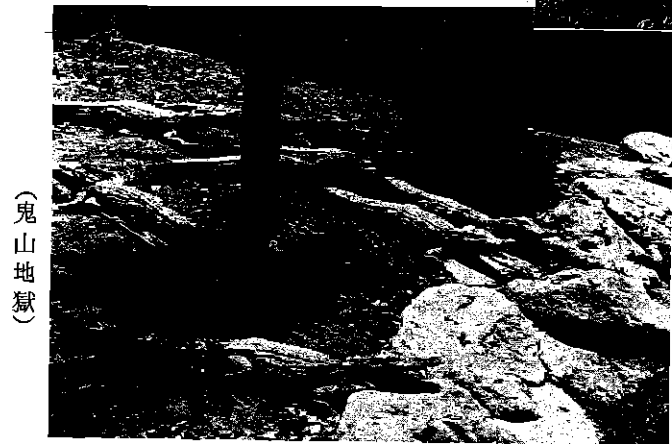


坊 主 地 獄

温泉で育てられている「ワニ」



(地中より吹出す温泉)



(鬼山地獄)



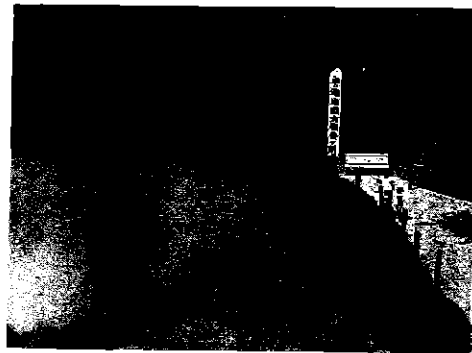
白池地獄



滝巻地獄



かまど地獄



血の池地獄



温泉祭 (地獄の鬼)



納涼花火大会

温泉祭 (温泉おどり)





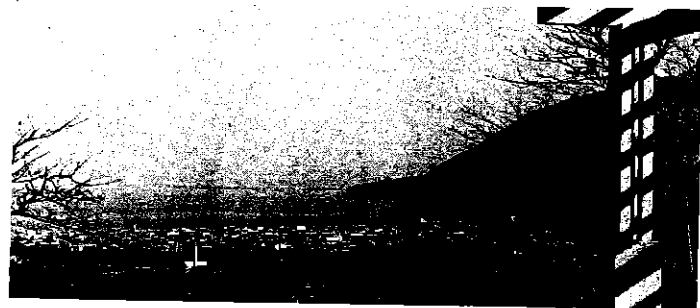
温泉熱を利用して育ったバナナ（滝巻地獄）



高崎山のサル



東洋一の仏



観海寺より別府市の遠望



由布川溪谷



城島高原ヒュッテ

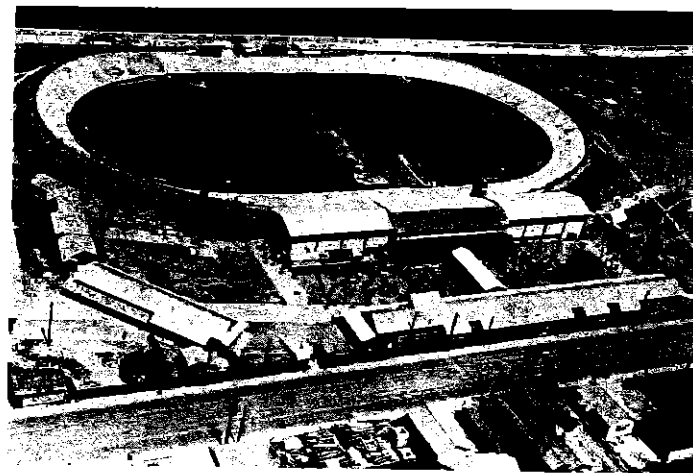
奥別府の
観光地



志高湖



城島キャンプ場



別府市営競輪場



別府ゴルフ場



海岸より見た
別府市全景



別府市勢要覽目次

第1編 総説

- 1 地 勢…………… 1
- 2 沿 革…………… 1
- 3 土 地…………… 3
 - イ 市庁位置 □ 面積及広さ
 - ハ 山 嶽 □ 河 川
 - ホ 池 沼 □ 滝
 - ト 官有民地 チ 民有有租地細別
- 4 家 屋…………… 4
 - イ 家 屋
- 5 気 象…………… 5
 - イ 気 温 □ 天 気
 - ハ 気象細別

第2編 人 口

- 1 人 口 静 態…………… 7
 - イ 年次別人口趨勢
 - 国籍別人口
 - ハ 行政区別人口及世帯数
 - ニ 校区別世帯人口面積
 - ホ 戸籍数及び本籍人口
- 2 人 口 動 態…………… 12
 - イ 月別人口動態
 - 年次別人口動態
- 3 都 市 別 人 口…………… 14

第3編 行 政

- 1 執 行 機 関…………… 15
 - 1 市 長
 - イ 歴代市長 □ 歴代職務管掌
 - 2 補助機関…………… 15
 - イ 歴代助役 □ 歴代収入役
 - ハ 機 構 □ 二 其の他の事務部局
 - ホ 市職員数及配置

A 特別職 B 一般職 C 配置

- 3 議 決 機 関…………… 20
 - イ 機 構 □ 歴代市議会議長
 - ハ 歴代市議会副議長
 - ニ 市議會議員
 - ホ 歴代市議會議員
 - 〜 市議会開会数及議決件数
- 4 委 員 会…………… 24
 - イ 選挙管理委員会
 - 監査委員会 □ 公平委員
 - ニ 固定資産評価委員
 - ホ 農業委員会

第4編 財 政

- 1 一般会計年次別比較…………… 30
 - イ 歳 入 □ 歳 出
- 2 一般会計才入才出予算…………… 32
 - イ 歳 入 □ 歳 出
- 3 特別会計才入才出予算…………… 34
 - イ 水 道 費 □ 競輪事業費
- 4 諸 税…………… 35
 - イ 負担状況 □ 市税目別税率
 - ハ 市税徴収状況
- 5 市 有 財 産…………… 36
 - イ 基本財産 □ 土 地
 - ハ 建 物
- 6 別 府 競 輪…………… 37
 - イ 競 輪 場 □ 月別車券売上高

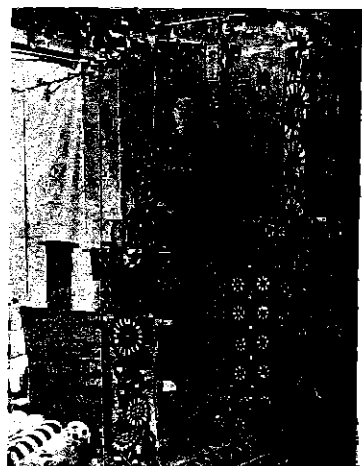
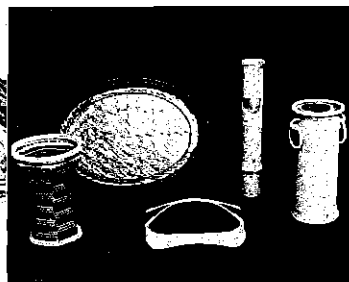
第5編 教 育

- 1 教育委員会…………… 39
 - イ 機 構 □ 委員及び職員数
 - ハ 委 員 □ 二 教育費(歳入歳出)
- 2 学 校 教 育…………… 41

竹 製 品

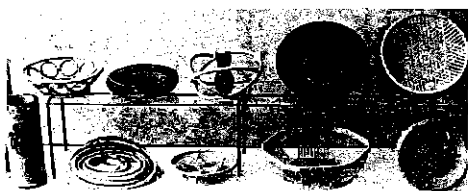


ザボン漬



しほり

竹製品



イ 幼稚園	ロ 小学校	
ハ 中学校	ニ 高等学校	
ホ 大学校	ヘ 各種学校	
ト 校地及び校舎		
チ 校舎坪数	リ 校地坪数	
ヌ 中学校卒業者状況		
ル 学校所在地及び学校長名		
3 社会教育		46
イ 公民館	ロ 図書館	

第6編 公安

1 司法		49
イ 別府簡易裁判所		
ロ 別府区検察庁		
ハ 大分地方法務局別府出張		
2 警察		51
イ 警察機構	ロ 派出所及び駐在所数	
ハ 交通事故	ニ 自殺者	
ホ 警察取締営業		
ヘ 犯罪発生及び検挙件数		
3 消防		54
イ 消防機構		
ロ 消防本部及び消防署職員数		
ハ 消防団員数		
ニ 火災発生件数及び損害額		
ホ 水 利	ヘ 建築同意件数	

第7編 産 業

1 全 産 業		57
イ 業 種 別		
2 商 業		61
イ 業態別店舗数及び従業者数		
3 工 業		62
イ 産業分類別従業者数(3人以下)		
ロ 産業分類別従業者数(4人以上)		
4 農 業		64
イ 農 地	ロ 農家及び農家人口	
ハ 農作物収穫高		
5 林 業		66

イ 林業者	ロ 造林状況	
ハ 林野生産別	ニ 市有林現況	
ホ 部分林の現況		
6 畜 産 業		68
イ 家畜飼養頭羽数		
ロ 家畜防疫検査状況		
7 水 産 業		69
イ 漁船数	ロ 漁網数	
ハ 月別漁獲高数		

第8編 金 融

1 金融機関		71
イ 金融機関		
2 銀行及び信用金庫		71
イ 銀行及び信用金庫預金		
ロ 銀行及び信用金庫貸付		
3 相互銀行業務		73
イ 相互銀行諸勘定		
4 郵便局業務		73
イ 貯金振替貯金為替		
ロ 簡易保険(その一)		
ハ 簡易保険(その二)		
5 農業協同組合業務		76
イ 農業協同組合諸勘定		

第9編 市民経済

1 生 計		77
イ 主要食糧配給数量		
ロ 家庭用主要食糧月別配給日数		
ハ 蔬菜果実販売数量		
ニ 魚介類販売数量		
ホ 屠畜頭数	ヘ 牛乳販売数量	
ト 酒類販売数量		
チ 酒類別販売数量		
リ 煙草販売高		
ヌ 煙草種類別販売数量		
2 水 道		79
イ 水道用地	ロ 給水栓数	
ハ 水 量	ニ 使用料	

ホ 消火栓数	ヘ 主要工事一覧表	
3 電 気		82
イ 電 灯	ロ 動 力	
ハ その他		
4 ガ ス		83
イ ガス消費量		
5 市民 娯 楽		83
イ 映画館及劇場		
6 宗 教		84
イ 神 道	ロ 仏 教	
ハ 単立教会	ニ キリスト教	

第10編 社 会

1 厚生 救 護		85
イ 生活保護法による被保護状況		
ロ 行路病人及び行路病死人		
ハ 母子福祉資金貸付状況		
ニ 身体障害者補装具交付状況		
ホ 未復員者及特別未帰還者留守家族に対する給与状況		
ヘ 公営住宅	ト 募金状況	
チ 引揚復員関係		
リ 自衛隊応募及び合格者状況		
ヌ 市内収容福祉施設		
2 未亡人の現況		88
イ 年令別未亡人数		
ロ 寡婦になつた原因別		
ハ 寡婦になつてからの年数		
ニ 未亡人の学歴	ホ 就業状況	
ヘ 生活状況	ト 月額収入別	
3 労 働		89
A 就職失業保険について		89
イ 失業保険業務取扱状況		
ロ 常用求人就職状況		
ハ 臨時日雇求人就職状況		
ニ 安定所への来所		
ホ 昭和28年度29年度業務取扱状況		
ヘ 市営失業対策事業稼働状況		

ト 市の日雇労働者保険手帳交付状況及び受給資格証明書交付状況		
B 労働問題		94
イ 産業別性別単位労働組合組織状況		
ロ 関係法規別労働組合組織別状況		
ハ 労働協約締結状況		
ニ 無協約状況		

第11編 保健衛生

1 衛生 施設		97
イ 医療保健調		
ロ 医療関係従業者数		
2 防 疫 状 況		98
イ トラホーム検診治療状況		
ロ 予防接種実施状況		
ハ 定期種痘状況		
ニ 消毒状況	ホ 鼠族駆除状況	
ヘ 主要薬品使用量		
ト 狂犬病予防状況		
チ 埋火葬状況	リ 屠畜状況	
ヌ 塵 芥	ル 尿 尿	
3 疫病罹患状況		100
イ 病名別死亡者数		
ロ 赤痢発生より死亡迄の時間		
ハ 法定伝染病の発生届出数年次別推移		
ニ 法定伝染病患者死亡の年次別推移		
ホ 昭和25年以降年令別結核発生数		
ヘ 結核発生罹患率の年次別推移		
ト 性病患者届出数の年次別推移		
チ 精神障害者入院者年次別比較		
リ 死産及び死産率の年次別推移		
ヌ 既往5ヶ年間の赤痢の月別発生数		
ル 赤痢の細病名別月別発生数		
オ 町内赤痢発生数		

第12編 交通通信

1 道 路		105
イ 道 路	ロ 橋 梁	

第一編 総説

1 地 勢
2 沿 革
3 土 地
4 家 屋
5 気 象

2 国 鉄…………… 106
 イ 月別乗降客数
 ロ 貨物発着量 ハ 収 入
 ニ 定期券数及び団体数
 ホ 国鉄年度別乗降人員

3 船 舶…………… 107
 イ 航路状況 ロ 入港船舶
 ハ 入港船舶吨数階級別
 ニ 航路別乗降人員

4 軌道及バス…………… 108
 イ 乗車人員 ロ 貨切バス
 ハ 定期バス輸送実績

5 諸 車…………… 110
 イ 諸車台数 ロ 自転車及荷車

6 通 信…………… 110
 イ 郵 政 ロ 郵便物
 ハ 電 報

7 電 話…………… 112
 イ 年度別加入者数及電話機数
 ロ 月別通話数

第13編 温 泉

1 温 泉…………… 113
 イ 温泉数 ロ 噴気孔数
 ハ 地区別温泉数
 ニ 温泉工事費
 ホ 市営有料温泉入浴者数
 ヘ 市営有料温泉入浴者及料金
 年別比較
 ト 月別各市営温泉入浴料金

2 温泉 効 能…………… 116
 イ 温泉効能

3 温泉 案 内…………… 117

第14編 建 設

1 はしがき…………… 125
 2 別府市の現状並びに特異性… 125
 3 都市建設計画…………… 126
 イ 都市計画区域

ロ 将来の人口 ハ 都市の性格
 ニ 市街地区域 ホ 街路計画
 ヘ 公園計画 ト 港湾計画
 テ 土地区劃整理地区
 リ 用途地域 ヌ 風致地域

4 む す び…………… 132

第15編 観 光

1 観 光 案 内…………… 135
 2 名 所 旧 蹟…………… 141
 3 別府の民謡…………… 147

附 録

1 県議会議員…………… 151
 2 官公署、その他…………… 151
 3 新聞支局印刷物発行通信所… 153
 4 政治 団 体…………… 154
 5 文化 団 体…………… 155
 6 各種 組 合…………… 156
 7 自治 委 員…………… 159
 8 民生 委 員…………… 160

第 1 編 総 説

1 地 勢

瀬戸内海の白波が西に尽くる所、由布、鶴見の連峰を背に負い、南に四極山を北は国東半島に接し、別府湾を展望する所、湯けむり漂う京都が世界に比なき我が大別府市である。

地勢は南西に高く四極山、小鹿山、所謂小鹿山脈は西に走り鶴見連峰に連り、南西部一帯は山紫水明郷をなし、鶴見岳にならぶ扇を倒した様な美しい扇山と共に別府の風光を増している鶴見連峰に源する朝見川、春木川、関の江川等東に流れて別府湾に注ぎ、北西一帯は所謂地獄帯をなし、海地獄、坊主地獄、血の池地獄など数多の地獄が各々特色ある熱湯、熱気を吹き上げるさまは、実に凄絶である。別府の生命である温泉は地獄地帯に限らず谷間、山麓、海浜到る所に湧出し現左湧出ヶ所四千三百有余、湧出量一昼夜四十万石に達している。而かも泉質は極めて多様であり、霊泉としての凡ゆる効用を具備している事は温泉としては正に理想的である。殊に交通は至便にして陸には日豊線に依り上りは小倉、門司を経て阪神、関東地方へ下りは大分より宮崎、鹿児島へ通じ、大分経由の豊肥線及び久大線により熊本及び北九州各地との交通も多く、亦海では関西汽船により阪神地方或は中国、四国諸港との交通繁く、歳と共に観光地としての名声は著く知らるるに至つた。

2 沿 革

東洋のナポリと謳われ世界の楽土と讃えらるる我が別府も其の発展は比較的最近であつた。貝原益軒の豊国紀行に「別府は石垣村の南にあり民家百軒許民家の宅中に温泉十ヶ所あり何れも清し」と記されている。之を現在の別府と比較すれば感慨深きものがある。

別府なる名称に就ては王朝時代、別勅符賜田に指定せられ、この別府田は田制の紊れと共に荘園私墾と同様になり郷村と並び称せられ、遂に地名に転換したものと伝えられている。

建久七年三月大友能直、豊前豊後の守護職となり、以来四百年代々、大友氏の統治する処であつた。文祿二年大友氏国除となり越えて慶長二年福原直高の領する所となつた。慶長四年八月以来細川忠興の管する所となり、徳川幕府時代幕府の直轄として高松代官に依り支配せられた、明治維新の後別府村として日田県に属し、明治二十一年町村制の発布に依り自治体となり、二十六年別府町となり、三十九年には浜脇町を合併した。爾来町勢は次第に進展し内には市区改正、耕地整理、温泉改良上水道施設等の諸事業を完成し、外には明治四十四年七月十六日、日豊本線別府駅の開通あり、大正九年大阪商船会社の別府港に繋船壁を施設し、海陸交通の便次第に完備するに随い、別府温泉の名は漸く宣伝せられ、浴客の増加と共に人口は急激なる膨張を示し、明治三十九年浜脇町を合併せる当時の六千七百余の人口は大正九年の国勢調査には二万八千六百余に増加した。大正十三年四月市制を施行、昭和三年中外産業博覧会を開催し、益々別府市の名を中外に弘め、遊覧都市としての施設も漸く完備した。而かも四囲の状勢は西北に発展するに至り、昭和十年九月隣接町村石垣村、朝日村、亀川町と合併し、人口六万二千有余となり、温泉政策の統一遊覧施設の統合、生産者と消費者の融合に依る大別府躍進の基礎を築いた。

昭和十二年には国際温泉観光大博覧会を開催し温泉の宣伝と観光客誘致に努め、更に戦災を免れたる別府温泉は終戦後いよいよその名声を天下に走せ、人口も十万近くに上昇した昭和二十五年には別府国際観光温泉文化都市建設法の成立を見昭和二十六年には大別府港の修築に着工し、各種観光施設の充実と共に国内各地よりの観光客は勿論米本国、ハワイ、其の他外国よりこの地を訪う客は累年多きに上りつつある。別府市は偉大な観光都の将来を約束されつつ発展の一路を邁進している。

3、土 地

イ、市庁位置

昭30.8.1現在

市 庁 位 置	別府市大字別府100番地の1
東 経	131度26分56秒
北 緯	33度17分12秒

ロ、面積及広さ

昭30.8.1現在

面 積	方 料	108,469平方料	方 里	6.78平方里
東 西		9.15料	商 北	11.8料
広	極 東	別府市大字浜脇下鉄幣		
	極 西	別府市大字東山字西裏野		
字	極 南	別府市大字東山字倉喜		
	極 北	別府市大字内竈字北新田		
大 字 数	11	行 政 区 数	100	

ハ、山 嶽

昭30.8.1現在

名 称	位 置	高 さ
由 布 岳	別府市東山	1,584m
鶴 見 岳	別府市鶴見	1,375m
扇 山	別府市石垣	792m
雨 乞 岳	別府市大分郡境	1,074m

ニ、河 川

昭30.8.1現在

名 称	水 源 地 名	流 末 地 名	管 内 経 過	
			地 名	里 程
由 布 川	別府市大字東山	大分郡賀来村	大 分 郡	6.0Km
境 川	別府市鶴見	別府市大字南石垣	別 府 市	5.5Km
香 木 川	別府市内山	別府市大字北石垣	別 府 市	6.7Km
小 挾 間 川	別府市大字東山	大分郡阿南村	大 分 郡	5.3Km
朝 見 川	別府市南立石	別府市大字浜脇	別 府 市	5.2Km

ホ、池 沼

昭30.8.1現在

名称	位置	周囲	面積
志高湖	別府市城島	1.5km	975m ²

ハ、滝

昭30.8.1現在

名称	位置	落差	幅員
乙原滝	別府市大字別府字乙原	60m	13m
鮎返滝	別府市大字別府字耳取	10m	15m
登竜滝	別府市由布川溪谷	30m	3m
観音滝	別府市山の口溪谷	25m	6m

ト、官民有地

昭30.8.1現在

官有地	国有林野	其他	計
	12,560反	24,895反	
民有地	有租地	無租地	計
	28,806反	26,521反	

チ、民有有租地細別

昭30.8.1現在

地目	田	畑	宅地	鉱泉地
評価総面積	8,486.63反	3,191.35反	1,192,471.60坪	2,680.00坪
総価格	367,148,600円	64,150,500円	2,745,069,600円	184,484,400円
地目	原野	山林	その他	計
評価総面積	5,933.58反	7,097.76反	107反95	28,806反91
総価格	685,400円	15,726,400円	6,609,000円	3,388,360,400円

4、家 屋

イ、家 屋

昭30.8.1現在

家屋区分	個数及び棟数	総床面積	総価格	坪当価格
農 家	1,679個	54,854坪	181,698,600円	3,312円
専用住宅	8,820	204,899	1,696,173,800	8,278
併用住宅	1,904	62,352	482,012,200	7,730
店 舗	1,050	79,071	1,055,805,400	13,352
工 場	185	9,942	64,680,600	6,505
アパ-ト	78	5,631	70,232,900	12,472
倉 庫	180	5,113	27,503,100	5,379
雑種家屋	824	21,410	151,556,800	7,078
計	14,720	443,272	3,729,663,400	8,413

5、氣 象

イ、氣 温

昭29.4~30.3

氣 温		結 霜		降 雪	
最 高	最 低	初	終	初	終
8月22日 33度8分	1月11日 4度2分	12月13日 2度1分	2月2日 0度9分	1月5日 3度4分	3月6日 1度6分

(京都大学理学部附属火山温泉別府研究所調)

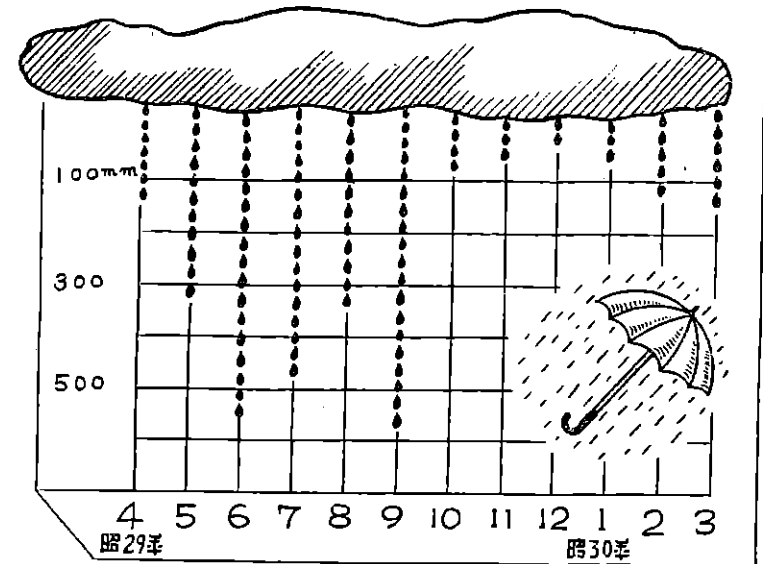
ロ、天 気

昭29.4~30.3

快 晴	晴 天	曇 天	降 雨	降 雪	霧
35日	125日	207日	154日	9日	57日

(京都大学理学部附属火山温泉別府研究所調)

月別降雨量



ハ、気象細別

昭29.4~30.3

区分 月別	気 温			降 水		日 照 時		気圧平均 mmHg	湿度平均 %
	平均	最高極	最低極	総 量 mm	日 数 日	総 量 R	日照率 %		
29年 4月	14.7 °C	25.4 °C	4.1 °C	137.08 mm	12	150.79 R	38.8 %	754.38 mmHg	75.0 %
5月	18.0	27.5	7.8	311.62	17	140.46	33.0	752.17	82.2
6月	20.1	27.5	12.0	636.74	18	108.90	25.9	748.96	83.5
7月	23.7	31.4	16.7	497.88	22	74.74	17.3	749.28	88.8
8月	26.9	33.8	20.5	330.20	9	204.52	49.8	750.28	81.5
9月	18.6	30.4	13.2	566.18	14	145.43	29.4	749.95	83.3
10月	16.9	23.5	7.5	80.95	9	141.37	20.2	756.51	77.7
11月	14.5	23.7	6.7	77.85	5	157.23	44.7	758.06	73.0
12月	9.0	17.8	1.3	33.10	3	155.47	49.9	760.59	68.9
30年 1月	5.0	15.6	-4.5	40.05	6	159.47	50.1	757.97	63.2
2月	7.5	18.5	-3.5	114.30	8	171.98	56.6	755.65	70.8
3月	10.2	24.7	0.5	126.03	13	139.78	37.7	757.97	77.4

(京都大学理学部附属火山温泉別府研究所調)

第二編 人 口

- 1 人 口 静 態
- 2 人 口 動 態
- 3 都 市 別 人 口

年度別	区分	世帯数 (世帯)	人口 (人)			対前年増減 (人)	摘 要
			合 計	男	女		
大正 2 年		4,444	21,970	10,450	11,520	7,925	
3		4,556	22,578	10,822	11,756	608	
4		4,622	22,935	10,990	11,945	357	国勢調査
5		4,668	23,386	11,344	12,042	451	
6		4,742	24,043	11,671	12,372	657	
7		4,975	25,663	12,513	13,150	1,620	
8		5,086	26,084	12,795	13,289	421	
9		5,188	28,647	13,789	14,858	2,563	国勢調査
10		5,916	28,183	13,885	14,298	-464	
11		6,623	30,525	15,243	15,282	2,342	
12		7,032	33,546	16,769	16,777	3,021	
13		7,404	36,276	18,104	18,172	2,730	市制施行
14		8,748	37,529	18,022	19,507	1,253	国勢調査
昭和 元年		8,296	38,457	19,190	19,267	928	
2		8,450	39,468	19,730	19,738	1,011	
3		8,905	41,521	20,827	20,694	2,053	
4		9,258	43,640	21,892	21,748	2,119	
5		9,489	43,795	21,869	21,926	155	国勢調査
6		9,639	44,353	22,288	22,065	558	満洲事変勃発
7		9,791	45,184	22,497	22,687	831	
8		9,942	46,009	22,945	23,064	825	
9		10,103	46,974	23,350	23,624	965	
10		13,596	62,346	29,730	32,616	15,372	朝日村、石垣村、亀川町、合併 国勢調査
11		13,659	63,597	31,559	32,038	1,251	
12		13,874	64,498	31,639	32,859	901	支那事変勃発
13		13,326	64,435	31,079	33,356	-63	"
14		13,596	65,741	—	—	1,306	"
15		13,819	66,756	—	—	1,015	" 国勢調査
16		14,755	68,134	—	—	1,378	亦二次世界大戦勃発
17		15,258	70,215	—	—	2,081	"
18		15,513	72,101	—	—	1,886	"
19		15,776	71,095	—	—	-1,006	"
20		16,213	69,989	31,614	38,375	-1,106	終戦
21		19,355	83,801	37,895	45,906	13,812	
22		23,903	96,685	45,223	51,462	12,884	臨時国勢調査

年度別	区分	世帯数 (世帯)	人口 (人)			対前年増減 (人)	摘 要
			合 計	男	女		
23		23,946	94,380	43,077	51,303	-2,305	常住人口調査
24		23,071	95,221	43,420	51,801	841	
25		22,873	93,033	42,331	50,702	-2,188	国勢調査
26		23,538	95,932	43,586	52,346	2,899	
27		23,373	94,632	42,990	51,642	-1,300	常住人口
28		23,218	96,538	43,633	52,905	1,906	"
29		23,546	99,317	45,510	53,807	2,779	"

ロ、国籍別人口

12月末現在

年度別	国 籍 別	朝 鮮	大 韓 民 国	ア メ リ カ	イ タ リ ヤ	ベルギー	オーストリア	ス イ ス	比 律 賓	中 国	カ ナ ダ	ソ 連	ブラジル	無 国 籍	計
26		793	17	24	14	1	2	1	1	18	1	3	1	8	894
27		799	24	32	14	1	3	1	1	17	2	3	1	4	902
28		791	26	33	14	1	3	1	1	19	2	3	1	4	899
29		784	26	34	14	2	3	1	1	17	2	2	1	3	890

ハ、行政区別人口及び世帯数

昭30.4.1現在

町 名	世帯数	人 口			町 名	世帯数	人 口		
		計	男	女			計	男	女
天 満	373	1,382	691	691	南 区	597	1,967	976	991
上野口	318	1,321	602	719	南 下	239	963	437	526
東野口	207	794	376	418	朝 見	343	1,277	594	683
南野口	206	801	358	443	此ノ花	328	1,369	661	708
下野口	378	1,521	681	840	錦	434	1,858	892	966

町名	世帯数	人口			町名	世帯数	人口		
		計	男	女			計	男	女
大和	183	739	337	402	乙原	60	294	144	150
富士見	492	1,966	916	1,050	原	311	1,268	574	694
行合	461	1,961	845	1,116	朝見上	204	852	427	425
北町	367	1,409	642	767	真光寺	469	1,979	936	1,043
北浜	215	951	344	607	栄	279	1,135	546	589
海門寺	269	1,516	558	958	八幡	309	1,244	548	696
楠浜	117	607	250	357	上ノ町	263	954	442	512
流川	93	472	210	262	赤松	32	193	100	93
老松	297	1,173	441	732	西町	298	1,158	533	625
仲町	177	782	371	411	山田	274	1,081	529	552
楠町	293	1,427	539	888	南末広	266	1,017	497	520
的ヶ浜	185	804	354	450	新町	110	536	169	367
上のヶ浜	225	916	443	473	魚栗	272	1,067	383	684
梅園	230	1,040	410	630	田ノ口	30	158	76	82
日ノ出	179	741	238	503	浦田	71	652	240	412
港町	116	651	259	392	河内	64	259	126	133
弓ヶ浜	431	1,796	815	981	鳥越	58	304	179	125
西野口	216	840	389	451	柳	54	200	97	103
本町	144	601	360	241	東蓮田	315	1,384	646	738
不老	410	1,696	705	991	西蓮田	172	681	317	364
田ノ湯	349	1,242	512	730	山家	449	1,656	775	891
上田ノ湯	381	1,458	651	807	東町	225	914	443	471
上原	372	1,452	704	748	東仲町	193	706	318	388
住吉	168	769	316	453	実相寺	52	272	124	148
松原	407	1,648	772	876	中須賀	174	737	356	381
向浜上	230	899	419	480	春木	72	281	123	158
向浜下	304	1,170	543	627	南須賀	90	444	228	216
中浜	165	692	333	359	上人	304	1,278	609	669
浜町	254	640	263	377	南石垣	257	1,150	581	569
羽衣	163	679	302	377	吉弘	206	947	463	484
秋葉	371	1,393	636	757	若草	168	619	285	334
北末広	301	1,109	499	610	明凡	76	299	135	164
南町	331	1,330	623	707	小倉	63	342	184	158

町名	世帯数	人口			町名	世帯数	人口		
		計	男	女			計	男	女
竹ノ内	60	297	136	161	浜田	340	1,353	655	698
馬場	61	315	148	167	湯山	41	177	94	83
新別府	102	372	152	220	上人浜町	91	320	143	177
鶴見	110	467	223	244	南立石一	220	967	395	572
大畑	43	227	122	105	南立石二	98	460	230	230
火売	175	804	368	436	堀田	92	444	207	237
鉄輪	601	2,078	918	1,160	別府荘園	350	1,632	755	877
北鉄輪	57	285	127	158	扇山	49	214	96	118
亀川上	329	1,368	662	706	東山一	49	255	119	136
亀川中	224	984	451	533	東山二	49	245	126	119
亀川下	447	1,788	807	981	枝郷	51	289	140	149
平田	235	1,108	519	589	山ノ口	45	287	149	138
四ノ湯	337	1,308	609	699	城島	25	153	82	71
内籠	355	1,679	833	846	特別配給	7	1,719	1,113	606
古市	311	1,514	735	779					
野田	101	514	241	273	総数	23,615	99,512	45,755	53,757

二、校区别世帯人口面積

昭30.4.1現在

校区别	区分	世帯数 (世帯)	人口(人)			面積 (平方米)	人口密度 一平方 当(人)	一世帯当 人口(100人 に)	男女比 対(人)
			総数	男	女				
野口	学校区	2,985	11,900	5,448	6,452	665,551	17,780	3.98	84.4
北	"	2,827	12,876	5,232	7,644	474,767	27,120	4.55	68.4
南	"	3,531	13,259	6,119	7,140	342,995	38,656	3.73	85.7
蓮田	"	3,147	12,920	5,870	7,050	6,598,609	1,957	4.10	83.2
西	"	2,737	11,276	5,322	5,954	1,943,972	5,800	4.11	89.3
青山	"	1,871	7,289	3,321	3,968	1,201,709	6,065	3.89	83.6
石垣	"	1,323	5,728	2,769	2,959	4,722,299	1,212	4.32	93.7
南立石	"	809	3,717	1,683	2,034	14,127,789	0,263	4.59	82.7
東山	"	219	1,229	616	613	43,753,009	0,028	5.61	100.4
朝日	"	1,348	5,486	2,513	2,973	18,584,203	0,295	4.06	84.5
亀川	"	2,811	12,113	5,749	6,364	16,055,130	0,754	4.30	90.3
特別配給		7	1,719	1,113	606				
計		23,615	99,512	45,755	53,757	108,470,033	0,917	4.21	85.1

(注) 特別配給による人員は、市内にある療養所(七ヶ所)関係の人員を示す。

ホ、戸籍数及び本籍人口

昭29.12.31現在

本籍数	昭和28年	17,567戸	本籍人口	昭和28年	71,504人
	昭和29年	18,121		昭和29年	72,751

2、人口動態

イ、月別人口動態

昭29.4~30.3

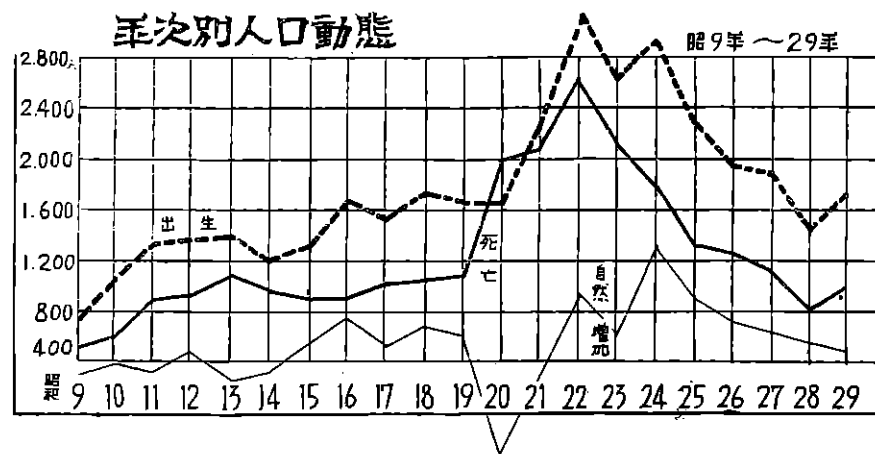
区分 月別	出生			死亡			自然 増加	死産	婚姻	離婚	転入	転出
	男	女	計	男	女	計						
29年 4月	72	82	154	48	42	90	64	45	70	6	974	272
5月	55	52	107	42	47	89	18	37	50	10	696	679
6月	60	52	112	57	38	95	17	29	55	16	633	419
7月	79	67	148	43	40	83	63	32	55	14	535	461
8月	78	81	159	50	53	103	56	56	41	7	607	614
9月	82	73	155	46	64	110	45	44	42	13	701	300
10月	73	61	134	63	32	95	39	47	58	13	682	392
11月	70	56	126	46	43	89	37	37	75	11	640	381
12月	82	77	159	64	44	108	51	34	100	11	570	355
30年 1月	77	75	152	54	36	90	62	48	44	10	499	302
2月	67	64	131	52	43	95	36	50	69	11	575	300
3月	77	66	143	51	43	94	49	52	63	11	702	388
計	872	806	1,678	616	525	1,141	537	511	722	133	7,814	4,863

ロ、年次別人口動態

昭23~29年

区分 年次	出生			死亡			自然 増加	死産	婚姻	離婚
	男	女	計	男	女	計				
昭和 23年	1,311	1,213	2,524	1,137	877	2,014	510	241	988	111
24年	1,531	1,453	2,984	951	866	1,757	1,227	358	1,074	115
25年	1,152	1,035	2,187	744	634	1,378	809	606	1,096	215
26年	1,027	956	1,983	682	590	1,272	711	570	668	139
27年	933	916	1,849	631	533	1,164	685	566	745	152
28年	675	676	1,351	427	356	783	568	507	511	114
29年	872	806	1,678	616	525	1,141	537	511	722	133

年次別人口動態



3. 都市別人口

30. 4. 1 現在

都市名	人口	市制施行年月日	都市名	人口	市制施行年月日
福岡県 (19)			大分県 (11)		
福岡市	500,388	明 22.4.1	大分市	104,292	明 44.4.1
久留米市	129,047	" 22.4.1	別府市	103,127	大 13.4.1
門司市	142,103	" 32.4.1	中津市	66,634	昭 4.4.20
小倉市	240,159	" 33.4.1	日田市	67,063	" 15.12.11
若松市	99,612	大 3.4.1	佐伯市	53,543	" 16.4.29
大牟田市	200,523	" 6.3.1	臼杵市	48,065	" 25.4.1
八幡市	279,273	" 6.3.1	津久見市	37,247	" 26.4.1
戸畑市	105,557	" 13.9.1	鶴崎市	31,590	" 29.3.31
直方市	66,403	昭 6.1.1	竹田市	36,473	" 29.3.31
飯塚市	66,997	" 7.1.20	豊後高田市	30,704	" 29.5.31
田川市	98,771	" 18.11.3	杵築市	30,645	" 30.4.1
柳川市	48,958	" 27.4.1	宮崎県 (7)		
甘木市	49,161	" 29.4.1	宮崎市	137,503	大 13.4.1
筑後市	42,460	" 29.4.1	都城市	78,067	" 13.4.1
山田市	37,534	" 29.4.1	延岡市	98,121	昭 8.2.11
八女市	41,834	" 29.4.1	日南市	56,608	" 25.1.1
大川市	50,095	" 29.4.1	小林市	43,896	" 25.4.1
行橋市	46,406	" 29.10.10	日向市	37,968	" 26.4.1
豊前市	37,514	" 30.4.10	串間市	41,748	" 29.11.3
佐賀県 (7)			鹿児島県 (12)		
佐賀市	121,675	明 22.4.1	鹿児島市	265,901	明 22.4.1
唐津市	76,944	昭 7.1.1	川内市	48,812	昭 15.2.11
鹿島市	39,297	" 29.4.1	鹿屋市	71,368	" 16.5.27
伊万里市	83,541	" 29.4.1	枕崎市	36,252	" 24.9.1
鳥栖市	40,352	" 29.4.1	串木野市	35,543	" 25.10.1
武雄市	41,826	" 29.4.1	阿久根市	32,140	" 27.4.1
多久市	47,180	" 29.5.1	名瀬市	42,456	" 28.12.25
長崎県 (8)			指宿市	35,222	" 29.4.1
長崎市	296,323	明 22.4.1	大口市	42,649	" 29.4.1
佐世保市	256,873	" 35.4.1	加世田市	34,373	" 29.7.15
島原市	46,257	昭 15.4.1	国分市	35,170	" 30.2.1
諫早市	66,212	" 15.9.1			
大村市	57,484	" 17.2.11			
福江市	34,101	" 29.4.1			
平戸市	42,694	" 30.1.1			
松浦市	43,097	" 30.3.31			
熊本県 (9)					
熊本市	323,678	明 22.4.1			
八代市	89,024	昭 15.9.1			

第三編 行政

- 1 執行機関
- 2 補助機関
- 3 議決機関
- 4 委員会

第 3 編 行 政

1 執行機関

(1) 市 長

現別府市長荒金啓治氏は昭和30年4月30日に行はれた市長選に直接市民の手によつて選出された第12代の公選市長である。

市長は総括的な市の執行機関として市の行政を統轄し、市の自治事務の外、法令によつて委ねられた国の事務をも管理施行する広はんな職権をもっている。

イ、歴代市長

順位	氏 名	就職年月日	退職年月日	備 考
1 代	神 沢 又 市 郎	大正 13. 9.26	昭和 3. 5.28	
2 代	平 山 茂 八 郎	昭和 3. 5.29	昭和 7. 5.28	
3 代	平 山 茂 八 郎	昭和 7. 5.29	昭和 10. 6. 3	
4 代	永 野 濟	昭和 10. 8.30	昭和 10. 9. 8	
5 代	小 野 廉	昭和 10. 9.22	昭和 13. 4.11	
6 代	内 藤 晴 三 郎	昭和 13. 7.11	昭和 17. 7.10	
7 代	平 山 茂 八 郎	昭和 17. 9.24	昭和 17.10.19	
8 代	末 松 偕 一 郎	昭和 17.10.20	昭和 21.10.19	
9 代	脇 鉄 一	昭和 21.11.13	昭和 22. 4. 5	
10 代	脇 鉄 一	昭和 22. 4. 6	昭和 26. 4. 2	公 選 に よ る
11 代	脇 鉄 一	昭和 26. 4.25	昭和 30. 4.12	”
12 代	荒 金 啓 治	昭和 30. 5. 2	現 在	”

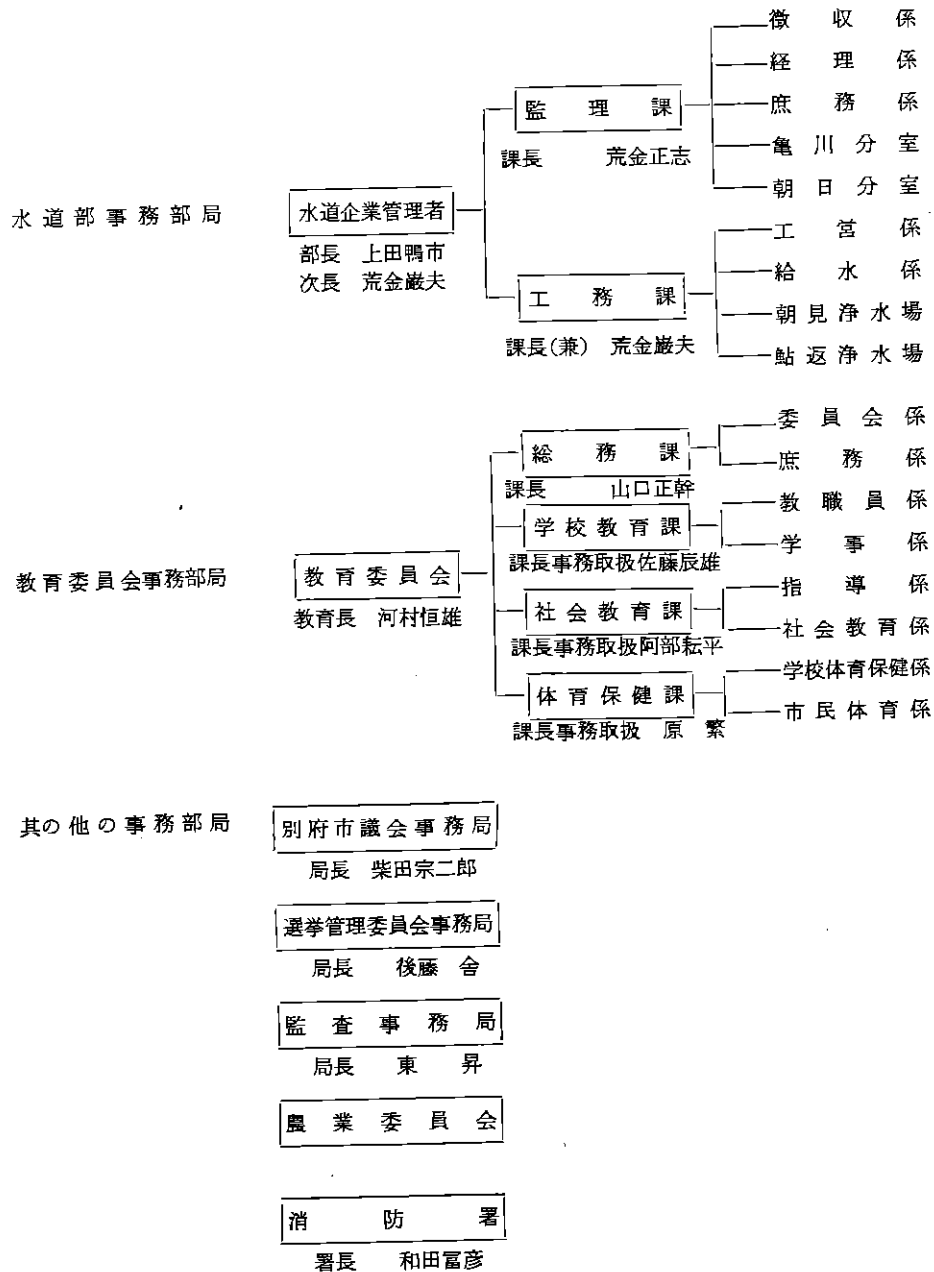
ロ、歴代職務管掌

順位	氏 名	就職年月日	退職年月日	備 考
1 代	大 木 俊 輔	大正 13. 4. 1	大正 13. 9.26	職 務 管 掌
2 代	小 坂 登	昭和 10. 6. 4	昭和 10. 8.30	”
3 代	福 田 潤	昭和 17. 8.19	昭和 17. 9.24	臨 時 代 理 者

2、補助機関

市長の補助機関として助役、収入役をはじめ多数の職員をおき市政の円満なる運

二、其の他の事務部局 (昭和30年10月15日現在)



ホ、市職員数及配置

A 特別職		B 一般職							昭30.10.15現在			
職名	市長	助役	収入役	主事	技師	書記	技手	社会福祉主事	嘱託	雇	その他	合計
員数	1	1	1	63	(1) 16	(1) 135	12	16	12	144	(1) 152	(3) 550

() の中の数字は休職者を示す

B 配置

課名	区分	職名		局長		吏員		嘱託	雇	その他	計
		局長	課長	事務吏員	技術吏員	事務吏員	技術吏員				
市長室		1	—	2	—	2	1	1	4	—	11
総務課		1	—	2	—	9	—	1	12	9	34
戸籍課		1	—	2	—	6	—	—	6	—	15
課税課		1	—	2	—	12	—	—	10	1	26
徴税課		1	—	2	—	16	—	—	13	1	33
経済課		1	—	3	—	4	(1) 4	3	5	—	(1) 20
衛生課		1	—	3	—	6	—	—	18	22	50
社会課		1	—	3	—	20	—	3	11	2	40
土木課		—	1	—	2	3	—	—	11	3	20
建築課		—	1	—	2	—	5	—	2	—	10
観光課		1	—	1	—	3	—	—	—	(1) 1	(1) 6
温泉課		—	1	1	—	2	—	—	5	60	69
競輪課		1	—	2	—	—	—	—	4	—	7
収入役室		1	—	2	—	5	—	—	8	1	(1) 17
亀川出張所		—	—	1	—	(1) 2	—	—	4	—	(1) 7
朝日出張所		1	—	—	—	1	—	—	1	1	4
市長事務部局計		12	3	26	4	(1) 91	(1) 10	8	114	(1) 101	(3) 369
監理課	(含部長)	2	—	2	—	12	—	—	7	4	27
工務課		—	1	—	2	—	7	1	3	45	59
水道事務部局計		2	1	2	2	12	7	1	10	49	86
総務課		1	—	—	—	2	—	—	3	—	6
学校教育課		1	—	—	—	2	—	—	2	—	5
体育保健課		1	—	—	—	—	—	—	1	—	2
社会教育課		1	—	—	—	1	—	3	3	1	9
教委事務局計		4	—	—	—	5	—	3	9	1	22
議会事務局		1	—	—	—	2	—	—	4	—	8
選管事務局		1	—	—	—	4	—	—	1	—	6
監査事務局		1	—	1	—	1	—	—	2	—	5
農委部局		—	—	—	—	6	—	—	1	—	7
消防署		1	—	4	—	39	—	—	3	—	47
合計		22	4	33	6	(1) 161	(1) 17	12	144	(1) 152	(3) 550

() の中の数字は休職者を示す

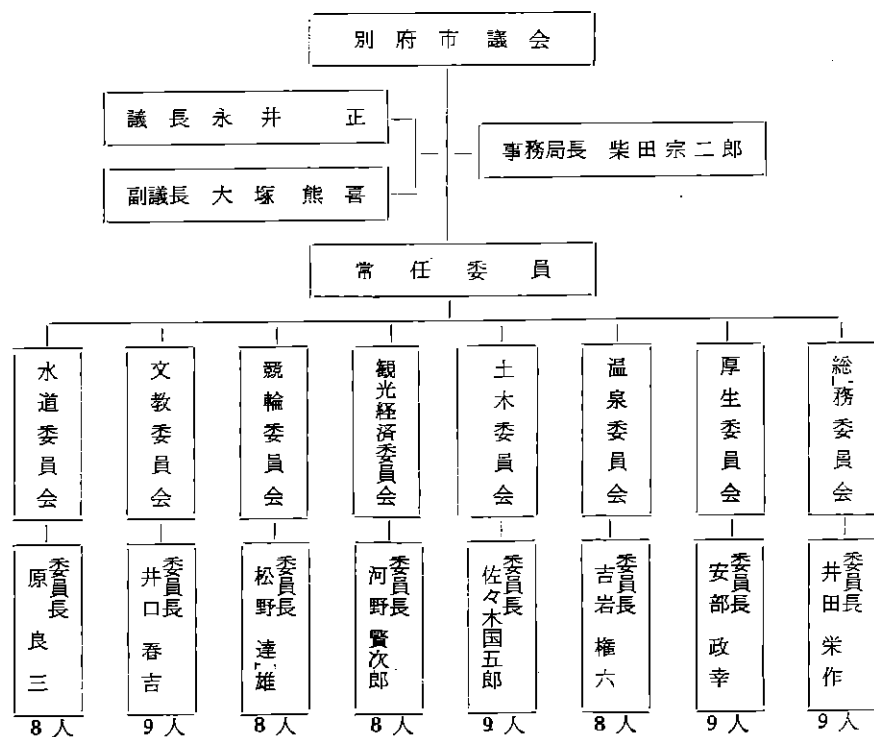
3、議 決 機 關

別府市議会は条例の定むる所による36名の議員によつて構成されている。その任期は4年である。市議会は市民の代議機関であつて議決権のほか監査の請求、行政事務の調査など広汎な権限が附与されている。議員の選挙権は満20才以上の日本国民で3ヶ月以上引つづいて市内に居住することを要件とし、被選挙権はこの選挙権を有するもので、満25才以上でなければならない。

市議会の議長及び副議長は議員の中から市議会に於て選挙される。議長は会議を主宰し市議会に関する事務を統理し議会を代表する。

なお市議会には市議会の庶務一般を処理するため事務局が設けられ、これに事務局長、書記等がおかれている。

イ、機 構



ロ、歴代市議会議長

順位	氏 名	就 職 年 月 日	退 職 年 月 日
1代	山 田 耕 平	大 正 13. 6. 28	大 正 15. 7. 8
2代	高 橋 欽 哉	大 正 15. 7. 8	昭 和 3. 6. 19
3代	山 田 耕 平	昭 和 3. 6. 29	昭 和 7. 6. 20
4代	川 野 直 吉	昭 和 7. 7. 1	昭 和 9. 12. 10
5代	川 野 直 吉	昭 和 10. 3. 15	昭 和 11. 6. 20
6代	森 八 治	昭 和 11. 7. 6	昭 和 13. 8. 13
7代	川 野 直 吉	昭 和 13. 8. 18	昭 和 15. 1. 19
8代	近 幸 雄	昭 和 15. 3. 11	昭 和 15. 6. 20
9代	手 島 森 太 郎	昭 和 15. 7. 9	昭 和 17. 9. 10
10代	宇 都 宮 則 綱	昭 和 17. 9. 10	昭 和 21. 10. 30
11代	岡 童 喜	昭 和 21. 10. 30	昭 和 22. 4. 29
12代	垣 追 杉 太	昭 和 22. 5. 24	昭 和 25. 11. 17
13代	佐 藤 福 治	昭 和 25. 11. 17	昭 和 26. 1. 10
14代	平 野 国 松	昭 和 26. 3. 7	昭 和 28. 3. 7
15代	平 野 国 松	昭 和 28. 3. 7	昭 和 30. 2. 19
16代	永 井 正	昭 和 30. 5. 18	現 在

ハ、歴代市議会副議長

順位	氏 名	就 職 年 月 日	退 職 年 月 日
1代	和 田 嘉 七	大 正 13. 6. 28	大 正 15. 7. 8
2代	河 村 観 三	大 正 15. 7. 8	昭 和 3. 6. 20
3代	岩 尾 恒 吉	昭 和 3. 6. 29	昭 和 5. 6. 30
4代	藤 沢 良 吉	昭 和 5. 6. 30	昭 和 7. 6. 20
5代	鶴 田 道 造	昭 和 7. 7. 1	昭 和 10. 3. 27
6代	安 部 謹 吾	昭 和 10. 3. 27	昭 和 11. 5. 1
7代	手 島 森 太 郎	昭 和 11. 5. 9	昭 和 11. 6. 20
8代	毛 井 睦 治	昭 和 11. 7. 6	昭 和 13. 7. 4
9代	近 幸 雄	昭 和 13. 8. 11	昭 和 15. 3. 11
10代	牧 福 一	昭 和 15. 3. 11	昭 和 15. 6. 20
11代	小 野 孝 平	昭 和 15. 7. 9	昭 和 17. 10. 3
12代	豊 田 謙 一	昭 和 17. 10. 3	昭 和 21. 10. 30
13代	牧 福 一	昭 和 21. 10. 30	昭 和 22. 4. 29
14代	安 部 卓 夫	昭 和 22. 5. 24	昭 和 25. 11. 17
15代	池 田 一 好	昭 和 25. 11. 7	昭 和 26. 1. 10
16代	永 井 正	昭 和 26. 3. 7	昭 和 27. 7. 28
17代	星 野 数 夫	昭 和 27. 10. 20	昭 和 28. 6. 30
18代	永 井 正	昭 和 28. 6. 30	昭 和 30. 2. 19
19代	大 塚 熊 喜	昭 和 30. 5. 18	現 在

二、市議會議員

昭30.8.1現在

氏名	席順	職名	職業	電話番号	住所
宇都宮 秀綱	1	厚生、土木、監査	無職	次 39	別府市 不老町
久保 鶴繁	2	文教、総務	会社々長	本1,358・支288	住吉
井口 春吉	3	文教、総務	会社々長	自2,794・1,684	上野口
大塚 熊喜	4	副議長	会社重役	自3,135・1,626	海門寺
平野 国松	5	観光経済、競輪	旅館業	86	海門寺
岩尾 新一	6	土木、厚生	会社重役	1,943・768	梅園
中村 佐太郎	7	観光経済、競輪	会社重役	自 649・2,007	上野口
吉岩 権六	8	温泉、水道	貸席業	1,328	北浜
原 良三	9	水道、温泉	旅館業	8,358	鉄輪
横江 征一	10	土木、厚生	食料品店	66	南野口
中村 弁助	11	総務、文教	会社重役	自 569・1,640	新町
荒金 進	12	総務、文教	農業	次 1,404	北石垣
佐藤 静雄	13	水道、温泉	会社々長	自2,587・ 697	錦
阿部 新	14	土木、厚生	旅館貸席業	1,225・ 50	行合
友永 勘三郎	15	総務、文教	製パン業	969	羽衣
石坂 一馬	16	温泉、水道	会社重役	自 136・ 775	弓ヶ浜
荒金 軍平	17	観光経済、競輪	農業	8,489	四ノ湯
永井 正	18	議長	会社々長	自 132・2,615	向浜下
原田 時市	19	土木、厚生	食料品店	8,067	亀川中
津田 八郎	20	温泉、水道	飲食業	1,177	北町
堀 泰二郎	21	温泉、水道	食料品店	518	不老
河野 賢次郎	22	観光経済、競輪	会社重役	381	老松
野田 幹雄	23	観光経済、競輪	質屋業	2,986	秋葉
安藤 千代喜	24	競輪、観光経済	雑貨商	799	八幡
栗山 吉二	25	総務、文教	会社重役	81・ 782	流川
玉田 栄太郎	26	土木、厚生	会社重役	786	南区
井田 栄作	27	総務、文教	会社重役	1,624	原区
佐々木 国五郎	28	土木、厚生	請負業	952	南立石一
井上 司	29	総務、文教	農業	8,179	上人
浅井 伝治郎	30	土木、厚生	会社々長	1,804	南末広
松野 達雄	31	競輪、観光経済	会社重役	629・ 750	海門寺
池田 三比古	32	温泉、水道、教育	建築設計	3,391	原区
前田 松雄	33	温泉、水道	会社重役	1,788	行合
佐藤 晴信	34	観光経済、競輪	貸間業	8,439	鉄輪
安部 政幸	35	厚生、土木	公社職員	236	栄町
大平 文士	36	総務、文教	公社職員	自1,895 局480	西野口

ホ、歴代市議會議員

① 当選年月日 大 13. 6. 20

高橋 欽哉	藤原 勝	吉田 貞吉	金居 曹三	川野 直吉	豊田 藤助
山田 耕平	藤沢 良吉	神 燭 二	広谷 寿市	長田 稲置	友永 平次郎
岩尾 恒吉	糸永 岡一郎	安部 栄次	南波 保	小林 夏	河村 万平
河村 觀三	荒金 作八	甲斐 大藏	西村 真五郎	望月 乘太郎	堀玉 定五郎
宇都宮 則綱	武田 荒太	和田 嘉七	手島 森太郎	利光 律次	河村 十五郎

② 当選年月日 昭 3. 6. 20

毛井 睦治	豊田 藤助	松尾 角太郎	荒金 作八	河村 觀三	藤沢 良吉
森 八治	阿部 礼	永見 永左工門	野々下 辰五郎	糸永 幸四郎	甲斐 大藏
甲斐 保尾	鶴田 道造	新山 猪八郎	安部 孫一郎	手島 森太郎	友永 繁太郎
川野 直吉	近 幸雄	金居 曹三	平居 伊三郎	南波 保	岩尾 恒吉
梶原 万右工門	神 織藏	藤原 勝	神 燭 二	広谷 寿市	山田 耕平

③ 当選年月日 昭 7. 6. 20

平野 国松	村田 寛藏	守屋 救雄	豊田 藤助	近 庄 六	毛井 睦治
宇都宮 則綱	森 八治	神 燭 二	広田 太市	安部 雅也	永見 永左工門
山田 耕平	高橋 豊之進	安部 謹吾	近 幸雄	神 織藏	免田 直一
村田 源次郎	幕 丞	岡 重喜	垣迫 杉太	牧 福一	鶴田 道造
手島 森太郎	二見 政一	入江 文雄	松尾 角太郎	阿南 重忠	川野 直吉

④ 当選年月日 昭 11. 6. 20

近 庄 六	鶴田 道造	宇都宮 次郎	永見 永左工門	阿部 重忠	加藤 歳太
毛井 睦治	豊田 謙一	手島 森太郎	森 八治	伊藤 遠治	岡 重喜
二見 政一	川野 直吉	小野 孝平	安部 佐市	高橋 健市	高橋 豊之進
井田 与次郎	近 幸雄	平野 国松	安部 雅也	金田 源太郎	
高橋 豊之進	加藤 執	免田 直一	高橋 作市	友永 源七	
甲斐 兵吉	田沢 周平	大橋 智	神 燭 二	佐藤 福治	
垣迫 杉太	西山 盛夫	奥之山 敬亮	牧 福一	岡本 寛平	

⑤ 当選年月日 昭 15. 6. 20

近 幸雄	荒金 啓治	岡 重喜	鶴田 道造	垣迫 杉太	甲斐 兵吉
宇都宮 則綱	加藤 執	後藤 達吾	牧 福一	近 庄 六	宮内 徳太郎
高橋 豊之進	高橋 作市	手島 森太郎	豊田 謙一	村井 操一	末友 皆男
佐藤 福治	伊藤 遠治	横江 駒太郎	神 織藏	国次 勇	
上田 孝伯	神 燭 二	小名川 彦三郎	毛井 睦治	内田 初三郎	
平野 国松	原田 時市	宮崎 広市	井田 与次郎	安部 卓夫	
西田 熊太郎	永見 永左工門	金田 源太郎	小野 孝平	宇都宮 次郎	

㊦ 当選年月日 昭 22. 4. 30

星野数夫	堀 泰二郎	竜原栄吉	吉良秀男	南 秀市	松野達雄
松村利吉	大野彰一	池田一好	久間敏弘	原田時市	大野一郎
阿部 新	安倍卓夫	永井 正	岩尾新一	垣迫杉太	安部英吉
前田松夫	佐々木国五郎	井上 司	荒金進	江藤直次	佐藤 勇
三ヶ尻 米市	中村 佐太郎	平野国松	大野虎雄	甲斐 コウメ	井田栄作
橋本珍種	渡辺賢文	池田 稔	大塚将憲	佐藤福治	寺岡岩吉

㊧ 当選年月日 昭 26. 2. 20

平野国松	堀 泰二郎	阿部 新	井田栄作	松野達雄	井上要平
永井 正	垣迫杉太	紀伊 進	玉田 栄太郎	石坂一馬	宇都宮 秀綱
中村 佐太郎	原田時市	安藤 千代喜	友永 勘三郎	荒金軍平	高橋直利
吉岩権六	中村 弁助	岩尾新一	星野数夫	佐々木国五郎	芥藤 一三三
松村利吉	荒金進	池田 三比古	横江 征一	河野 賢次郎	大塚 熊喜
津田八郎	佐藤静雄	小池親鑑	原 良三	木村男也	甲斐 コウメ

へ、市議会開会数及議決件数

昭29.4~30.3

区 別	回数	日数	提案件数	原案可決	修正可決	保留	撤回	協議会
定例会	3	9	70	67	2	1	—	7
臨時会	3	5	33	25	1	1	—	—
計	6	14	103	92	3	2	—	7

4 委 員 會

各種行政委員会は合議制による行政機関であり、この制度は戦後我が国の行政機構のなかに急速にとりいれられ著しい発展をみせている新しい型の行政機関である。

普通地方公共団体には地方自治法第 180 条の 4 により教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、農業委員会、固定資産評価審査委員会、監査委員会等の各種の行政委員会が置かれている。

イ、選挙管理委員会

選挙管理委員会は選挙の民主化と公正を保障するため設けられた。公選首長に対して独立の地位を有する執行機関であつて、その委員の構成を不偏不党たらしめ選挙権を有する者より市議会において選挙した委員 3 名をもつて構成し、その任期は 3 年である。委員会は本市または国、その他公共団体の選挙に関する事務並に一般投票に関する一切の事務を管理し、合議制によつて会議の運営をはかる。

イ、選挙管理委員会委員及職員

昭29.4~30.3

選挙管理委員	補充員	委員会開催数	局長	書記	雇
3	3	16	1	5	1

ロ、選挙管理委員

昭30.8.1現在

職 名	氏 名	生年月日	職 業	現 住 所	電話番号
委員長	宇佐美 鉄雄	明治38.11.92	税 理 士	別府市朝見町9	—
委 員	三浦 直政	明治30. 1.21	大学講師	別府市上原2	—
”	毛利 敬止	明治32.12. 1	無 職	別府市不老町19	188
事務局長	後 藤 倉	明治32. 4. 8	公務員	別府市鉄輪8	3561

ハ、各種選挙別投票結果

区 分	執行年月日	有 権 者 数			投 票 者 数			投票率
		男	女	計	男	女	計	
農業委員会委員選挙	昭29. 7. 16	2,627	2,804	5,431	2,484	2,644	5,128	94.42%
漁業調整委員会委員選挙	昭29. 8. 12	2,192	1,910	4,105	1,902	1,427	3,332	81.17
衆議院議員選挙	昭30. 2. 27	25,611	34,880	60,491	20,118	26,872	46,990	77.68
最高裁判所裁判官国民審査	昭30. 2. 27	25,611	34,880	60,491	19,371	25,978	45,349	74.97
大分県知事選挙	昭30. 4. 23	25,091	34,117	59,208	21,452	28,821	50,273	84.91
大分県議会議員選挙	昭30. 4. 23	25,091	34,117	59,208	21,447	28,818	50,265	84.90
別府市長選挙	昭30. 4. 30	25,280	34,458	59,738	22,218	30,247	52,465	87.83
別府市議会議員選挙	昭30. 4. 30	25,280	34,458	59,738	22,219	30,247	52,466	87.83

二、昭和30年4月30日現在の校區別有権者数

校 区 別	男	女	計	校 区 別	男	女	計
野 口	3,899	5,463	9,362	石 垣	2,528	3,237	5,765
北	3,296	5,648	8,944	朝 日	1,501	1,919	3,420
南	3,549	4,839	8,388	亀 川	3,089	3,964	7,053
運 田	3,232	4,176	7,408	—	—	—	—
西	4,186	5,212	9,398	計	25,280	34,458	59,738

口、監査委員会

監査委員は市長より独立した機関であつて、地方自治法の定めるところにより市行政の公正と効率の確保を指導理念として、市行政の実体を検討把握し、その結果を公表することにより議会の審議及び理事者の執行に資すると共に、市民の市政に対する関心を振起することを目的とするものである。

本市監査委員の定数は2名であり市長が市議会の議員及び学識経題者の中から各一名づゝ議会の同意を得て選任しその任期は2年である現在の監査委員は次の2名である

昭30.8.1現在

氏 名	選 任 別	別 就 任 年 月 日
牧 鉄 夫	学 識 経 験 者	昭和29年4月1日就任
宇 都 宮 秀 綱	市 議 会 議 員	昭和30年5月18日就任

委員の職務執行を補助するため監査事務局が置かれている

昭和29年度中に執行した監査は次の通りである

昭29.4~30.3

総 数	例 月 検 査	臨 時 出 納 検 査	定 期 監 査	決 算 審 査
20回	12	2	4	2

ハ、公平委員会

昭和25年12月13日公布された地方公務員法の完全な実施を確保し、その目的を達成するために同法第7条の規定に基いて昭和26年7月27日に本市の公平委員会が設置された。委員会は一般職の職員の人事行政に関して調査企画を行い、研究の結果を市議会または任命権者に提出し、人事行政の運営について任命権者に勧告し判定する等の職務権限がある。委員会は市長が市会の同意を得て選任する3名からなり委員の任期は4年であるが最初に選任された委員の任期は4年、3年、2年各一人となつている。現在の公平委員は次の通りである。

イ、公平委員

昭30.8.1現在

氏 名	住 所	氏 名	住 所	氏 名	住 所
二宮 威徳	北 浜	末友 皆男	南 区	佐藤 勇吉	弘 弘

二、固定資産評価審査委員会

地方税法第423条及び第431条の規定により固定資産課税台帳に登録された事項に関する不服を審査決定するために昭和26年11月1日本市に次の通り固定資産評価審査委員会が設置された。

イ、固定資産評価審査委員

昭30.8.1現在

氏 名	住 所	氏 名	住 所	氏 名	住 所
金井 晋三	別府 438-1	高橋 栄一	別府 2,135-2	宮崎 隆人	別府 353
田中 忠	亀川 640-1-1	高橋 豊之進	浜脇 4,083-2	—	—
末松 利治	別府 3,247	佐藤 勇	南石垣 1,003	—	—

ホ、農業委員会

農業委員会は農業生産力の発展及び農業経営の合理化を図り農民の地位の向上に寄与するため農民の代表機関として設けられた独立の機関である。委員会は自作農の創設及び維持、その他農地に関する諸事務を処理し農業生産及び農民生活の向上に関する総合計画の樹立及び実施について市長に建議し又市長の諮問に応ずる。

イ、委員会別機構並開催回数

昭29.4~30.3

委 員 数					書 記 数					開 催 回 数				
別府	石垣	朝日	亀川	計	別府	石垣	朝日	亀川	計	別府	石垣	朝日	亀川	計
13	13	13	13	52	2	2	2	2	8	8	12	10	11	41

ロ、委員会別取扱件数

昭29.4~30.3

区別 委員会別 件数	所有権移転				耕作権移転				農地の潰廃				陳情、請願				小作地引上							
	別府	石垣	朝日	龜川	計	別府	石垣	朝日	龜川	計	別府	石垣	朝日	龜川	計	別府	石垣	朝日	龜川	計				
受理件数	18	87	49	55	209	—	—	5	3	8	27	68	44	17	156	—	—	—	—	28	18	24	18	88
許可件数	18	87	49	55	209	—	—	5	3	8	27	68	44	17	156	—	—	—	—	28	18	24	18	88
不許可件数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第四編 財政

- 1 一般会計年次別比較
- 2 一般会計歳入歳出予算
- 3 特別会計歳入歳出予算
- 4 諸 税
- 5 市 有 財 産
- 6 別 府 競 輪

ハ、農地委員

昭30.8.1現在

別 府		石 垣		朝 日		亀 川	
氏 名	住 所	氏 名	住 所	氏 名	住 所	氏 名	住 所
村田 政弘	乙 原	弥田 五郎	南石垣	永野 金次郎	新別府	伊藤 初治	野 田
永井 信雄	鳥 越	山本 種男	上 人	安部 政雄	原	藤内 林八	古 市
井上 伊豆喜	枝 郷	佐藤 文夫	吉 弘	大野 弘	小 倉	藤内 喜三	浜 田
大野 照雄	山 冢	平野 珠亀	南立石一	下田 成美	鉄 輪	森 章	内 籠
工藤 熊吾	柳	吉富 武雄	中須賀	大野 美男	北鉄輪	伊藤 軍治	内 籠
佐藤 今喜	河 内	安部 政夫	南順賀	大平 功	竹の内	清部 勝	内 籠
大野 定一	朝見上	矢野 憲一郎	山の口	緒方 一	火 売	荒金 幸男	平 田
野田 定雄	天 満	後藤 保	堀 田	永野 達雄	大 畑	後藤 宝作	四の湯
井手野 作一	下野口	田中 久喜	東山一	藤田 恵造	扇 山	後藤 勇	古 市
大野 義雄	原	荒金 梅枝	南石垣	後藤 正治	鉄 輪	荒金 宜夫	湯 山
荒金 一	田の口	荻野 長吾	東山二	加藤 茂	鉄 輪	高橋 作市	古 市
吉岩 権六	北 浜	佐々木 国五郎	中津留	原 良三	鉄 輪	原田 時市	亀川中
堀 泰二郎	不 老	井上 司	上 人	佐藤 晴信	鉄 輪	荒金 軍平	四の湯

第 4 編 財 政

地方自治の健全な発達を期するためには強固なる財政が基盤とならなければならぬことは今更いうまでもないことである。戦後たまたま地方財政制度が改正され昭和二十五年には地方税法の改正と地方財政平衡交付金制度の実施と一応地方自治体の自立財政と財源の分限が確立されたのであるが経済的基盤の薄弱な地方財政は年と共に窮乏を加えつつある。

本市の財政現況は本市が消費的都市の性格を有し加うるに財政的の裏付のない国県の委任事務や公共事業の増加、並びに災害復旧事業の地方負担額が増加し財政需要が極度に増加したのに反し収入面が対応出来ない状況にある。即ち収入面に於て自主的財源の大宗をなす市税は弾力性に乏しく依存的財源は前記の如く国県支出金は多く期待出来ず起債平衡交付金等の如きも種々抑制されている。

従つて昭和三十年年度の予算編成は本市財政の現況に徹底した緊縮予算を執り人件費、旅費等、消費的財源は最少限に止め、市勢の伸展に関連を持つ幾多の事業中、国の施策に基く教育、社会、建設、衛生の整備完成に要する投資的経費に重点が置かれた。

なお本市公営事業の競輪、水道事業収入は窮乏に悩む市の財政に旱天の慈雨的な役割を果して市税と共に自主財源の主流をなしている。

1. 一般會計年次別比較

イ、歳入

年別	当初予算額	予算現額	調定額	収入済額	予算現額に比し増減 (△印は減)
昭和 12年	1,045,769.00	1,662,499.00	1,737,444.83	1,630,389.05	△ 32,109.95
13	955,838.00	1,827,690.00	1,637,910.44	1,581,487.01	△ 246,205.99
14	855,632.00	1,313,948.00	1,303,993.28	1,272,886.93	△ 41,061.07
15	990,699.00	1,594,893.00	1,625,558.31	1,607,802.65	12,909.65
16	1,198,686.00	1,663,975.00	1,408,270.96	1,395,331.85	△ 268,643.15
17	1,085,378.00	1,861,192.00	1,800,118.56	1,789,054.38	△ 72,137.62
18	—	2,807,250.00	765,329.78	2,445,074.89	△ 362,175.11
19	—	3,319,180.00	1,103,019.27	2,938,694.65	△ 380,485.35
20	—	4,396,516.00	—	4,011,222.70	△ 385,282.30
21	—	16,011,143.00	—	14,324,374.11	△ 1,686,768.89
22	—	59,381,192.00	—	50,929,203.59	△ 8,451,988.41
23	—	200,769,000.00	80,592,019.86	172,621,015.34	△ 31,147,984.66
24	212,665,869.00	302,568,353.00	295,863,440.79	255,886,987.92	△ 46,681,365.08
25	293,661,800.00	429,254,826.00	386,942,142.55	335,100,223.74	△ 94,154,602.26
26	345,546,800.00	498,266,518.00	501,382,131.67	442,097,267.21	△ 56,169,250.79
27	386,701,947.00	556,662,596.00	571,368,153.30	504,004,428.81	△ 52,658,167.19
28	460,238,881.00	527,431,095.00	572,034,761.47	488,058,450.96	△ 39,372,644.04
29	468,820,216.00	586,637,855.00	679,426,271.00	590,303,627.00	(決算 見込) 3,665,772.00

ロ、歳出

年別	当初予算額	予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
昭和 12年	1,045,769.00	1,091,485.00	986,782.89	—	70,437.19
13	955,838.00	1,861,957.00	1,313,677.15	184,016.00	364,263.85
14	855,632.00	1,313,948.00	974,648.56	233,824.00	105,475.44
15	990,699.00	1,594,893.00	1,339,327.88	170,513.00	85,052.12
16	1,198,686.00	1,663,975.00	1,143,468.70	301,262.00	219,244.30
17	1,085,378.00	1,861,192.00	1,330,690.56	457,586.00	72,915.44
18	624,618.00	2,807,250.00	1,723,231.07	748,496.00	335,522.93
19	1,740,571.00	3,446,155.22	2,157,193.95	879,537.82	409,423.45
20	1,920,034.00	4,548,552.82	3,225,421.74	747,653.20	575,477.88
21	3,944,761.00	16,011,143.00	13,722,719.30	—	2,288,423.70
22	16,848,088.00	59,381,192.00	47,708,997.56	—	11,672,194.44
23	186,070,518.00	203,769,000.00	158,863,511.23	—	44,905,488.77
24	212,665,869.00	302,568,353.00	254,631,792.98	—	47,936,560.0
25	293,661,800.00	429,254,826.00	333,833,040.53	—	95,421,785.47
26	345,546,800.00	498,266,518.00	437,724,480.24	—	60,542,037.76
27	386,701,947.00	556,662,596.00	503,968,451.43	—	52,694,144.57
28	460,238,881.00	527,431,095.00	469,420,471.00	23,382,030.00	34,628,594.00
29	468,820,216.00	586,637,855.00	535,972,829.00	1,600,000.00	(決算 見込) 49,065,026.00

2. 一般会計歳入歳出予算

イ、歳入

(単位円)

科 目	昭和30年度		昭和29年度			
	当初予算額	比率	当初予算額	追加更正 予算額	最終予算額	比率
市 税	262,088,400	51.4	237,702,000	28,962,000	266,664,000	45.5
地方交付税 (地方財政平衡交付金)	8,000,000	1.5	51,661,000	△37,661,000	14,000,000	2.4
財産収入	21,357,199	4.2	15,374,800	43,192,000	58,566,800	10.0
使用料及び手数料	36,909,300	7.3	39,687,397	430,860	40,118,257	6.9
國庫支出金	90,522,500	17.8	76,705,925	32,661,059	109,366,984	18.6
縣支出金	8,866,993	1.8	6,590,493	2,673,265	9,263,758	1.6
寄附金	5,384,631	1.1	1,725,001	8,927,160	10,652,161	1.8
繰入金	—	—	6,600,000	—	6,600,000	1.1
繰越金	35,415,842	7.0	25,000	20,657,775	20,682,775	3.5
雑収入	7,379,043	1.4	7,248,597	2,965,520	10,214,117	1.7
市債	34,000,000	6.7	25,500,000	14,800,000	40,300,000	6.8
分担金及び負担金	—	—	—	209,000	209,000	0.1
歳入合計	509,923,938	100.0	468,820,216	117,817,639	586,637,855	100.0

ロ、歳出

(単位円)

科 目	昭和30年度		昭和29年度			
	当初予算額	比率	当初予算額	追加更正 予算額	最終予算額	比率
議会費	11,787,815	2.3	14,522,105	△144,620	14,377,485	2.4
市役所費	112,298,202	22.0	110,129,993	9,347,740	119,477,733	20.4
警察消防費	18,775,457	3.7	72,402,744	△38,181,906	34,220,838	5.8
土木費	34,675,907	6.8	21,669,600	70,227,958	91,897,558	15.7
教育費	79,156,849	15.5	67,156,870	16,100,096	83,256,966	14.2
社会及び労働施設費	121,773,421	23.9	96,430,478	17,382,611	113,813,089	19.4
保健衛生費	21,544,276	4.2	12,439,790	20,408,281	32,848,071	5.6
温泉費	10,257,156	2.0	9,317,736	1,805,980	11,123,716	1.9
観光費	9,935,000	1.9	7,814,600	13,757,970	21,572,570	3.7
産業経済費	14,184,071	2.8	17,618,881	2,192,330	19,811,211	3.4
財産費	28,835,414	5.7	2,027,552	1,629,452	3,657,004	0.6
統計調査費	1,610,164	0.3	749,400	—	749,400	0.1
選挙費	4,029,682	0.8	3,043,949	241,360	3,285,312	0.6
公債費	27,863,398	5.5	18,033,500	785,812	18,819,312	3.2
繰戻金	150,757	0	48,697	—	48,697	0
諸支出金	12,046,369	2.4	14,414,321	2,234,572	16,648,893	2.8
予備費	1,000,000	0.2	1,000,000	—	1,000,000	0.2
歳出合計	509,923,938	100	468,820,216	—	586,637,855	100

3. 特別会計歳入歳出豫算

本市特別会計は水道、競輪の2企業である。特別会計は原則として独立採算を目標に、市民の税などによる負担をさけるよう運営している。

イ、水道費

(単位円)

昭和29年度(収入)			昭和29年度(支出)					
科目	当初予算額	比率	科目	当初予算額	比率	科目	当初予算額	比率
事業収益	66,617,500	68.95	事業費	63,990,990	66.23	施設費	1,078,000	1.12
営業収益	58,705,100	60.76	営業費	18,146,182	18.78	擴張費	31,000,000	32.08
附帯事業収益	7,440,000	7.70	附帯事業費	6,394,350	6.62	企業償還金	448,510	0.47
営業外収益	457,400	0.47	一般管理費	21,353,139	22.10	企業償還金	448,510	0.47
期間外収益	15,000	0.02	委託経費	9,633,600	9.97	予備費	100,000	0.10
資本収入	30,000,000	31.05	営業外費	8,433,719	8.73	予備費	100,000	0.10
資本収入	30,000,000	31.05	期間外費	32,078,000	0.03			
計	96,617,500	100.00	建設改良費	32,078,000	33.20	計	96,617,500	100.00

ロ、競輪事業費

A 歳入

(単位円)

科目	昭和30年度			昭和29年度		
	予算額	収入額 (20.7.31現在)	比率	予算額	収入額	比率
入場料	158,400	44,090	0.1	153,000	144,650	0.4
車券発売金額	324,000,000	96,418,700	98.6	321,000,000	297,823,100	98.5
繰越金	1,000	843,780	0.8	1,216,670	1,639,636	0.5
事故収入	1,000	100		1,000	5,700	
拂戻金	600,000	113,420	0.2	600,000	653,410	0.2
時効収入	600,000	113,420	0.2	600,000	653,410	0.2
売店使用料	302,400	106,300	0.2	504,000	496,200	0.1
競輪場使用料	—	—	—	1,030,000	800,632	0.2
雑収入	90,000	20,808	0.1	464,000	563,312	0.1
計	325,152,800	97,547,198	100.0	338,968,670	302,126,640	100.0

B 歳出

(単位円)

科目	昭和30年度			昭和29年度		
	予算額	支出額 (20.7.30現在)	比率	予算額	支出額	比率
競輪場費	2,627,223	756,882	0.7	3,156,252	2,422,957	1.2
競輪開催費	302,118,960	89,218,147	93.8	299,174,510	275,351,074	91.3
交付金	9,720,000	2,892,561	3.2	9,630,000	8,934,693	1.8
公債費	9,921,600	2,125,700	2.2	7,312,560	1,189,200	1.3
諸支出金	410,300	75,576	0.1	5,968,700	262,541	0.3
予備費	354,717	—	—	460,348	—	—
災害復旧費	—	—	—	13,266,300	13,122,395	4.1
計	325,152,800	95,068,866	100.0	338,968,670	301,282,860	100.0

4. 諸税

イ、負担状況

昭30.8.15現在

種別	調定済額 円	一世帯当り 円	一人当り 円
市税	291,558,744	12,346	2,929
県税	235,788,832	9,984	2,370
国税	5,410,000	144	34
合計	530,757,576	22,474	5,333

ロ、市税目別税率

昭30.8.15現在

税目	昭和29年度 税額	税率	納期
市民税	107,323,404	所得割……所得金額の7.5%以内 均等割……個人400円法人3,000	4期 6月8月10月1月
固定資産税	116,367,500	土地家屋償却資産評価額 1.5%	4期 4月7月12月2月
煙草消費税	30,780,110	煙草小売価格の 115/10	翌月25日
自動車税	2,816,460	原動付二輪車……500円 三輪車……400円 二輪車……200円 荷積半馬車……800円 荷積小車……200円 荷積大車……400円	5月末日
電気ガス税	20,814,415	使用料金100分の10	翌月25日
鑛産税	166,173	鑛物又は砂鉄価格の100分の1	翌月末日
木材取引税	91,962	木材取引価格の100分の5	随時
入湯税	11,131,520	入湯一日に付 20円	翌月10日
接客人税	2,067,200	一人に付 100円	毎月末日

ハ、市税徴収状況

(単位円) 昭30.5.31現在

税目	予算額	調定額	収入額	収入歩合		未徴収額
				調定%	予算%	
①普通税	266,107,500	366,292,162	273,878,982	74.8	102.9	92,413,180
(-)法定普通税	264,665,500	363,720,352	271,904,612	74.8	102.7	91,815,740
市民税	98,082,000	142,606,988	102,967,820	72.2	105.0	39,639,168
固定資産税	99,570,000	152,070,119	105,255,847	69.2	105.7	46,814,272
自轉車荷車税	2,622,500	3,448,460	2,490,860	72.2	95.0	957,600
たばこ消費税	32,000,000	30,780,110	30,780,110	100.0	96.2	0
電気ガス税	22,000,000	21,013,563	21,013,563	100.0	95.5	0
雑産税	125,000	285,688	157,453	54.9	126.0	128,235
木材取引税	66,000	228,772	99,485	43.2	150.7	129,287
入湯税	10,200,000	13,286,652	9,139,474	68.8	89.6	4,147,178
(=)法定外普通税	1,442,000	2,571,810	1,974,370	76.6	136.9	597,440
接客入税	1,442,000	2,571,810	1,974,370	76.6	136.9	597,440
②舊法税収入	556,500	3,369,817	541,456	16.1	67.3	2,828,361
総計	266,664,000	369,661,979	274,420,438	74.2	102.9	95,241,541

5. 市有財産

本市の財産は基本財産(積立金)の外に庁舎や学校の敷地、宅地、鉱泉地、山林、原野などの土地、建物、立木がある。財産の内訳を見ると土地は4,761,422.81坪、建物は691棟の28,751.65坪、市有林が764町5反となっている。又積立金が4,064余円ある。

イ、基本財産

昭30.3.31現在

異動 財 産 別	昭和28年度末 現在高		本年度中異動				昭和29年度末 現在高	
	金 銭	有価証券	増		減		金 銭	有価証券
			金 銭	有価証券	金 銭	有価証券		
基本財産	564,992	1,000	80,493	—	—	—	645,485	1,000
学校基本財産	7,826	10	975	—	—	—	8,801	10
罹災救助資金	44,569	—	4,445	—	—	—	49,014	—
奨学資金	13,705	—	1,670	—	—	—	15,375	—
計	631,032	1,010	87,583	—	—	—	718,675	1,010

ロ、土 地

(単位坪) 昭30.3.31現在

区分	市庁舎敷地	鉱泉地	山林	原野	耕地	池沼	沼池	墓池	型葬地	その他	計
面積	16,788.55	977.00	273,892.00	3,478,081.88	18,164.00	23,401.00	55,653.00	12,722.78	—	—	3,879,660.21

区分	市庁舎敷地	消防用地	温泉用地	公園用地	公營住宅用地	共同墓地
面積	7,769.25	30.00	4,828.60	13,275.00	9,461.75	6,586.00
区分	火葬場用地	保安林	病舎敷地	その他	—	計
面積	231.00	806,700.00	1,080.00	31,781.00	—	881,742.60

区分	教育行政財産 (学校敷地)	競輪企業用地 (競輪用地)	上水道企業用財産 (水道用地)
面積	71,024.33	10,625.63	45,983.23

ハ、建 物

昭30.3.31現在

普通財産			行政財産					
種別	棟数	坪数	種別	棟数	坪数	種別	棟数	坪数
貸家建物	9	364.00	庁舎	68	1,891.55	公営住宅	140	2,286.90
—	—	—	温泉建物	58	1,883.40	—	—	—
計	9	364.00	公共建物	67	1,721.37	計	333	7,783.22

区分	教育行政財産 (学校建物)	競輪企業用財産 (競輪建物)	水道企業用財産 (水道建物)
面積	20,604.43	851.75	558.70
棟数	297	19	33

6. 別府競輪

競輪事業は本市財政打開の方策として昭和25年4月に設立され同年5月開催の運びとなり、漸次成績は向上しつつあったが昭和29年9月ルース台風のため建物は全潰し走路は流失する等の徹底的な打撃を受けたので、ただちに復旧に努力した結果同年11月再開した。しかし全国的なデフレの影響は強く売上も漸次低下の傾向を示すに至ったので各種の特種レースに依る13レース実施により、之が打開を図り施設の改良、経営の合理化とサービス改善に努めている。

イ、競輪場

昭30.8.10現在

レースの使用面積		収容人員	場内総坪数	従事員数	施設工事費
延長	幅員				
330m	9m	10,000人	12,000坪	356人	27,658,000円

ロ、月別車券売上高

昭29.4~30.3

区分 回別	開催月日	従業 員数	出 場 選手数	入場者数 ()内 有 料 者 数	連 勝 式			計
					亀 川	場 外		
29年度 1 回	4月10.11.12			9,942		別府 3,370,100 大分 796,700		29,440,200
	" 17.18.19	490	72	(1,284)	24,304,500	中津 968,900		
	5月 1. 2. 4			13,567		別府 3,382,600 大分 860,400		
2 回	" 8. 9.10	467	"	(1,819)	28,839,400	中津 824,500		33,906,900
	6月26.27.28			10,303		別府 2,106,500 大分 715,800		
3 回	7月 3. 4. 5	389	"	(1,066)	20,969,500	中津 816,000		24,607,800
	8月13.14.15			9,236		別府 2,133,100 大分 647,900		
4 回	" 21.22.23	385	"	(1,260)	25,092,900	中津 1,161,900		29,035,800
	11月21.22.23			6,000		別府 1,930,200 大分 680,700		
5 回	" 27.28.29	362	"	(1,682)	23,019,900	中津 847,600		26,428,400
	12月 9.10.11			7,919		別府 2,291,100 大分 715,700		
6 回	" 18.19.20	360	"	(1,119)	19,480,600	中津 864,600		23,352,000
	30年度 7 回			13,525		別府 2,453,100 大分 689,300		
8 回	" 8. 9.10	305	"	(1,813)	26,490,700	中津 972,200		30,605,300
	1月15.16.17			6,259		別府 2,381,700 大分 874,300		
9 回	" 22.24.25	367	"	(1,293)	24,018,100	中津 1,098,300		28,372,400
	2月 5. 6. 7			9,876		別府 2,603,500 大分 956,100		
10回	" 12.13.14	346	"	(1,144)	21,103,300	中津 1,038,700		25,701,600
	2月19.20.21			8,078		別府 2,769,000 大分 1,116,000		
11回	3月 6. 7. 8	342	"	(918)	18,098,100	中津 1,213,600		23,196,700
	3月10.11.12			9,893		別府 2,653,300 大分 879,700		
計	" 19.20.21	336	"	(1,073)	18,711,600	中津 931,400		23,176,000
				104,598		別府 28,074,200 大分 8,932,600		
		4,149		(14,471)	250,128,600	中津 10,737,700		297,823,100

第五編 教 育

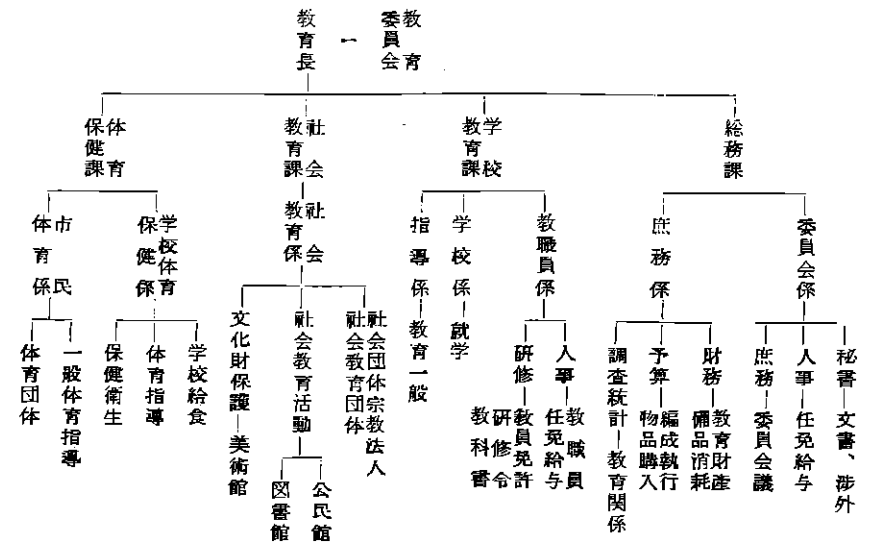
- 1 教育委員会
- 2 学校教育
- 3 社会教育

第 5 編 教 育

戦後、我国の学校教育制度は新憲法の精神に則り制定された教育基本法及び学校教育法により、昭和22年より所謂6、3、3、4、制の新学制が実施され、又、新に幼稚園も法第一条による学校に加へられる等、ここに旧来の教育制度は一変した。更に昭和23年従来の官僚主義と形式主義の弊を是正し、公正な民意と地方の実情に即した教育行政の自主性の確立を達成するため教育委員会法の制定公布をみるに至り、本市に於ては昭和27年より教育委員会が発足して着々と学校教育の充実が計られている。亦学校施設の充実に重点を置き昭和28年モデル・スクール青山中学校、同じく同30年石垣幼稚園も完成され生徒の増加収容対策も着々と完成されつつある。

1、教育委員会

1、機 構



ロ、委員及職員数

昭30.8.1.現在

委員	教育長	委員会事務局	学校幼稚園教諭	学校その他の教育機関の事務局
5人	1人	14人	558人	54人

ハ、委員

昭30.8.1.現在

職名	氏名	就任期間	生年月日	住所	職業	経歴
委員長	田尻芳雄	4年	明30.11.8	別府市北町	建築業	PTA会長商工会議所議員
副委員長	荒金利喜太	4年	明34.5.8	全南石垣	酒類販売	元旧制中学教諭
委員	松本重雄	4年	明41.12.22	全不老町	醫師	人権擁護委員、医学博士
委員	佐藤福治	4年	明26.1.10	全港町	旅館業	元市会議長、PTA会長
市議会選出議員	池田三比古	議員任期中	明26.2.26	全原区	建築設計	市議会議員

ニ、教育費歳入

(単位円) 昭29年度

項目別	補助金	使用料	雑収入	市債	合計
予算総額	4,020,230	6,902,300	824,000	6,300,000	18,046,530円
備考	国庫県費支出金	幼稚園、保育料 公民館、学校建物、別府球場	財産収入、児童生徒委託料	—	—

ホ、教育費(歳出)予算

(単位円)

科目	昭和三十年度		昭和二十九年 度			
	当初予算額	比率	当初予算額	追加更正予算額	最終予算額	比率
教育委員会費	7,073,695	8.94%	6,463,016	△ 208,000	6,255,016	7.52%
小学校費	21,867,269	27.62%	17,311,334	9,937,846	27,249,180	23.72%
中学校費	27,501,274	34.74%	11,345,611	3,033,920	14,379,531	17.27%
幼稚園費	14,288,991	18.05%	12,285,611	3,135,610	15,421,221	19.52%
図書館費	1,454,124	1.84%	1,457,324	△ 24,809	1,432,485	2.72%
公民館費	3,254,296	4.11%	3,937,795	206,228	4,144,023	4.98%
社会教育費	334,600	0.43%	309,000	0	309,000	1.38%
美術館費	242,000	0.31%	282,000	0	282,000	0.34%
体育諸費	1,820,600	2.30%	1,070,650	2,967,000	4,037,650	0.85%
教育諸費	1,320,000	1.66%	9,276,860	470,000	9,746,860	11.70%
総計	79,156,849	100.00%	63,739,201	19,750,604	83,256,966	100.00%

2、学校教育

就学状況 昭和30年7月1日現在に於ける幼稚園は公私立併せて、14校園児数2209人、小学校は公私立併せて15校生徒数12,924人、中学校は公私立併せて8校、生徒数4,878人、高等学校は公私立併せて4校2,832人で、その外に大学1校、洋裁、和裁、経理その他の専門各学校が7校、総数44校となっている。

イ、幼稚園

昭和30.7.1.現在

公立 私別	区分 名称	幼児数			学級数	一学級当 幼児数	保母数			教官一人 当幼児数
		男	女	計			男	女	計	
公	野口 幼稚園	93	91	184	5	36.8	1	6	7	26.2
"	北 幼稚園	119	106	225	6	37.5	1	7	8	28.1
"	南 幼稚園	126	100	226	6	37.6	1	7	8	28.2
"	蓮田 幼稚園	95	102	197	5	39.4	1	6	7	28.1
"	西 幼稚園	104	101	205	6	34.1	1	7	8	26.3
"	青山 幼稚園	57	69	126	3	42.0	1	4	5	35.2
"	南立石幼稚園	39	33	72	2	36.0	1	3	4	18.0
"	龜川 幼稚園	125	140	265	6	44.1	1	8	9	29.4
"	朝日 幼稚園	72	60	132	3	44.0	1	4	5	26.4
"	石垣 幼稚園	60	53	113	3	30.7	1	5	6	10.8
私	明星 幼稚園	58	64	122	3	40.6	1	3	4	40.5
"	眞愛 幼稚園	13	19	32	2	16.0	1	4	5	6.4
"	海ノ星幼稚園	87	73	160	4	40.0	1	6	7	22.5
"	めぐみ幼稚園	31	19	50	2	25.0	1	2	3	16.6
	計	1,079	1,030	2,209	53	35.9	14	72	86	23.7

ロ、小学校

昭30.7.1.現在

公立 私別	区分		児童数			学級数	一学級当 児童数			教 官 数			教 官 一 人 当 児 童 数
	名 稱	男	女	計	男		女	計	男	女	計		
公	野口 小学校	829	787	1,616	32	50.5	19	17	36	44.0			
"	北 小学校	758	685	1,443	27	53.5	19	16	35	41.2			
"	南 小学校	882	836	1,718	32	53.6	20	18	38	45.2			
"	蓮田 小学校	860	796	1,656	31	53.4	21	17	38	43.5			
"	西 小学校	740	731	1,471	28	52.5	18	16	34	43.2			
"	青山 小学校	452	490	942	18	52.3	12	10	22	42.9			
"	南立石小学校	246	236	482	12	35.1	10	5	15	32.1			
"	龜川 小学校	863	829	1,682	31	54.2	19	18	37	45.3			
"	龜川湯山小学校	14	7	21	2	10.5	1	1	2	10.5			
"	朝日 小学校	384	396	780	16	48.7	12	9	21	37.1			
"	石垣 小学校	384	395	779	16	48.7	11	8	19	41.0			
"	東山 小学校	41	50	91	3	33.3	3	1	4	22.7			
"	東山杖郷分教	23	19	42	2	21.0	1	1	2	21.0			
"	東山山ノ口分教	23	16	39	2	19.5	1	1	2	19			
私	明星 小学校	61	101	162	6	27.0	0	8	8	20.2			
	計	6,560	6,368	12,924	258	40.8	167	146	313	33.9			

ハ、中学校

昭30.7.1.現在

公立 私別	区分		生徒数			学級数	一学級当 生徒数			教 官 数			教 官 一 人 当 生 徒 数
	名 稱	男	女	計	男		女	計	男	女	計		
公	山ノ手中中学校	738	732	1,470	25	58.8	32	8	40	36.7			
"	青山 中学校	569	578	1,147	20	57.3	25	6	31	37.0			
"	中部 中学校	408	410	818	16	51.1	21	5	26	31.4			
"	北部 中学校	485	478	963	18	53.5	23	6	29	34.2			
"	浜臨 中学校	444	482	926	17	54.5	22	4	26	35.6			
"	朝日 中学校	194	177	371	9	41.2	11	3	14	26.5			
"	東山 中学校	47	45	92	3	30.6	5	1	6	15.3			
私	明星 中学校		54	54	3	18.0		4	4	13.5			
	計	2,885	2,956	4,878	111	45.6	139	37	176	28.5			

ニ、高等学校

昭30.7.1.現在

公立 私別	区分		学生数			学級数	一学級当 学生数			教 官 数			教 官 一 人 当 学 生 数
	名 稱	男	女	計	男		女	計	男	女	計		
公	別府鶴見ヶ丘高等学校	647	395	1,042	18	58.0	35	3	38	27.4			
"	定	162	23	185	4	46.2	8	0	8	23.1			
"	別府緑ヶ丘高等学校	332	609	941	21	44.9	28	10	38	24.6			
私	別府自由ヶ丘高等学校	288	296	584	12	48.5	14	7	21	28.2			
"	別府明星高等学校	—	80	80	2	40.0	6	4	10	8.0			
	計	1,429	1,403	2,832	57	47.5	91	24	115	22.2			

ホ、大学校

昭30.7.1.現在

公立 私別	区分		学生数	学級数	教授数	教 授 数 内 課			
	名 稱	専 任				兼 任	男	女	
私立	別府大学	404	8	67	58	8	32	2	
	計	404	8	67	58	8	32	2	

ヘ、各種学校

昭30.7.1.現在

公立 私別	区分		学級数	生 徒 数			教 官 数		
	名 稱	男		女	計	男	女	計	
私	別府高等技芸学校	4	—	349	349	3	12	15	
"	別府生野洋裁女学院	9	1	293	294	—	7	7	
"	別府ミクニドレスメーカー	2	—	30	30	—	2	2	
"	別府馬場洋裁女学院	2	—	69	69	—	3	3	
"	別府ドレスメーカー女学院	4	—	170	170	—	5	5	
"	別府高等商業学校	4	125	119	244	1	2	3	
"	別府美容専門学校	2	1	84	85	1	3	4	
	計	27	127	1,114	1,241	5	34	39	

ト、校地及校舎

昭30.7.1.現在

学校種別	児童生徒数	校地面積	校 舎		屋 外 場	児童、生徒一人当り	
			教 室	講堂屋内 運動場		教 室	運動場
総 計	20,304	96,564	8,766	1,886	46,184	0.43	2.29
幼 稚 園	1,745	5,269	890	35	2,241	0.51	1.29
小 学 校	12,772	38,440	5,495	1,532	19,728	0.43	1.54
中 学 校	5,787	52,855	2,381	319	24,215	0.41	4.20

チ、校舎坪数

昭和30.7.1現在

学校種別	一 般 校 舎						講堂屋内 運動場	その他	計	
	教 室		実験実習室		管理関係小計					
	室数	坪数	室数	坪数	坪数	室数	坪数			
幼稚園	47	890	0	0	733	47	1,623	35	0	1,658
小学校	273	5,495	3	93	5,731	276	11,319	1,532	52	12,903
中学校	79	2,381	9	311	3,012	88	5,704	319	48	6,071
計	399	8,766	12	404	9,476	411	18,646	1,886	100	20,632

リ、校地坪数

昭和30.7.1現在

学校種別	校舎敷地	屋外運動場敷	実験実習室	その他	計(坪)	学校林
幼稚園	2,857	2,241	—	171	5,269	—
小学校	17,928	19,728	—	784	38,440	9,016
中学校	14,293	24,215	3,071	11,276	52,855	15,000
計	35,078	46,184	3,071	12,231	96,564	24,016

ヌ、中学校卒業生就業状況

A 昭和29年度卒業生

昭和30.7.1現在

区 分	上級学校への入学者		就職者		無業		死亡		不詳		計 (人)	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
実 数	531	445	185	225	47	102	—	—	5	49	768	821

B 就職者の産業別

昭和30.7.1現在

区 分	農 業		漁水業 養殖業		鑛 業		建 設 業		製 造 業		卸 賣 小 売 業 及 業		運 送 及 他 事 業 通 其 公 益		サ ー ビ ス		そ の 他		計 (人)		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
人員	23	20	12	6	1	0	6	0	66	104	28	36	—	—	26	39	23	20	185	225	410

C 就職者の職業別

昭和30.7.1現在

区 分	専 門 的 職 業 技 術 者		事 務 員		農 及 従 夫 漁 業 者 大 夫 似		運 輸 的 業		特 工 程 及 勞 務 生 産 技 術 者 単 純 工 者		サ ー ビ ス 業		販 賣 業 者		そ の 他		計 (人)		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
人員	35	17	3	14	35	26	—	—	84	71	8	33	26	38	13	14	185	225	410

ル、学校所在地及学校長名

A 幼稚園

昭和30.7.1現在

公立 私立	幼稚園名	園長氏名	設 立 年 月 日	位 置	電 話 番 号	公立 私立	幼稚園名	園長氏名	設 立 年 月 日	位 置	電 話 番 号
公	野口	荒金 良士	大 15.3.31	富士見	150	公	龜川	藤内 保	昭 13.4.1	龜川浜	8,064
"	北	和田 政見	明 34.1.15	北 浜	624	"	朝日	有田 武夫	昭 14.4.1	鶴 見	8,053
"	南	太田初恵門	明 44.1.26	南 區	559	"	石垣	齋藤 照実	昭 22.4.15	中須賀	1,404
"	蓮田	塩手 直	大 13.4.1	東蓮田	656	私	明星	ソラリ・カルメラ	昭 21.3.31	原 區	2,190
"	西	小野 英雄	昭 13.4.1	真光寺	1,460	"	真 菱	東島 鷹次	昭 21.3.31	不 老	302
"	青山	江藤 利光	昭 13.4.1	上田ノ湯	631	"	海ノ星	ソオマリビエラ	昭 27.3.19	南 町	1,172
"	南立石	山本 保	昭 13.4.1	南立石	1,481	"	めぐみ	久保木カズ	昭 28.3.31	境 通	—

B 小学校

昭和30.7.1現在

公立 私立	小学校名	校長氏名	設 立 年 月 日	位 置	電 話 番 号	公立 私立	小学校名	校長氏名	設 立 年 月 日	位 置	電 話 番 号
公	野口	荒金 良士	大 15.3.31	富士見	150	公	南立石	山本 保	明 8.12.1	南立石	1,481
"	北	和田 政見	明 7.12.1	北 浜	624	"	龜川	藤内 保	明 7.12.1	龜川浜	8,064
"	南	太田初恵門	明 13.3.1	南 區	559	"	朝日	有田 武夫	明 5.4.1	鶴 見	8,053
"	蓮田	塩手 直	大 15.4.1	東蓮田	656	"	石垣	齋藤 照実	明 5.4.1	中須賀	1,404
"	西	小野 英雄	明 10.10.1	真光寺	1,460	"	東山	清家 辰己	明 10.11.8	東 山	—
"	青山	江藤 利光	昭 27.4.1	上田ノ湯	631	私	明星	ソラリ・カルメラ	昭 21.3.1	原 區	2,190

C 中学校

昭和30.7.1現在

公立 私立	中学校名	校長氏名	設 立 年 月 日	位 置	電 話 番 号	公立 私立	中学校名	校長氏名	設 立 年 月 日	位 置	電 話 番 号
公	山ノ手	宮迫 勝	昭 22.4.1	上 原	1,127	公	浜 島	古川 定	昭 25.4.1	浜 島	1,631
"	青山	芹刈 廣恵	昭 22.4.23	鶴 見	2,228	"	朝日	荒波 忠夫	昭 22.4.23	鶴 見	8,102
"	中部	環 量	昭 22.3.1	南石垣	307	"	東山	清家 辰己	昭 22.5.1	東 山	—
"	北部	栗原 半次	昭 25.4.23	北石垣	8,148	私	明星	ソラリ・カルメラ	昭 21.3.31	原 區	2,190

D 高等学校

昭和30.7.1現在

公立 私立	学 校 名	校 長 氏 名	設 立 年 月 日	位 置	電 話 番 号
公	鶴見ヶ丘高校学校	利 田 正 男	大 7.3.8	鶴 見	1,401
"	緑ヶ丘高校学校	宮 崎 豊	昭 23.4.1	野 口 原	553
私	自由ヶ丘高校学校	佐 藤 義 隆	昭 25.4.1	北石垣田通寺	8,101
"	明 星高校学校	ソラリ、カルメラ	昭 28.3.30	原 區	2,190

E 大学校

昭30.7.1現在

公立 私別	学 校 名	校 長 氏 名	設 立 年 月 日	位 置	電 話 番 號
私	別府大.学校	佐 藤 義 隆	昭 25.4.1	北石垣円通寺	8,101

F 各種学校

昭30.7.1現在

公立 私別	学 校 名	校 長 氏 名	設 立 年 月 日	位 置	電 話 番 號
私	別府高等商業学校	香 椎 直	昭22.4.1	松 原	2,019
"	馬場洋裁女学院	上 田 百 合	昭21.4.1	下 野 口	776
"	別府ドレスメーカー女学院	仁 科 昌 男	昭22.5.6	海 門 寺	73
"	ミタドレスメーカー女学院	十 川 良 子	昭17.10.1	中浜筋六丁目	27
"	生野洋裁女学院	生 野 タ エ	昭16.6.6	秋葉通五丁目	541
"	別府高等技芸学校	藤 部 ミツエ	昭18.10.8	龜川湯ノ森	8,280
"	明星美容専門学校	貝 沼 梅 子	昭28.4.1	老 松	—

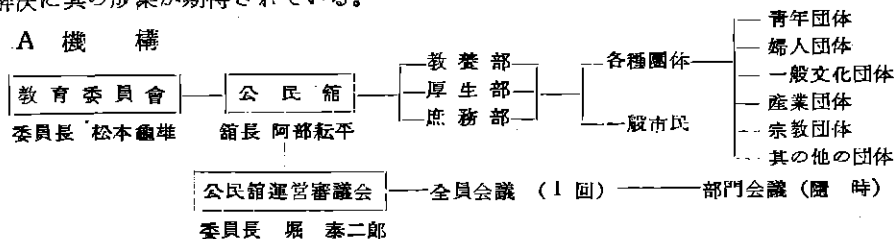
3 社会教育

教育基本法によつて今迄の家庭教育及び社会教育を一括して社会教育と総称することになった。学校の教育課程として行われる教育活動を除いて主として青少年及び成人に対して行はれる組織的活動である。従つて教育内容も科学、政治、経済、道徳、芸術、純潔、衛生、社会体育に関するなど広い範囲に及びその指導に重要性を増し、成果に大きな期待がかけられている。

イ、公民館

本市公民館は昭和24年6月社会教育法第2条により上田ノ湯に設置された、市民の文化センターである本館の運営は下記運営審議会委員21名により企画され、講演会、講習会音楽会、展示会等を併せ行い、又一般の文化的事業に利用されている。昭和30年7月1日現在地区分館5、町内分館35設置されて、地域の文化向上と課題解決に其の成果が期待されている。

A 機 構



B 分館数並委員職員数

昭30.7.1現在

本館	地区分館	町内分館	運営審議会委員	館長	主事	事務職員	読書技師	使 丁
1	5	35	21	1	1	3	1	3

C 活用状況

昭30.7.1現在

區 分	大ホール		講 座 室		会 議 室		そ の 他		計	
	開催数	利用者数	開催数	利用者数	開催数	利用者数	開催数	利用者数	開催数	利用者数
公民館行事	13	12,500	173	2,000	144	4,200	146	2,550	476	21,250
外部行事	136	110,000	122	1,300	75	1,950	42	560	375	113,810
計	149	122,500	295	3,300	219	6,150	188	3,110	851	135,060
式 場	區 分 利 用 者		舉 式		振 袖		モーニング			
			159件		69件		36件			

D 公民館運営審議会委員

昭30.7.1現在

氏 名	関係所属団体	住所	氏 名	関係所属団体	住所	氏 名	関係所属団体	住所
利田 正男	鶴見丘高校	弓ヶ浜河合	藤七	社会事業機関	港 町	吉武 木緒	学識経験者	明星学園
香椎 直	連合青年団	御 幸		PTA連合会		小原由岐雄	"	職安
河村 無我	市 婦 連 誦	見 堀	泰二郎	学識経験者	不 老	矢田 保	石垣地区館長	南石垣
野上 順平	文化団体	楠 町	河野賢次郎	"	老 松	藤内 保	亀川地区館長	亀川
大野 義雄	農業団体	原 區	井口 春吉	"	上野口	加藤 審	朝日地区館長	朝日
後藤 博	商工団体	此の花	矢野 嶺華	"	富士見	山本 保	南立石地区館長	南立石
堀 豊美	労働団体	市職組	小野 勝美	"	朝 見	平野 登	東山地区館長	城島

E 社会教育委員

昭30.7.1現在

氏 名	関係所属団体	住所	氏 名	関係所属団体	住所	氏 名	関係所属団体	住所
宮崎 豊雄	鶴見丘高校	原 區	中川 文昌	宗教団体	河 内	久間 敏弘	自治委員	老松
宮迫 勝山	山の手中学	南野口		PTA連合会		山本哲次郎	社教委員	錦
佐藤 高正	連合青年団	梅 園	田吹 繁子	学識経験者	錦	荒金 進	石垣地区	石垣
甲斐コウメ	市 婦 連 誦	"	須東 妙子	"	照波岡	平松新一郎	亀川地区	亀川
大友 富藏	リーダークラブ	鶴見原	田辺ミツノ	"	仰 町	安波 利夫	朝日地区	朝日
渡瀬 朱信	藝能クラブ	亀 川	井田 榮作	"	原 太田	止南立石地区	莊園	
澤口 種	その他の文化団体	原	久保 鶴繁	"	住 吉	田原 春吉	東山地区	城島

ロ 図書館

別府市立図書館は大正11年6月1日の創立で北小学校に併置してあつたが、昭和8年4月15日今の上田の湯区（公民館内）に移転し現在に至っている。

蔵書数は昭和11年末2,437冊、昭和22年末8,855冊と増加し、昭和30年4月1日現在17,125冊に増加した。この1日当たり利用冊数を見ると次の通りで、昭和11年60冊が年々増加し、昭和22年は113冊、昭和29年は298冊となつている。閲覧者数は昭和11年14,319人、昭和22年23,518人、昭和29年51,622人と増加し、文化水準向上のため大きな役割を果しつつある。

イ、蔵書数

昭30.4.1現在

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	藝術	語学	文学	郷土誌	児童用	分類外	合計
924	1,033	1,518	2,206	821	492	436	699	224	2,787	154	2,740	3,091	17,125冊

ロ、閲覧細別

昭29.4~30.3

閲覧総人員	閲覧総冊数	開館日数	1日平均数	
			人員	冊数
51,622人	90,056冊	302日	170.93人	298.19冊

ハ、閲覧人員

昭29.4~30.3

性別	児童	学生	公務員	家事従事者	自由業	交通業	商業	工業	農業	水産業	その他	無職	計
男	13,026	15,325	816	359	293	136	403	133	57	156	3,982	1,733	36,419人
女	6,993	7,275	—	—	—	—	—	—	—	—	142	793	15,203人
計	20,019	22,600	816	359	293	136	403	133	57	156	4,124	2,626	51,622人

ニ、閲覧冊数別

昭29.4~30.3

総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	工学	産業	藝術	語学	文学	郷土誌	児童用	分類外	計
1,655	1,125	7,745	16,298	15,957	725	933	2,601	3,614	23,401	1,206	2,059	12,736	90,055

第六編 公安

- 1 司
- 2 警
- 3 消

法
察
防

第 6 編 公 安

警察制度の画期的な改正を目的とする、警察法の施行を見るに及んで別府市公安委員会の下に自治体警察として別府市警察署が発足、以来4年間地方自治の真義を推進して来たが昭和29年7月1日新警察法の施行により新に大分県別府警察と改称県公安委員会の下に運営されることになった。

一方消防組織も制度の改革によつて同じく市消防署を設置し、機械器具の整備とたゆまざる訓練によつて被害軽微に努力し、市民を火災から護り抜いている。

1 司 法

本市には司法行政執行機関として、訴訟の目的が罰金以下の刑にあたる罪に係る訴訟の第一審である別府簡易裁判所及び、刑法犯、特別法犯等の起訴、不起訴を決定する別府区検察庁があり、又不動産、商業等の登記に関する事務を扱ふ大分地方方法務局別府出張所がある。

1 別府簡易裁判所

A 職 員

昭30.6.27.現在

名 稱	判 事	書 記	書記官補	事務員	雇 員	その他	計
別府簡易裁判所	2	0	4	2	2	5	15人

B 民 事 事 件

(別府簡易裁判所調)

昭29.1~29.12

區 分	通常	和解	督促	公示催告	假差押處分	過料	共助	雜事件	計	
										一 般 調 停
民 事 事 件	新受	209	113	319	0	52	260	46	392	1,391件
	既済	151	113	323	0	50	260	52	388	1,337件
	未済	96	0	0	0	2	0	7	8	113件
調 停 事 件	新受	43		133		176 件				
	既済	43		128		171 件				
	未済	14		32		46 件				

(別府簡易裁判所調)

C 刑事事件

昭29.1~29.12

區 分	受 理 終 局 未 終 局	受 理		終 局	未 終 局
		旧 受	新 受		
通 常	刑 法 犯	38	186	198	26
	物 別 法 犯	5	5	7	3
略 式	刑 法 犯	0	159	150	9
	物 別 法 犯	4	655	654	5

(別府簡易裁判所調)

別府区検察庁

A 職 員

昭30.7.1現在

名 稱	副 検 事	事 務 室 員	そ の 他	計
別 府 区 検 察 廳	1	5	2	10人

(別府区検察庁調)

B 事件取扱件数

昭30.7.1現在

區 分	総 数	受 理 處				受 理 處				
		検 察 官 認 知 及 び 直 接 受 理	通 常 司 法 職 員 上 理	其 他 司 法 職 員 上 理	其 他 司 法 職 員 上 理	起 訴	不 起 訴	中 止	催 へ 送 致	未 處 理
刑 法 犯	738	17	598	123	738	347	252	21	118	—
物 別 法 犯	1,010	89	737	184	1,010	673	138	37	162	—

(別府区検察庁調)

C 略式請求罪名別件数

D 特別法犯

E 刑法犯 昭29.4~30.3

罪 名	件 数
印 紙 税 法	1
火 薬 類 取 締 法	—
覺 せ い 劑 取 締 法	51
輕 犯 罪 法	1
古 物 營 業 法	6
森 林 法	—
家 賃 營 業 法	2
職 業 安 定 法	3
銃 砲、刀 劍 類 所 持 取 締 法	5
食 糧 管 理 法	38
酒 税 法	10

罪 名	件 数
性 病 予 防 法	5
煙 草 專 売 法	27
道 路 運 送 車 輛 法	1
道 路 交 通 取 締 法	511
婦 女 (昭22年勅9號)	—
物 価 統 制 令	—
物 品 税 法	—
風 俗 營 業 取 締 法	4
運 合 (昭24年政389號)	—
公 職 選 挙 法	—
地 方 公 共 団 体 の 條 令	5

罪 名	件 数
業 務 上 過 失 傷 害	78
業 務 上 過 失 致 死	5
脅 迫	—
建 造 物 等 放 火	—
住 居 侵 入	4
猥 褻 文 書 頒 布 等	2
賭 博	2
贈 賄	—
傷 害	68
暴 行	2
過 失 傷 害 致 死	—

(別府区検察庁調)

大分地方法務局別府出張所

A 職 員

昭30.6.1現在

名 稱	支 所 長	事 務 官 及 雇 員	計	司 法 書 士	土 地 家 屋 調 査 士
大 分 地 方 法 務 局 別 府 出 張 所	1	7	8人	2人	15人

(大分地方法務局別府出張所)

B 登記事件甲号

昭29.1~29.12

種 別	件 数	個 数	登 録 税 又 は 手 数 料
不 動 産 及 び 船 舶	登 記	12,655	51,826
	謄 抄 本 證 明・ 閱 覧	11,997	—
商 業	登 記	514	—
	謄 抄 本 證 明・ 閱 覧	—	—
そ の 他	登 記	98	—
	謄 抄 本 證 明・ 閱 覧	—	—

(大分法務局別府出張所調)

C 登記事件乙号

昭29.1~29.12

請 求 の 数	手 数 量	公 務 員 が 職 務 上 請 求 し た も の
2,483	0	2,483

(大分地方法務局別府出張所調)

D 供託事件

昭29.1~29.12

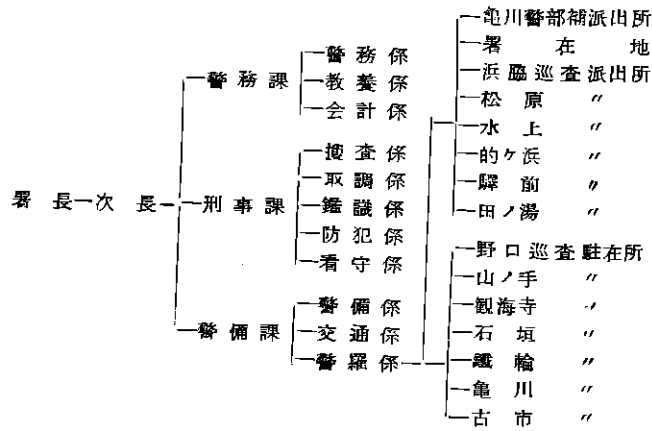
現 入		金 出		有 価 証 券	
受 入 件 数	金 額	件 数	金 額	受 入 件 数	金 額
854件	5,006,174円	776件	3,604,262円	1件	50,000円
				1件	10,000円

(大分地方法務局別府出張所調)

2、警 察

新憲法の実施に伴い過去70余年に亘り中央集権的であった警察制度は、地方的な自治体警察に改革された。以来機構の整備と民主的な運営によつて公共の秩序維持生命財産の保護、犯罪の予防と捜査、交通の取締などに専念していたが、たまたま昭和29年6月30日を以つて県に移管する所となつた。犯罪の発生も市民生活の安定と回復に従つて昭和25年を頂点として下り坂にあるが、犯罪は知能的、計画的、傾向にあり犯罪の予防警備と住民の協力が一段と要請されている。

イ 警察機構



ロ 派出所及駐在所數

昭30.7.1現在

警部補派出所	部長派出所	巡査派出所	巡査駐在所	計	管内世帯数	管内人口
1	—	7	7	15人	23,615世帯	99,512人

(大分縣別府警察署調)

ハ 交通事故

昭29.4~30.3

區 分	歩行者	自轉車	自動車	電 車	汽 車	その他	計	物件負害
件 数	75	24	120	9	10	7	245人	3,373,820円
負 傷	49	19	93	7	5	3	176人	—
死 亡	2	1	11	0	5	0	19人	—

(大分縣別府警察署調)

ニ 自殺者

昭29.4~30.3

原因別	病苦	前非又は慚愧	家庭不和	将来を苦慮	業務失効	失恋	厭世	その他	計	
既 途	男	5	2	3	—	2	2	23	12	49人
	女	1	—	2	—	—	4	9	8	24人
未 途	男	3	—	20	26	5	6	19	15	94人
	女	2	—	11	3	2	2	6	4	30人

(大分縣別府警察署調)

ホ 警察取締營業

昭29.4~30.3

貸席	料理店	カフェー	飲食店	キヤバレー	ダンスホール	遊戯場	貸屋	古物商	古物市場	古鐘金廻回收	計
126	16	30	155	4	—	32	92	216	9	67	747

(大分縣別府警察署調)

〜 犯罪発生及檢舉件數

昭29.4~30.3

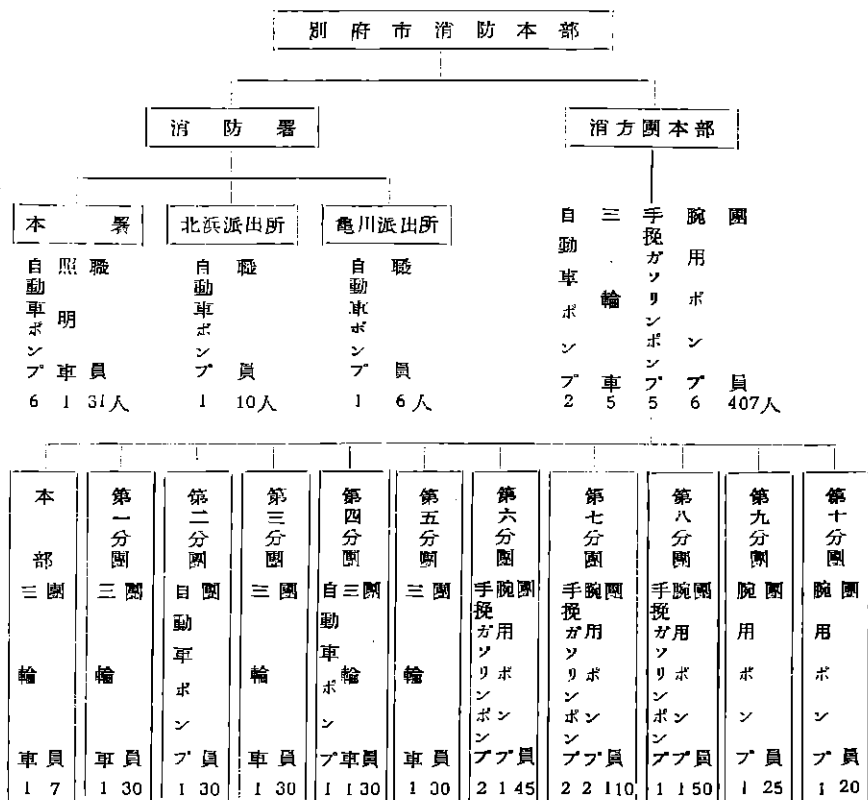
月別	種別	殺人	強盗内	強盗外	放火	強姦	暴行	傷害	脅迫	恐喝	窃盗	詐欺	横領	賭博	その他	計
29年	発生	—	—	—	—	—	—	7	—	1	93	15	2	—	1	119
4月	検挙	—	—	—	—	—	—	7	—	1	54	15	2	—	1	80
5月	発生	—	1	1	1	—	—	7	2	—	70	11	4	—	2	99
	検挙	—	1	1	1	—	—	7	2	—	58	11	4	—	2	87
6月	発生	—	—	—	—	—	—	8	—	—	74	10	8	—	—	100
	検挙	—	—	—	—	—	—	8	—	—	44	10	8	—	—	70
7月	発生	—	—	—	—	—	2	6	—	1	87	23	4	—	9	132
	検挙	—	—	—	—	—	2	6	—	1	35	23	4	—	9	80
8月	発生	—	—	—	—	—	1	10	—	1	143	12	6	—	5	178
	検挙	—	—	—	—	—	1	10	—	1	49	12	6	—	5	84
9月	発生	1	—	—	—	—	—	4	—	1	149	61	5	—	5	226
	検挙	1	—	—	—	—	—	4	—	1	54	61	5	—	5	131
10月	発生	1	—	—	1	1	21	1	3	173	24	6	—	13	244	
	検挙	1	—	—	1	1	21	1	3	43	24	6	—	13	114	
11月	発生	1	—	—	2	3	4	—	8	194	34	10	—	24	280	
	検挙	1	—	—	2	3	4	—	8	44	34	10	—	24	120	
12月	発生	2	—	—	—	6	11	3	2	150	39	21	—	26	260	
	検挙	2	—	—	—	6	11	3	2	40	39	21	—	26	150	
30年	発生	—	1	1	—	—	3	11	1	1	172	14	9	1	11	224
1月	検挙	—	1	1	—	—	3	11	1	1	84	14	9	1	11	136
2月	発生	—	—	1	—	—	2	5	—	2	150	21	10	—	14	205
	検挙	—	—	1	—	—	2	5	—	2	43	21	10	—	14	98
3月	発生	—	—	2	—	—	1	4	—	1	153	22	1	—	1	185
	検挙	—	—	2	—	—	1	4	—	1	50	22	1	—	1	82
計	発生	5	2	5	1	3	19	98	7	21	1608	286	86	1	111	2,252
	検挙	5	2	5	1	3	19	98	7	21	598	286	86	1	111	1,242

(大分縣別府警察署調)

3 消 防

イ 消防機構

昭和23年から消防法の制定を見、従来の警察行政から分離して官設消防から自治体消防に移行した消防制度も近代科学を取り入れていちじるしく整備強化された。従来消防事務は警察行政の一部として官設消防として運営されてきたが、消防組法の実施とともに、自治体消防としての新機構をととのえた。即ち市はその区域の消防に責任をもつこととなり市長は消防本部、消防署を設置することができるようになり、この劃期的な消防法の施行によつて火災予防が法的に大きくとりあげられることになった。本市は消防本部のもとに松原町内区に本署を北浜、亀川に派出所を置いて火災予防に万全の措置をとっている。



ロ 消防本部及び消防署職員数

昭30.7.1現在

職 名	消防長	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防士	その他	計
実 員	市長兼(1)	1	1	3	8	31	3	47人(1)

ハ 消防團員数

昭30.7.1現在

職 名	團 長	副團長	分團長	副分團長	班 長	副班長	團 員	計
実 員	1	2	10	18	52	52	272	407人

ニ 火災発生件数及損害額

昭29.4~30.3

失 火		放 火		漏 電 其 他		山 林、火 災		計	
件 数	棟 数	件 数	棟 数	件 数	棟 数	件 数	坪 数	件 数	損 害 額
48	42	2	0	10	9	2	3	62	14,180,520

ホ 水 利

昭30.7.1現在

消 火 栓	貯 水 槽	河 川	溜 池 其 他	計
689	54	19	3	774ヶ

～ 建築同意件數

昭29.4～30.3

區 分	新 築	増 築	改 築	移 轉	修 繕	模 倣 替	用途變更	計
住 宅	227	169	13	2	2	—	2	415
旅 館	4	38	1	1	1	1	25	71
劇 場	—	5	2	—	—	1	1	9
店舖付住宅	24	49	10	1	—	2	1	87
倉 庫	17	38	3	—	—	—	—	58
学 校	2	9	—	—	—	—	—	11
共 同 住 宅	4	—	—	—	—	—	—	4
工 場	4	3	1	1	—	—	—	9
病 院	1	9	1	—	—	—	—	11
事 務 所	3	9	2	—	—	—	—	14
車 庫	1	4	1	—	—	—	—	6
危 險 物 関 係	—	1	—	—	—	—	—	1
其 の 他	16	24	3	—	—	—	—	43
計	303	358	37	5	3	4	29	739

第七編 産 業

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 全 | 産 | 業 |
| 2 | 商 | | 業 |
| 3 | 工 | | 業 |
| 4 | 農 | | 業 |
| 5 | 林 | | 業 |
| 6 | 畜 | 産 | 業 |
| 7 | 水 | 産 | 業 |

第 7 編 産 業

本市は温泉地として発展し商業は専ら観光客を対象として経営され駐留軍と浴客の増加によつて接客関係の商業が急増し華かな温泉都市商店街情緒を画き出し、更に国観法による都市計画の実施に伴い漸次商店街が整備充実せられ将来の発展が約束されているが、原動力を大規模に使用する大工場[○]の設置は立地条件に乏しく消費都市として日常の衣食住に應ずる製氷、製材、精米等の工場があるのみで大きな工場はない。

竹製品は家庭工業の振興と土産品改善等の面から之を奨励し、内地は勿論海外にまで販路を求め年々輸出高は向上し市内全工業の約60%に当る竹製品工業は我国竹製品工業の王座を占めている。

1 全 産 業

イ 業 種 別

昭29.9.1現在

業 種 別	事業所数	業 種 別	事業所数
農 業	1,901	調 味 料	12
林業および狩猟業	350	精 穀 精 粉	3
漁 業	261	バ ン 菜 子	100
鑛 業	7	飲 料	7
砂および砂利採取	3	そ の 他 食 料 品	86
非金屬鑛物採掘	4	染 色 お よ び 整 理	1
建 設 業	331	絨 緞、 敷 物	7
土 建 請 負	39	帽	1
左官、石工、大工、電気、水道	240	そ の 他 織 維 製 品	1
塗 装 そ の 他	22	衣 服 お よ び 身 廻 品	6
製 造 業	790	製 材 お よ び 木 製 品	28
食 肉 お よ び 酪 農	2	木 製 容 器	288
水 産 食 料 品	29	木 製 履 物	30

業種別	事業所数	業種別	事業所数
その他木製品	1	宝石銀器	1
家庭用、事務用家具	24	玩具体育用具	23
宗教用具	1	装身具	7
建具	22	漆器	3
家庭用備品	9	その他製造	9
紙箱	12	卸賣業	301
新聞	13	自動車および部分品	7
刊行物出版	3	化学薬品、医薬品	26
商業印刷	18	織物、衣服	21
製本	1	飲料、食料品	83
石けん	1	農産、水産物	27
木材化学薬品	1	電気、器具	9
医薬品	4	家具建具什器	24
印刷インキ	1	機械器具、金物	21
化学工業	5	その他卸	76
石油、石炭製品	1	代理、仲立	6
ガラス、土石製品	7	農産物集荷	1
ブリキ罐	1	小賣業	2,674
刃物手工具	3	各種商品小売	11
娯楽装置	2	織物衣服	66
構築用金属	8	洋服	21
その他金属製品	2	婦人子供服	23
原動機	2	中古衣服	18
産業用機械	1	靴および履物	82
機械部分品	1	衣服織物身廻品	126
船舶製造修理	1	各種食料品	133
度量衡器	1	酒および調味料	129

業種別	事業所数	業種別	事業所数
食肉	34	保険媒介代理	3
鮮魚	105	不動産業	65
乾物	18	不動産所有運用	34
果物野菜	183	建賣土地分譲	1
菓子、パン	454	不動産代理仲介	27
牛乳	2	その他不動産	3
その他食料品	160	運輸通信公益事業	153
飲食店	434	旅客自動車	9
自転車小賣	18	軽車輛運送	125
自動車小賣	12	貨物自動車運送	11
路上運搬機	1	特定貨物	1
石油	2	貨物輕車輛	28
家具建具	35	沿海運輸	1
たばこ	11	倉庫業	2
醫藥品化粧品	117	運送取扱幹旋	4
金物荒物	109	電気	1
家庭用器具	39	瓦斯	1
陶器硝子	17	水道	2
中古品	36	汚物掃除	3
燃料	35	サービス業	1,958
その他小賣	243	旅館	335
金融及び保険業	159	貸間下宿	92
銀行	11	宿泊所	10
農林水産金融	1	洗濯洗濯	71
庶民金融	131	染物	16
証券	7	寫眞	25
保険	6	理はつ理容	219
		浴場	73

業 種 別	事業所数	業 種 別	事業所数
衣 服 仕 立	137	保 健 所	1
物 品 預 り	18	看 護 婦	4
葬 儀 火 葬	6	助 産 婦	23
そ の 他 個 人 サ ー ビ ス	55	医 学 試 験	1
廣 告 業	2	そ の 他 保 健 施 設	27
興 信 取 立	6	辯 護 士 辯 理 士 事 務 所	9
速 記 筆 耕 青 寫 眞	4	公 証 人 役 場	1
私 宮 職 業 紹 介	3	土 木 建 築 サ ー ビ ス	1
対 信 宅 建 物 サ ー ビ ス	5	會 計 士 事 務 所	11
対 事 業 所 サ ー ビ ス	17	そ の 他 専 門 サ ー ビ ス	66
自 動 車 修 理	15	小 学 校	14
機 械 "	18	中 学 校	8
時 計 "	8	高 等 学 校	5
家 具 "	3	大 学	1
樂 器 "	2	幼 稚 園	13
自 轉 車 "	20	各 種 学 校	12
金 物 "	1	社 會 教 育	3
鍛 冶	6	そ の 他 教 育	2
そ の 他 修 理	18	神 道	49
映 画 館	11	仏 教	34
劇 場 及 興 行	3	キ リ ス ト 教	7
置 屋 待 合 貸 席	145	そ の 他 宗 教	2
ダ ン ス ホ ー ル	6	經 済 團 体	6
遊 戲 娛 樂	53	勞 働 團 体	2
診 療 所	134	厚 生 社 會 事 業 団 体	13
病 院	11	自 然 化 学 研 究	1
療 術 業	101	非 營 利 団 体	1

2. 商 業

イ、業態別店舗数及び従業者数

昭29.9.1現在

業 態	区 分	店 舗 数	個 人			法 人		
			家 族 従 業 者	雇 傭 者	計	有 給 役 員	商 用 人	計
一 般 卸 売 業		231	274	228	502	216	671	887
特 殊 卸 売 業		13	9	—	9	48	43	91
各 種 商 品 小 売 業		1	2	6	8	—	—	—
呉 服 身 廻 品 小 売 業		288	408	116	524	120	360	480
飲 食 料 品 小 売 業		1,214	2,052	305	2,357	109	194	303
飲 食 店		412	691	530	1,221	22	169	191
路 上 運 搬 小 売 業		21	10	1	11	20	110	130
石 油 小 売 業		1	—	—	—	2	10	12
そ の 他 小 売 業		623	876	298	1,174	137	296	433
計		2,804	4,322	1,484	5,806	674	1,853	2,527

3. 工業

イ、産業分類別従業者数（従業者3人以下）

昭29.12.31現在

分類別	事業所数	従業者			生産額 (千円)
		常用 労働者	業主及家 族従業者	計	
食料品製造業	166	92	273	365	116,112
紡織業	11	8	16	24	5,956
衣類及身廻品製造業	2	2	2	4	2,380
木材及木製品製造業	299	58	427	485	41,608
家具及装備品製造業	40	27	53	80	14,479
印刷出版及類似産業	20	14	21	35	5,836
紙及類似品製造業	6	6	10	16	2,131
化学工業	10	14	9	23	9,313
ゴム製品製造業	1	1	1	2	500
ガラス及土石製品製造業	2	1	2	3	2,500
金属製品製造業	8	8	11	19	2,830
機械製造業	3	8	1	9	2,851
輸送用機械器具製造業	2	—	4	4	322
その他製造業	26	13	39	52	9,776
計	596	252	869	1,121	216,594

ロ、産業分類別従業者数（4人以上）

昭29.12.31現在

分類別	事業所数	従業者				生産額 (千円)
		個人業主及 家族従業者	会社 役員	労働者	計	
食料品製造業	71	71	97	816	984	749,899
衣服及身廻品製造業	1	—	11	35	46	10,643
木材及木製品製造業	25	30	38	250	318	124,957
家具及装備品製造業	12	8	14	94	116	36,061
紙及類似品製造業	6	16	—	39	55	15,083
印刷出版及類似産業	12	10	47	179	236	81,967
化学工業	4	1	9	26	36	23,710
石油及石炭製品製造業	1	—	3	15	18	11,880
ガラス及土石製品製造業	2	—	6	22	28	5,547
金属製品製造業	7	2	19	68	89	42,025
機械器具製造業	1	—	2	3	5	1,450
その他製造業	12	13	10	118	141	41,929
計	154	151	256	1,665	2,072	1,145,151

4. 農 業

イ、農 地

昭29.9.1現在

区 分	田	普通畑	果樹園	茶 園	その他	採放 草地	計
自作地	反 5,329,500	反 2,074,115	—	—	—	反 41,224	反 7,444,909
小作地	1,101,804	315,017	—	—	—	.400	1,417,221
計	6,431,304	2,389,202	—	—	—	41,624	8,862,200

ロ、農家及農家人口

昭29.9.1現在

内 訳	農 家 戸 数 及 人 員					地 目 別 筆 数		創 設 地 集 計
	戸 数	人 員	貸付農家戸数	借入農家戸数	一戸当平均耕作面積	田	畑	
自作農	1,102	6,432	266	—	反 4.420	筆 8,223	反 2,360,517	
自作兼小作	504	3,272	51	504	反 5.806	畑 4,829	畑 741,402	
小作兼自作	164	964	11	164	反 3.826	—	—	
小作農	218	1,034	2	218	反 1.426	—	—	
不耕作地主	27	101	27	—	—	採草放牧 15	—	
計	2,015	11,803	357	886	反 4.401	筆 13,067	反 3,101,919	

ハ、農作物収穫高

昭29.1~29.12

農作物名	作付面積	収穫面積	反当収量	推定実收高	推定販売高	農作物名	作付面積	収穫面積	反当収量	推定実收高	推定販売高
水 稻	52,610	52,610	斗 15	石 7,891	石 45	しろうり	215	215	貴 500	貴 10,750	貴 4,500
陸 稻	515	501	10	50	2	かぼちや	355	350	600	21,000	5,800
(小 計)	53,125	53,111	—	7,941	47	すい か	280	280	500	14,000	8,900
大 麦	1,675	1,650	12	198	10	まくわうり	160	160	400	6,400	3,500
はだか麦	29,960	29,950	15	4,492	45	とうがらし	30	30	80	240	120
小 麦	16,240	16,235	14	2,273	29	その他の 果 菜	60	60	200	1,200	600
(小 計)	47,875	47,835	—	6,963	84	だいこん	3,860	3,860	500	193,000	12,500
とうもろ こし(乾)	395	390	7	27	7	か ぶ	210	210	350	7,350	4,000
とうもろ こし(未)	150	150	—	250	50	ご ぼ う	435	435	500	21,750	9,800
ライ麦	31	31	12	4	3	にんじん	315	315	300	9,450	4,500
えん麦	115	115	10	12	2	しょうが	125	125	350	4,375	2,500
あ わ	316	316	10	32	13	れんこん	215	215	400	8,640	4,000
もろこし	19	19	10	2	1	その他根菜	45	45	300	1,350	500
き び	54	54	9	5	4	な た ね	490	490	斗 11	斗 539	斗 10
そ ば	248	248	7	17	7	ご ま	120	120	4	48	4
さつまいも	8,650	8,650	300	259,500	134,000	らつかせい	115	115	12	138	20
じゃがいも	2,300	2,200	270	59,400	30,000	その他の 搾油作物	5	5	5	3	3
さといも	1,900	1,900	400	76,000	43,600	い ち び	180	180	貴 45	貴 810	貴 500
その他の い も	200	200	150	3,000	20,500	さとうきび	20	20	100	200	100
な す	815	800	500	40,000	12,500	こんにやく い も	65	65	180	1,170	1,000
ト マ ト	410	400	400	16,000	9,500	そ の 他 工 業 作 物	6	6	20	12	10
き う り	1,140	1,140	400	45,600	34,000						

農作物名	作付面積 畝	収穫面積 畝	反当 収量	推定 実收高	推定 販売高	農作物名	作付面積 畝	収穫面積 畝	反当 収量	推定 実收高	推定 販売高
大豆(乾)	245	245	12	294	110	かんらん	615	615	400	24,600	20,200
大豆(未)	1,185	1,185	—	1,750	1,400	結球白菜	730	730	400	29,200	17,000
あづき	745	745	8	596	320	非結球白菜	285	285	600	17,100	7,500
えんどう (乾)	75	75	9	68	50	きょうな	165	165	400	6,600	1,700
えんどう (未)	196	196	—	1,240	670	その他の つげな	1,395	1,395	200	27,900	21,500
そら豆(乾)	345	345	9	310	150	ほうれん そう	420	420	400	16,800	7,800
そら豆(未)	295	295	—	2,340	1,500	ふらんそう	615	615	400	24,600	12,000
ささげ	138	138	5	69	35	ねぎ	825	825	300	24,750	11,000
いんげん (乾)	41	41	6	24	10	たまねぎ	1,750	1,750	500	87,500	50,500
いんげん (未)	148	148	—	1,250	500	その他の 葉茎菜	325	325	200	6,500	4,900

5. 林業

イ、林業者

昭29.9.1現在

自営世帯数			公私有林管理者数		
総数	専業	兼業	総数	個人有林関係	会社及団体有林 (官公有を除く)
350	0	350	1,010	980	30

ロ、造林状況

昭29.1~29.12

区分	すぎ	ひのき	まつ	くぬぎ	計
市有林	町反畝 27.0.0	町反畝 2.0.0	町反畝 1.0.0	町反畝 2.0.0	町反畝 32.0.0
私有林	36.4.8	7.3.2	—	1.3.0	45.1.0

ハ、林野生産物

昭29.1~29.12

種別	推定 生産量	推定 販売量	種別	生産高	推定 販売数量
	石	石		東	東
用材 材 (素材)	すぎ	1,720	竹材(長さ 胴廻り3尺)	12,350	11,900
	ひのき	600	普通薪(長さ1.6尺 胴廻り2.5尺)	925	760
	まつ	120			
	その他	93	90	製炭業者 20人	
	計	2,533	2,460	黒炭	4,150
広葉樹材	くす	—	白炭	290	290
	きり	—	計	4,440	4,290
	その他	20			
	計	20	15	合計	2,553

ニ、市有林現況

昭29.9.1現在

区分	1年~10年	11~20年	21~30年	31~40年	41~50年	計	区分	1年~10年	41~50年
	町	町	町	町	町			町	町
すぎ	102.3	10.0	33.6	7.5	23.6	177.0	くぬぎ	200.7	—
ひのき	13.5	10.0	42.9	6.7	9.5	82.6	雑	5.0	4.0
まつ	7.7	2.2	108.4	138.8	7.02	264.2	竹	25.0	—

ホ、部分林の現況

昭29.9.1現在

区分	1年~10年	11~20年	21~30年	31~40年	41~50年	計	区分	1年~10年
	町	町	町	町	反			町反畝
すぎ	16.9	3.0	2.0	4.0	—	25.9	くぬぎ	113.4.6
ひのき	5.5	5.5	5.8	1.0	—	17.8	くす	1.5
まつ	4.0	1.1	6.2	3.0	6	14.9	竹	5.0

6. 畜産業

イ、家畜飼養頭羽数

昭30.1現在

区分	飼養家数	飼養頭羽数					内種牛頭 牡馬数
		仔畜	成畜			計	
			めす	おす	小計		
大家畜	乳用牛	戸 41	頭 10	頭 62	頭 —	頭 62	頭 72
	役肉用牛	1,070	275	1,150	9	1,159	1,434
	計	1,111	285	1,212	9	1,221	1,506
	馬	120	26	59	162	221	247
	合計	1,231	311	1,271	171	1,442	1,753
中小家畜	綿羊	2	1	2	—	2	3
	山羊	125	45	120	—	120	165
	豚	41	175	440	4	444	619
	兎	250	150	210	25	235	385
	にわとり	1,820	3,550	13,930	720	14,650	18,200

ロ、家畜防疫検査状況

昭29.2~30.3

日次	防除検査	実施頭羽数	日次	防除検査	実施頭羽数
昭29.2月9日~ 2月16日	乳牛結核検査	51	12月1日~ 12月4日	豚コレラ予防	450
4月26日	馬流行性脳炎予防	23	12月7日~ 12月14日	鶏白痢病予防	5,863
6月21日~ 6月26日	家畜ブルセラ病予防	48	昭30年2月3日~ 2月5日	乳牛結核検査	50
7月12日	牛馬炭疽病予防	410	2月5日~ 2月12日	畜牛気腫疽予防	368
9月26日~ 9月28日	畜牛気腫疽予防	385			

7. 水産業

イ、漁船数

昭29.1現在

ロ、漁網数

昭29.1現在

区分	個人	会社	団体	その他	計	区分	個人	会社	団体	その他	計	
												有動力船
所有漁船数	5吨未満	92	5	—	—	97	漁網数	刺網類	29	—	—	29
	5吨以上	—	—	—	—	—		敷網類	3	—	—	3
	小計	92	5	—	—	97		旋網類	10	2	—	12
	5吨未満	141	6	2	—	149		曳網類	25	2	—	27
	5~10吨	3	—	—	—	3		定置網類	58	—	—	58
	10吨以上	1	—	—	—	1		延縄類	46	—	—	46
	小計	145	6	2	—	153		その他	570	—	—	570
	合計	237	11	2	—	250		計	741	4	—	745

ハ、月別漁獲高数

(単位㌦)

昭29.1~29.12

品目	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
アジ	2,557	7,052	8,966	13,160	19,517	11,395	14,175	8,048	15,710	17,649	18,070	19,390	157,689
サバ	13,682	14,543	14,083	13,723	11,452	5,178	18,960	6,010	10,188	19,883	15,812	21,503	165,017
イワシ	25,577	13,897	13,475	13,711	16,356	11,615	13,570	10,854	17,886	18,278	7,165	19,570	181,954
ブリ	2,350	4,581	7,087	5,041	3,440	4,652	3,292	2,970	2,599	3,070	2,131	2,814	44,027
マグロ カシキ	674	610	1,965	1,162	—	—	—	—	—	426	652	1,065	6,554
サヨリ	75	91	120	—	—	—	—	—	—	—	—	—	286
カレイ	611	1,183	600	761	778	1,009	830	630	1,180	416	630	830	9,457
タイ	204	583	600	1,715	2,580	1,543	835	1,289	637	1,025	911	759	12,681
コノシロ	—	260	275	—	—	—	—	—	—	—	—	—	535

チ	ヌ	—	—	—	111	78	68	42	70	25	40	10	—	444		
ボ	ラ	—	—	5,053	84	97	—	—	275	1,285	115	—	120	7,025		
イ	サ	キ	362	—	—	1,223	2,672	1,572	2,014	530	20	—	—	6,393		
コ	チ	—	—	—	—	—	80	—	—	—	—	—	—	80		
グ	チ	3,730	4,144	7,152	6,677	6,560	5,150	5,350	3,360	6,996	9,280	7,448	7,670	73,517		
コ	サ	バ	1,940	—	1,960	1,610	1,730	1,040	—	—	—	—	—	8,280		
タ	チ	ウ	オ	7,492	6,682	3,112	2,250	1,150	830	—	—	484	840	890	3,870	27,680
コ	ア	シ	—	—	—	—	—	1,290	—	—	2,850	—	—	—	4,140	
フ	グ	48	—	—	—	—	—	—	—	1,011	—	3,401	913	5,373		
チ	シ	キ	—	527	—	—	—	—	—	—	—	434	1,217	2,178		
カ	ツ	オ	—	—	—	1,630	—	—	—	360	220	165	—	2,375		
カ	マ	ガ	リ	—	—	—	—	1,871	5,042	—	—	—	—	7,913		
ウ	ナ	ギ、ハ	モ、ア	ナ	ゴ	—	—	—	—	1,130	—	—	—	1,130		
エ	ソ	—	—	—	—	—	—	—	—	130	2,024	110	—	2,264		
ア	メ	タ	—	—	—	—	—	—	—	—	650	1,050	520	2,320		
サ	ゴ	シ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	15	30	45		
サ	ワ	ラ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	481	481		
そ	の	他	12,225	7,572	10,972	8,786	9,587	10,598	7,616	8,555	9,871	7,722	9,981	8,716	112,147	
イ	カ、タ	コ	135	2,790	1,826	4,151	2,368	8,130	1,050	1,640	505	351	1,216	—	24,162	
エ	ビ	—	1,344	673	—	6,286	2,010	3,568	5,156	2,226	5,143	2,182	—	28,588		
ナ	マ	コ	120	100	—	—	—	—	—	—	—	—	130	350		
ガ	ニ	—	—	—	—	—	—	—	170	—	—	—	—	170		
具	類	579	2,241	2,807	1,179	1,871	2,710	2,188	2,219	1,262	1,754	—	18	18,628		
合	計	72,361	68,200	80,726	76,974	88,393	93,912	73,490	53,266	75,031	88,831	72,200	89,616	913,008		

第八編 金融

- 1 金融機関
- 2 銀行信用金庫業務
- 3 相互銀行業務
- 4 郵便局業務
- 5 農業協同組合業務

チ
ボ
イ
コ
グ
コ
タ
コ
フ
チ
カ
カ
ウ
モ
エ
ア
サ
サ
そ
イ
エ
ナ
ガ
具
合

第 8 編 金 融

デフレ経済を基礎とし日本経済の再建を図るといふ現在の経済段階に於ては購売力の減退、生産の縮少といった本格的デフレ現象が現われて業者の利潤低下は所謂金づまりを招来し企画合理化への設備改善の要はあるにしても運転資金に不足しているため、業者は低利率による長期貸付を強く要望している。

1. 金融機関

本市の金融界は生産力拡充資金や現在問題の焦点である中小企業への融資に努力しているがデフレ金融政策による金融難は依然として解消されず益々金融引締めが強く推進められて昭和30年度へと持越された。

本市に於ける主要金融機関としては銀行（支店）11、信用金庫5、相互銀行5、郵便局9、農業協同組合4、生命保険会社4、火災海上保険会社2、証券会社7、融資会社9、不動産仲介3、質屋93、があり名実共に経済活動に大きな役割を果している

イ、金融機関

昭30.5.1現在

普通銀行	信用金庫	相互銀行	郵便局	農業協同組合	生命保険会社	火災海上保険会社	証券会社	融資会社	不動産仲介	質屋
11	5	5	9	4	4	2	7	9	3	93

2. 銀行及び信用金庫業務

本市銀行は大分銀行6支店、伊予銀行2支店、福岡銀行1支店である、尚大正11年以来中小企業を対象とする別府信用金庫があり年と共に堅実な発展振りを示し一般商工業者のうける利便は大きい。

イ、銀行及び信用金庫預金

(単位千円) 昭29.4~30.3

月別	区分	当座預金	普通預金	通知預金	納税準備金	定期及 貯蓄預金	定期積金	政府関 係預金	その他 預金	計	
昭和29	4月	257,212	967,778	70,625	13,717	1,141,702	337,005	3,500	47,171	2,838,713	
	5月	259,648	1,036,078	79,517	14,801	1,162,741	354,077	2,800	47,890	2,957,552	
	6月	215,354	1,010,339	46,094	15,896	1,156,545	375,128	2,800	28,189	2,853,345	
	7月	209,114	936,683	34,788	13,787	1,124,638	391,533	2,800	27,938	2,741,281	
	8月	194,349	929,697	42,560	13,031	1,110,130	428,994	2,800	17,945	2,739,506	
	9月	197,367	928,215	50,386	15,244	1,145,817	415,065	2,800	24,232	2,779,126	
	10月	203,493	929,140	39,368	15,720	1,163,947	424,432	2,800	22,916	2,801,816	
	11月	206,444	913,409	39,727	13,061	1,177,123	427,923	2,800	24,926	2,805,413	
	12月	262,656	905,970	33,859	11,223	1,190,355	439,730	2,800	26,411	2,873,007	
	昭和30	1月	208,258	931,346	42,632	13,627	1,224,806	432,814	2,800	32,838	2,889,121
		2月	224,357	918,575	28,953	14,762	1,234,389	432,670	2,800	20,735	2,877,241
		3月	246,395	921,142	46,973	13,703	1,255,758	432,807	2,800	30,863	2,950,405

(大分県銀行協会、別府信用金庫調)

ロ、銀行及び信用金庫貸付

(単位千円) 昭29.4~30.3

月別	区分	手形貸付	証書貸付	当座貸付	割引手形	貸出合計	現金在高	預け金	有価証券	
昭和29	4月	1,284,018	26,128	10,782	170,414	1,491,342	101,080	82,073	25,322	
	5月	1,223,642	42,646	9,859	173,459	1,449,606	106,483	147,062	30,367	
	6月	1,235,886	40,765	12,317	171,290	1,460,258	81,837	89,639	33,035	
	7月	1,231,904	54,249	12,681	166,512	1,465,346	66,107	64,636	35,742	
	8月	1,223,755	52,888	12,295	166,499	1,455,437	62,488	68,363	43,119	
	9月	1,277,878	51,062	11,468	182,487	1,522,895	104,635	59,965	42,619	
	10月	1,245,308	50,972	11,591	191,896	1,499,767	76,597	63,925	43,006	
	11月	1,255,455	49,984	12,243	191,777	1,509,459	81,724	51,324	43,900	
	12月	1,352,427	48,783	12,461	209,055	1,622,726	98,836	77,871	42,078	
	昭和30	1月	1,325,273	48,121	11,623	193,579	1,578,596	82,168	67,820	42,502
		2月	1,381,725	50,334	11,885	181,477	1,625,421	94,770	56,710	43,801
		3月	1,359,548	48,152	10,862	182,028	1,600,590	163,123	87,908	44,263
計		15,396,819	564,082	140,067	2,180,473	18,281,443	1,119,840	917,296	470,654	

(大分県銀行協会、別府信用金庫調)

3. 相互銀行業務

本市には西日本、福岡、豊和、旭、宮崎の各相互銀行支店があり主として中小企業者の金融機関として一般に利用されている。

イ、相互銀行諸勘定

(単位円) 昭29.4~30.3

月別	区分	契約高	資金量		貸出金		受入金		支出金			
			掛金	預金	給付金	貸付金	掛金	預金	給付金	貸付金	預金	
昭和29	4月	1,623,551	595,859	306,357	453,146	411,305	115,283	298,315	80,749	173,437	266,828	
	5月	1,646,768	613,914	308,727	467,348	414,846	134,240	372,860	84,654	202,060	331,889	
	6月	1,674,896	625,398	299,733	478,053	402,388	147,651	417,842	90,279	210,293	386,815	
	7月	1,682,509	635,826	287,062	478,611	404,153	154,814	455,833	91,339	243,777	428,238	
	8月	1,696,739	649,656	288,352	484,613	416,107	169,316	609,831	97,886	258,082	467,277	
	9月	1,697,753	657,556	360,369	486,245	458,460	191,775	627,826	110,685	338,000	507,187	
	10月	1,724,239	670,390	357,928	496,396	459,873	157,570	381,286	96,019	236,610	316,193	
	11月	1,740,723	674,769	369,440	507,187	478,866	174,904	482,027	102,958	274,235	399,632	
	12月	1,784,027	678,531	403,030	514,594	502,489	210,071	684,662	117,528	354,985	569,256	
	昭和30	1月	1,829,508	679,676	405,161	506,539	512,759	200,281	702,727	101,876	336,094	598,517
		2月	1,809,925	684,409	421,274	499,504	531,004	219,100	829,632	109,997	386,244	713,693
		3月	1,762,807	679,353	429,318	487,963	522,689	242,557	1,065,078	119,879	469,104	942,855
計		20,673,445	7,845,337	4,236,751	5,860,201	5,514,839	2,117,512	6,927,919	1,203,859	3,482,921	5,938,388	

(宮崎、旭、豊和、西日本、福岡各相互銀行調)

4. 郵便局業務

本市の通信機関は普通局1局集配特定局1局無集配特定局7局があつて市民の郵便事務を担当している、又郵便業務の外に郵便為替業務、郵便年金業務、郵便貯金業務、郵便振替貯金業務、簡易生命保険業務等広範に亘り業務を施行している。

イ、貯金、振替貯金、為替

(単位千円) 昭29.4~30.3

月別	貯金				振替貯金				為替			
	受入		払出		受入		払出		受入		払出	
	口数	金額	口数	金額	口数	金額	口数	金額	口数	金額	口数	金額
昭29 4月	10,373	43,264	3,505	30,140	999	6,410	328	2,896	1,335	12,828	1,277	12,047
5月	12,502	36,770	3,467	27,901	1,044	8,310	322	4,216	1,239	10,643	1,252	12,584
6月	11,202	43,618	3,530	27,673	1,027	7,286	523	5,199	1,190	9,542	1,246	11,999
7月	10,551	37,031	4,166	31,558	1,064	6,889	411	4,057	1,109	8,947	1,255	12,454
8月	9,126	32,168	3,706	29,009	894	6,065	340	3,316	1,216	8,225	1,205	10,208
9月	10,217	33,343	3,494	28,045	922	26,985	388	6,434	1,061	9,617	1,065	9,614
10月	10,317	35,911	3,415	26,779	1,006	7,920	326	3,672	1,095	9,417	1,128	9,910
11月	9,749	34,287	3,507	29,569	982	17,649	304	4,261	1,073	9,893	1,093	11,028
12月	11,269	42,419	4,163	42,569	1,237	10,459	651	8,164	1,494	13,705	1,354	13,101
昭30 1月	10,412	42,707	2,854	28,978	800	26,430	255	2,518	975	7,136	863	8,334
2月	9,846	33,930	3,371	30,456	1,029	18,485	306	3,863	1,075	8,328	1,062	10,853
3月	10,681	38,013	4,159	35,208	1,200	8,608	379	3,888	1,239	11,322	1,115	10,415
計	126,245	453,461	43,337	367,885	12,204	151,496	4,433	52,484	14,101	119,603	13,915	137,574

(別府、亀川、鉄輪各郵便局調)

ロ、簡易保険 (その1)

(単位千円) 昭29.4~30.3

月別	新契約			復活			月末現在契約		
	件数	料額	金額	件数	料額	金額	件数	料額	金額
	昭29 4月	612	311	46,170	14	2	427	37,652	7,797
5月	459	245	35,050	10	1	232	37,749	7,953	1,122,330
6月	454	735	36,645	13	4	355	37,829	8,077	1,151,616
7月	517	257	40,290	18	4	529	37,945	8,240	1,180,939
8月	113	61	8,492	8	4	400	37,846	8,274	1,190,638
9月	165	78	11,050	3	1	130	37,568	8,252	1,189,805
10月	313	144	21,650	14	5	670	37,324	8,194	1,185,797
11月	434	221	30,860	18	5	768	37,300	8,270	1,197,436
12月	30	14	2,390	5	2	260	36,996	8,322	1,207,108
昭30 1月	740	383	54,780	10	4	495	37,248	8,492	1,227,003
2月	556	299	42,895	9	3	420	37,551	8,712	1,263,913
3月	614	303	44,420	7	2	310	37,657	8,877	1,288,725
計	5,007	2,551	377,892	129	37	5,002	450,665	99,460	14,168,636

(別府、亀川、鉄輪各郵便局)

ハ、簡易保険 (その2)

昭29.4~30.3

月別	区分	満期		死亡		解約失効		
		件数	金額	件数	金額	件数	料額	
		金額		金額		金額		
昭29 4月		40	9	14	408	44	10	387
5月		45	8	22	674	34	6	193
6月		34	6	18	266	40	10	407
7月		36	7	25	845	46	12	255
8月		38	15	16	178	36	14	411
9月		45	13	27	859	44	10	430
10月		58	9	36	1,212	39	12	600
11月		38	6	9	207	47	15	210
12月		51	10	25	624	41	12	692
昭30 1月		27	5	31	1,022	33	9	226
2月		47	7	30	1,103	41	11	392
3月		37	6	16	533	68	17	1,260
合計		496	101	269	7,931	513	138	5,463

(別府、亀川、鉄輪郵便局調)

5. 農業協同組合業務

イ、農業協同組合諸勘定

(単位千円) 昭29.4~30.3

月別	区分	組合員数	出資額		積立金	借入金	貯金		貸付金	
			総額	払込済額			預金者数	預金高	貸付人員	貸付金額
			昭29 4月	1,321			1,345	1,899	65	7,569
5月	1,321	1,345	1,911	65	7,726	3,583	13,394	411	4,312	
6月	1,324	2,345	1,911	65	8,490	3,581	13,101	452	4,552	
7月	1,324	2,345	1,913	65	8,605	2,457	13,790	464	4,946	
8月	1,324	2,345	1,933	65	8,585	2,408	14,144	455	5,001	
9月	1,324	2,345	1,938	65	8,583	2,379	13,411	458	4,954	
10月	1,324	2,345	1,942	65	9,645	2,489	13,048	436	4,930	
11月	1,324	2,345	1,949	65	10,924	2,508	14,728	433	5,029	
12月	1,324	2,345	2,022	65	9,437	2,447	11,880	386	4,121	
昭30 1月	1,326	2,362	2,089	65	8,970	2,440	11,875	326	3,596	
2月	1,329	2,373	2,130	65	8,900	2,457	11,116	326	3,479	
3月	1,280	2,293	2,178	65	9,940	2,569	13,694	384	5,910	
計	15,845	26,133	23,815	780	107,376	32,900	157,839	4,700	53,943	

(別府、石垣、亀川、朝日各農業協同組合調)

第九編 市民經濟

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1 | 生 | | 計 |
| 2 | 水 | | 道 |
| 3 | 電 | | 氣 |
| 4 | ガ | | ス |
| 5 | 市 | 民 | 文 |
| 6 | 宗 | | 化 |

第 9 編 市 民 経 済

昭和29年度に於ける市民の生活状態は、順調なる物資の出廻りにより稍安定の域に達したが、デフレ傾向による勤労収入の減少、市民の購売力の低下、これに反する輸入原料の高騰及び物価の逐日漸騰の傾向があり市民に一末の不安を抱かした。

1. 生 計

消費都市である本市の生計費は一般に高いと評されているためか昭和29年度に於ける蔬菜、果実、魚肉等は前年度に比較して豊富に入荷し価格の変動も大巾の開きは見せなかつた。

イ、主要食糧（米穀）配給数量

昭和29.4~30.3

粳		米			
消費世帯	生産世帯	船 用	労務加配用	其 の 他	計
5,416,680	110,202	8,551	185,366	88,763	5,809,562
外		地			
船 用 米	労務加配用	消費世帯	生産世帯	計	
901	40,669	800,660	10,416	852,646	
糯		米			
消費世帯	生産世帯	計			
223,505	2,186	225,691			

(単位:kg)

ロ、家庭用主要食糧（米穀）月別配給日数

昭和29.4~30.3

区分	月別 29 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30 1月	2月	3月	計
		16	17	15	14	15	15	11	11	11	10	10	
粳 米	16	17	15	14	15	15	15	11	11	11	10	10	160
外 地 米	—	—	2	2	2	2	2	4	4	4	4	5	31
糯 米	1	—	—	1	—	—	—	—	3	—	—	—	5

八、蔬菜果実販売数量

昭29.4~30.3

品目	区分	月別												計
		29 4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30 1月	2月	3月	
蔬 菜	数量	146	188	229	216	175	186	210	242	283	186	209	189	2,459
	金額	10,762	13,954	15,006	17,574	15,370	15,531	18,056	13,062	12,054	10,128	10,491	12,029	164,017
果 実	数量	63	61	53	81	174	98	115	128	144	102	70	115	1,204
	金額	18,271	19,248	13,937	16,662	28,611	26,533	26,309	23,741	21,396	13,825	13,032	17,093	238,658

(別府青果、中央青果、豊州青果、三上青果、青森青果調)

ト、酒類販売数量

(単位石) 昭29.4~30.3

区分	月別	29												30	計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
数	量	1,372	1,700	1,504	1,633	1,669	1,375	1,624	1,448	1,620	1,710	1,297	1,506	18,455	

(別府税務署調)

チ、酒類別販売数量

(単位石) 昭29.4~30.3

区 分	清 酒	合 成 酒	味 淋	焼 酎	雑 酒	麥 酒	果 実 酒	計
数 量	6,569	955	25	3,500	612	6,758	6	184,55

(別府税務署調)

ニ、魚介類販売数量

昭29.4~30.3

区分	月別	29												30	計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
数	量	82,62,422	70,874	57,930	66,583	72,002	85,147	69,399	85,332	68,728	57,218	80,859	189	858,683	
金	額	23,24,274	17,402	19,595	16,309	17,445	23,445	19,027	24,927	19,125	18,144	24,396	371	247,460	

(別府魚市場、協魚市場調)

リ、煙草販売高

口 付	両 切		刻		そ の 他	
	数 量	金 額	数 量	金 額	数 量	金 額
本 円	1,745,200	2,408,376	165,873,800	354,505,486	6,224,300	9,018,717
他	145,560	250,148				

(日本専売公社別府出張所調)

ホ、屠畜頭数

昭29.4~30.3

区分	月別	29												30	計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
牛		81	62	63	71	80	78	70	83	128	122	97	88	1,263	
馬		40	21	18	22	29	24	28	31	35	30	25	30	454	
豚		76	67	64	68	64	61	50	62	97	76	81	72	1,063	
嚙		4	8	4	2	6	2	5	2	4	3	2	2	68	
仔 馬		0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	4	
計		201	158	149	163	179	165	153	181	264	231	206	192	2,855	

(別府市営屠殺場調)

ヘ、牛乳販売数量

昭29.4~30.3

区別	月別	29												30	計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
牛 乳	販売	石	392	419	400	451	566	482	451	396	360	314	326	374	
	金額	千円	5,180	5,501	3,213	5,898	7,326	6,285	5,880	5,193	4,727	4,173	4,303	4,933	
ヨルト ゲ	販売	ケ	68	85	98	120	118	97	79	64	53	44	45	50	
	金額	千円	763	948	1,100	1,342	1,323	1,090	885	708	595	477	504	611	

(別府牛乳、双葉牛乳調)

ヌ、煙草種類別販売数量

昭29.4~30.3

種 別	販売数量	金 額	種 別	販売数量	金 額
朝 日	1,745,200	2,408,376	きよよう	1,176,600	2,164,944
ピース	17,198,500	71,201,790	みのり	4,956,600	6,840,108
ひかり	41,145,500	113,561,580	富貴煙	91,100	13,665
新生	44,413,600	81,721,024	桃 山	51,400	141,864
バツト	62,893,800	86,793,444	日 光	94,163	108,284
富 士	222,401	1,227,648	—	—	—

(日本専売公社別府出張所調)

2. 水 道

本市が初めて上水道を計画したのは大正2年で給水人口 25,000人を目標とし大正6年3月竣工した。

その後大正15年2月の第一期工事により人口 75,000人まで給水可能となつたが本市の発展に伴ひ人口の増加、昭和10年の1町2村の合併、観光療養客来別の逐次増加等により給水能力に不足を来し新たに人口 10,000人に対して給水し得る計画を樹て昭和17年起工昭和22年に竣工を見た。

昭和25年7月、本市が国際観光法の適用を受ることになり、こゝに大別府市の都市計画と並行し上水道の施設も拡充を痛感して、総人口 123,000人 給水人口91,000人を目標に計画を樹立し昨29年12月第四回拡張工事が完了した。又終戦直後より駐留軍に転用されていた鮎返水源は市に無償譲与され、こゝに市民への給水は万全を期することを得たのである。

(イ) 水道用地

昭30.8.1現在

区 分	水 源	用 地	
別 府	乙 原	貯水池用地	6,119坪
		水源保護地	3,845
	鮎 返	鮎返聚合用地	919
		鮎返貯水用地	3,312
		鮎返浄水場用地	6,758
	朝 見	朝見浄水場用地	6,047
		朝見揚水場用地	166
	湯 山	水源地用地	2,872
	羽 室	配水地用地	284
		送配水管路敷設用地	6,069
亀 川	亀 川	配水地用地	2,574
	温 水	水源地用地	2,330
	平 田	減圧弁掘付用地	13
朝 日	菟 山	配水地用地	2,960
石 垣	春 木 川	配水地用地	3,300
	実 相 寺	配水地用地	15
合 計	—	—	47,571.3

(ロ) 給水栓数

昭30.3.31現在

区 別	専用私設共用	公 設	温 泉	船 舶	計	消火栓	給 水 戸 数
別 府	6,837	182	54	4	7,077	153	世帯 16,285 人口 67,746
亀 川	1,436	39	8		1,483		2,375
朝 日	321	11	1		333		475
計	8,594	832	63	4	8,893	153	19,135

(ハ) 水 量

昭29.4~30.3

区 分	配水総量	一日使用量	一日一人当り使用量
別 府 地 区	6,406,405 ¹ 立方米	17,592 ² 立方米	0,265 ³ 立方米
北石垣上人地区	56,370	155	0,164
柴石、野田、羽室地区	25,214	69	0,197
亀 川 地 区	942,749	2,580	0,290
朝 日 地 区	312,762	860	0,435
計	7,743,500	21,256	0,270

(ニ) 使 用 料

昭29.4~30.3

区 分	専用私設共用	公設共用	温 泉	船 舶	量水器	計
別 府	36,137,832	1,117,551	1,354,460	858,710	1,778,510	41,247,063
亀 川	3,561,850	201,396	443,578		351,870	4,558,694
朝 日	1,294,126	35,510	5,800		80,510	1,416,946
計	40,993,808	1,355,457	1,803,838	858,710	2,210,890	47,222,703

(ホ) 消火栓数

昭30.3.31現在

地域別 口径別	旧 市 内	亀 川	朝 日	石 垣	計
75mm	492	58	21	30	601

（一）主要工事一覧表

昭30.8.1現在

工種	施設名称	起工年月日	竣工年月日	工費	計画給水人口
創設(旧別府町)	乙原水源池 鮎返水源池	大正2年11月25日	大正6年3月27日	373,560円	25,000人
第一回拡張工事	同上	同15年2月6日	昭和3年3月31日	502,590	75,000
第二回拡張工事	温水水源池	昭和17年1月19日	同22年3月30日	1,601,870	10,000
創設(旧亀川町)	湯山水源池	同7年12月22日	同9年3月31日	83,940	6,500
〃(旧朝日村)	同上	同2年9月14日	同3年4月20日	32,188	2,400
第三回拡張工事	朝見川揚水場	同23年4月8日	同23年11月30日	4,621,310	(取水計画) 一昼夜 5,500 立方メートル
第四回拡張工事	温水水源池	同26年3月23日	同29年10月16日	128,074,961	91,000

3. 電 気

産業の発展を市民生活に欠かす事の出来ない電力の昨年度に於ける総使用量は、約1,300万KWHで一昨年に比較してやや増加した。特に注目されるのは、定額電灯より従量電灯に切換えられ電力消費の合理化がなされた事である。

イ、電 灯

昭29.4~30.3

区 分	従 量	定 額	大 口	臨 時	計
軒 数	156,976	61,128	2,179	924	221,203
灯 数	1,538,964	127,992	8,236	1,584	1,668,540
使用KWH	9,848,900	1,488,717	1,956,928	50,346	13,344,921
金 額	110,147,336	19,511,749	25,633,615	227,000	155,519,700

(九州電力別府営業所調)

ロ、動 力

昭29.4~30.3

区 分	大 口	小 口	業 務	計
軒 数	77	7,284	120	7,481
契約 KW	9,339	39,394	5,958	54,691
使用 KWH	1,399,430	2,220,788	889,397	4,509,615
金 額	11,179,119	22,723,560	7,836,136	41,738,815

(九州電力別府営業所調)

ハ、そ の 他

昭29.4~30.3

電線路直長	158,92KM	同電線延長	70,575KM
-------	----------	-------	----------

(九州電力別府営業所調)

4. ガ ス

市民の生活改善と燃料節減から年々ガスの需用は増加し且設備の改善及び石炭事情の回復と相俟つて生産供給量が増加しているが、本市は観光温泉都市として発展したため工業が他都市に較べて振わず従つて工業用に使用されたガスの使用量も全体の3%にすぎず、大半は一般消費者家庭に使用されている現状である。

イ、ガ ス 消 費 量

昭29.4~30.3

区 分	家 庭 用	工 業 用	医 療 用	商 業 用	そ の 他	計
供給戸数	1,824戸	2	42	210	8	2,116
全孔数	2,745個	38	98	455	20	3,356
供給量	851,127 立方メートル	31,133	51,582	359,019	10,355	1,316,216

(別府ガス会社調)

5. 市 民 娛 楽

本市の総人口は約10万人であるが映画劇場は全部で17館もあり、従つて5,800人に一館の割合となる。これは普通20,000人に1館といはれている基準をはるかに下廻るものである。

イ、映画館及劇場

昭30.7.10.現在

種別	名 称	定員	所在	種別	名 称	定員	所在	種別	名 称	定員	所在
映画	国際館	800	駅前通	映画	スバル座	330	楠町	映画	花月館	150	松原
〃	新映	60	〃	〃	南映	85	浜町	〃	銀映	200	亀川
〃	ブルバード	150	〃	〃	名映	60	楠町	劇場	亀川館	800	〃
〃	シネマ パレス	120	〃	〃	泉都座	670	羽衣	〃	松濤館	600	松原
〃	ロマン座	425	本町	〃	世界館	380	松原	〃	大勝館	300	鉄輪
〃	名画座	108	洗川	〃	松栄館	670	〃				

(別府税務署調)

6. 宗 教

戦前に於ては既成宗教、特に神道は建国精神の關係により国家の手厚い保護のもとに育成された。戦後は一大転換を余儀なくされたが年と共に民生が安定するに従ひ漸次健全化のきざしを見せ祭事儀式等旧に復しつつある。一方仏教はその性質上神道の様な痛手は蒙らなかつたが新興宗教の進出により衰えた勢力を挽回せんとして、ようやく各流派の義に則り活気を取り戻している。

イ、神 道

昭29.4.2.現在

区 分	神社本庁	天理教	金光教	神理教	神道大教	神道修成教	神道実任教	明治教	PL教団	自然社	皇教	世界救世教	計
数	30	14	7	1	3	5	2	1	1	1	1	1	66

(県庁企画調査課調)

ロ、仏 教

昭29.4.2.現在

区 分	日蓮宗	日本山妙法寺大僧伽	本門仏文宗	曹洞宗	黄檗宗	天台宗	真言宗醍醐派	高野山真言宗	浄土宗
数	1	1	1	5	3	2	1	5	3
区 分	浄土宗本派	浄土真宗本願寺派	真宗大谷派	臨済宗妙心寺派	大徳寺派	時宗	—	—	計
数	2	10	3	6	1	1	—	—	45

(県庁企画調査課調)

ハ、単立教会

昭29.4.2現在

区 分	ソールクリニック	神 聖 庁	天皇国照輝尊響	計
数		1	1	3

(県庁企画調査課調)

ニ、キリスト教

昭29.4.2現在

区 分	日本基督教団	日本ナザレン教団	計
数	3	1	4

(県庁企画調査課調)

第十編 社 会

1 厚生救護

2 未亡人の現況

3 労働

第10編 社 会

一般に都市生活は農漁村に比して平均的に生活水準が高いと云はれているが、その反面貧富の差が甚しい。特に経済界の不況に伴ふ失業者に加へ老令者、未亡人、遺族等生活能力に乏しい要保護者は年々増加の傾向にある。こゝに国及都市行政としての厚生救護並に施設の拡充が要請されてくる。戦後10年漸く生活水準も戦前に近づき安定の兆を見せており社会福祉の分野に於ても諸種の社会福祉立法の制定と社会福祉施設の整備と相まって改善されつつあるが必ずしもまだ充分とは言ひ得ない状態にある。

1. 厚生救護

本市の昭和29年度に於ける生活保護者は延 1,754 世帯 3,606 人で支出した金額は 48,744,373円又母子福祉貸付資金は101件の2,944,800円であつた。

イ、生活保護法による被保護状況

昭29.4~30.3

種別	生活扶助	住宅扶助	教育扶助	医療扶助	出産扶助	生業扶助	葬祭扶助	施設事務費	計
実世帯数	658	325	263	407	13	5	83	—	世帯 1,754
実人員	1,581	958	505	461	13	5	83	—	人 3,606
支出金額	13,654,799	1,893,067	2,217,917	28,705,530	27,085	20,140	218,000	2,007,835	円 48,744,373

ロ、行路病人及び行路病死

昭29.4~30.3

種別	行路病人		行路病死		計	
	人員	金額	人員	金額	人員	金額
計	24	98,828	55	88,047	79人	186,875円

ハ、母子福祉資金貸付状況

昭29.4~30.3

種別	生業資金	継続資金	技能修得資金	修業資金	修学資金	交遊資金	計
件数	36	32	1	1	29	2	101件
支出金額	1,155,000	935,000	9,000	9,000	811,800	2,500	2,944,800円

ニ、身体障害者補装具交付件数

昭29.4~30.3

種 別	区 分	件数	金 額	種 別	区 分	件数	金 額
下 腿 義 足	交 付	7	76,550	松 葉 杖	交 付	7	6,581
"	修 理	4	10,100	補 助 ス テ ッ キ	交 付	2	900
大 腿 義 足	交 付	3	38,975	補 聴 器	交 付	9	77,680
"	修 理	3	13,246	"	修 理	3	3,960
腰 椎 コ ル セ ッ ト	交 付	1	8,370	車 椅 子	交 付	8	193,465
靴 型 コ ル セ ッ ト	交 付	3	18,220	"	修 理	3	8,400
下 腿 補 助 器	交 付	1	16,510	股 関 節 用 装 具	交 付	6	84,835
靴 型 装 具	交 付	3	25,270	頸 椎 用 装 具	交 付	1	13,110
盲 人 安 全 杖 (夜)	交 付	28	11,760				
" (昼)	交 付	6	1,920	計		98件	609,882円

ホ、未復員者及特別未帰還者留守家族に対する給与状況 昭29.4~30.3

種 別	実 世 帯	実 人 員	金 額
未復員者及特別未帰還者	79 世帯	129 人	2,305,100円

ヘ、公 営 住 宅

昭30.3.31現在

種 別	戸 数	収容人員	建 坪	工 事 費	家 賃
庶 民 住 宅	70戸	300人	87,836坪	27,567,524円	1,198,800円
災 害 住 宅	56	232	58,692	10,338,705	564,510
引 揚 者 住 宅	107	408	676.92	8,233,550	403,270
計	233	950	2,142.20	46,139,779	2,166,580

ト、募 金 状 況

昭29.4~30.3

目 標 額			実 績 額		
総 額	共 同 募 金	日 赤 募 金	総 額	共 同 募 金	日 赤 募 金
円	円	円	円	円	円
2,602,751	1,403,403	1,099,348	2,503,623	1,354,010	1,249,613

チ、引揚復員関係

昭30.7.10現在

引 揚 世帯数	人 員	一 般 邦 人 未 引 揚 者				未 復 員				
		ソ連地区	中共地区	その他	計	ソ連地区	中共地区	その他	計	
2027戸	3624人	1796人	66人	15人	6人	87人	52人	8人	4人	64人

リ、自衛隊応募及び合格者状況

昭29.4~30.3

種 別	第 一 次	第 二 次	計
応 募 者 数	162人	175人	337人
合 格 者 数	39	52	91

ヌ、市内収容福祉施設

A 育 児 事 業 所

昭30.8.1現在

名 称	経 営 主 体	職 員	収容実人員	所 在 地
小百合愛児園	聖母修道会	65人	255人	本園浦田分園上原
白 菊 寮	聖心光の使途修道会	7	44	莊 園
平 和 園	慈 愛 園	6	31	北 野 口
栄 光 園	キリスト教栄光園	9	48	莊 園
計		4	87	378

3 養 老 事 業 所

昭30.7.10現在

名 称	経 営 主 体	職 員	収容実人員	所 在 地
別 府 養 老 院	別 府 養 老 院	7人	66人	富 士 見
紅 葉 寮	カリタス修道女会	5	41	山 家
計	2	12	107	

C 保育事業所

昭30.7.10現在

名称	経営主体	職員	収容人員	所在地
別府隣保館	隣保館賛助会	9人	150人	富士見
別府中央保育所	別府市	11	130	南末広
さくらんぼ保育所	個	4	52	西野口
聖人保育所	個	4	30	上人
計	4	28	362	

D その他の事業所

昭30.7.10現在

名称	経営主体	職員	収容人員	事業名	所在地
別府厚生館	大分県福祉会	2人	25人	児童福祉施設	不老町
博愛寮	別府博愛会	3	24	更生施設	行合町
新生の家	別府商店街協同組合	3	250	宿所提供施設	山家町
計	3	8	299		

2. 未亡人の現況

本市に於ける未亡人会の現況は昭和27年3月12日約2千人の会員を結集して発足した。

会の組織運営は会長、副会長、書記、会計を置き之を校區別に分けている。そして常に未亡人の相互福祉の為の活動を目的とし、会の基金は会員自身の手と汗によって作り出されている。又失業者及び生活困窮者に対する内職補導は他に優先し会員の道徳高揚も度々、知名士を招いての講演、座談会等を開催している。

イ、年令別未亡人数

昭30.7.1現在

年令別	20才以下	21~30才	31~40才	41~50才	51~60才	計
人員	0	102	630	751	532	2,015人

ロ、寡婦になった原因別

昭30.7.1現在

原因	戦戦	死病	死	戦災	死	病	死	離別	未帰還	その他	計
人員	433	38	950	424	40	120	2,015人				

ハ、寡婦になつてからの年数

昭30.7.1現在

年数別	1~2年	2~4年	4~6年	6~8年	8~10年	10年以上	計
人員	147	316	400	361	353	438	2,015人

ニ、未亡人の学歴

昭30.7.1現在

学歴別	小未修了	小卒	高小卒	旧制中卒	日制専門卒	その他	計
人員	73	430	580	429	68	435	2,015人

ホ、就業状況

昭30.7.1現在

就業別	自営	日雇	内職	常勤	失業	無職	計
人員	295	173	535	150	256	606	2,015人

ヘ、生活状況

昭30.7.1現在

区別	生活保護を受けている	保護を受けてないが生活困難	どうにか生活している	余裕がある	計
人員	380	706	849	80	2,015人

ト、月額収入別

昭30.7.1現在

収入	3,000以下	3,000~5,000	5,000~7,000	7,000~9,000	9,000~10,000	10,000~15,000	15,000~20,000	20,000以上	計
人員	310	527	255	72	34	44	24	16	1,312人

3. 労働

終戦後、一時は経済恐慌の危機必至の声も流布されたインフレも昭和23年ドツテ財政の実施以来一応安定期に入ると共に、朝鮮動乱終結以来、輸出産業の不振、特需産業の減少、経済事情の悪化と原因が重つたため、各種産業は経営の合理化に乗り出し、資本の蓄積、雇用量の縮小、人員整理等、市内各主要会社は共に政府のデフレ政策化に門戸をとぎして一般就職は殆んど困難な状況におかれた。

A 就職、失業保険について

昨年度の本市に於ける常用求人者は3,778人でその内の就職者は3,014人の81%、臨時日雇求人者は203,779人で就職者は199,260人の95%、又失業保険金の給付総額は92,149,350円の多額にのぼった。

イ、失業保険業務取扱状況

昭29.4~30.3

月別	離職業務 受付件数	初回受給資格 認定件数	待期満了者数	初回受給者数	回数の失業週数	保険金給付 総額	保険金委託され た件数	給付制限件数	付件数
29年4月	349	339	359	342	3,884	5,883,845	19	57	
5	227	223	182	149	4,206	5,898,835	11	69	
6	197	189	197	211	4,610	6,579,110	15	54	
7	217	212	181	164	4,920	7,105,315	0	53	
8	178	173	165	144	4,892	7,531,755	20	52	
9	314	312	284	274	4,912	7,832,460	12	48	
10	284	278	248	265	5,070	8,559,660	17	61	
11	171	169	275	275	5,390	9,184,065	27	49	
12	161	161	157	172	5,477	9,223,225	19	37	
30年1月	210	210	44	147	5,004	8,424,385	—	—	
2	156	156	172	150	4,615	7,631,265	—	—	
3	183	183	172	168	5,290	8,300,425	—	—	
計	2,647	2,605	2,435	2,458	58,270	92,149,350	—	—	

(別府公共職業安定所調)

ロ、常用求人、就職状況

昭29.4~30.3

月別	求人			就職		
	総数	民間事業	その他	総数	民間事業	その他
29年4月	259	245	14	251	229	22
5	260	210	50	220	167	53
6	284	238	46	197	174	23
7	335	325	10	313	291	22
8	439	322	117	327	244	83
9	244	229	151	52	141	11
10	417	323	94	249	157	92
11	203	217	86	234	178	56
12	243	181	62	210	156	54
30年1月	431	347	84	250	183	67
2	328	279	49	299	252	47
3	275	261	12	312	290	22
計	3,718	3,178	639	3,014	2,962	552

(別府公共職業安定所調)

ハ、臨時日雇求人就職状況

昭29.4~30.3

月別	求人			就職		
	総数	民間事業	その他	総数	民間事業	その他
29年4月	15,907	639	15,268	15,907	639	15,263
5	17,429	3,905	13,524	17,429	3,905	13,524
6	15,448	1,176	14,272	15,447	1,175	14,272
7	14,303	956	13,347	14,303	956	13,347
8	17,083	683	16,400	17,083	683	16,400
9	15,535	1,159	14,376	15,270	894	14,376
10	18,321	1,299	17,022	18,006	1,335	16,671
11	17,806	1,122	16,684	17,202	1,122	16,080
12	20,570	1,514	19,056	19,869	1,514	18,355
30年1月	18,388	—	—	15,904	732	14,912
2	16,659	—	—	15,587	418	15,169
3	16,330	—	—	17,253	614	16,639
計	203,779	—	—	199,260	13,987	185,013

(別府公共職業安定所調)

ニ、安定所への来所

昭29.4~30.3

月別	29年4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	30年1月	2月	3月	計
常用新規求職者数	913	725	692	1,050	774	880	774	662	502	1,125	703	757	9,557
常用求職者の再登録	4,475	4,671	5,229	5,676	5,747	5,906	5,776	6,059	6,161	5,616	5,131	5,720	66,167

(別府公共職業安定所調)

ホ、昭和28年度及び29年度業務取扱状況

種別 年度 月別	新規求人		新規求職		(イ)求職中の失業者		(ロ)の内日雇に就職した者	
	28年	29年	28年	29年	28年	29年	28年	29年
1月	515	606	767	947	3,386	3,481	309	304
2月	388	290	731	771	3,388	3,577	313	290
3月	411	315	833	817	3,327	3,775	451	373
4月	365	259	902	913	3,474	3,873	290	251
5月	418	260	912	725	3,579	3,566	363	220
6月	329	284	835	692	3,404	3,438	278	197
7月	480	335	1,169	1,050	3,874	3,785	364	313
8月	366	439	703	774	3,942	3,733	218	327
9月	550	244	983	880	4,074	4,024	231	152
10月	466	417	938	774	3,773	3,955	366	249
11月	350	303	580	662	3,745	3,762	225	234
12月	433	243	678	502	3,599	3,531	353	210
計	5,071	4,024	1,034	9,509	43,565	44,500	3,761	3,120

種別 年度 月別	(イ)の内日雇に就職したもの		(ロ)の内失業保険を受ける者		その他の失業者	
	28年	29年	28年	29年	28年	29年
1月	1,254	1,063	717	955	1,106	1,159
2月	1,130	1,041	709	883	1,236	1,363
3月	1,033	1,081	793	991	1,150	1,330
4月	1,039	1,081	828	1,194	1,317	1,347
5月	1,047	1,061	844	1,163	1,325	1,122
6月	882	904	946	1,238	1,298	1,099
7月	1,067	958	1,054	1,264	1,389	1,250
8月	1,076	945	978	1,309	1,670	1,152
9月	1,116	943	1,010	1,384	1,687	1,545
10月	1,157	962	989	1,436	1,259	1,308
11月	1,161	1,067	909	1,468	1,450	993
12月	1,059	1,107	992	1,433	1,093	788
計	13,051	12,206	10,769	14,718	15,880	14,456

(註) その他の失業者は求職中の失業者の内常雇、日雇に就職したもの及び失業保険を受けている者以外の人

(別府公共職業安定所調)

ハ、市営失業対策事業稼働状況

区分 月別	総数			公共空地 整備事業	街路 整備事業	排水路 整備事業
	総数	男	女			
計	117,096	61,854	55,242	53,723	49,297	14,076
29年1月	8,339	4,267	4,122	5,392	2,453	544
2月	11,079	5,661	5,418	5,001	4,604	1,474
3月	12,459	6,698	5,761	4,251	7,367	841
4月	9,445	5,109	4,336	4,358	3,813	1,274
5月	7,979	4,327	3,652	3,693	3,114	1,172
6月	8,357	4,447	3,910	4,227	3,559	571
7月	7,790	4,127	3,663	3,549	3,030	1,211
8月	9,653	5,171	4,482	4,654	4,409	590
9月	9,756	5,177	4,579	4,312	3,617	1,797
10月	10,679	5,512	5,167	5,955	3,696	1,018
11月	9,924	5,241	4,683	6,045	3,108	771
12月	11,586	6,117	5,469	2,276	6,497	2,813

ト、市の日雇労働者保険手帳交付状況及び受給資格証明書交付状況

昭29.4~30.3

種別	昨年度中に交付した保険者手帳				被扶養者数	種別	受給資格証明書				
	新規交付	再交付	更新	計			男子 被保険者	女子 被扶養者	男子 被保険者	女子 被扶養者	
男子	595	9	779	1,383	1,965	749	361	795	237	1,544	598
女子	265	11	706	982	1,001	6	1	4	1	10	2
計	860	20	1,485	2,365	2,966	755	362	799	238	1,554	600

3. 労働問題

本市には大企業がなく中小企業が主体をなしておるため、その実情から見ても公共企業体を除けば争議行為を行ふ事はほとんど不可能に近い状態にある。

従つて各産業の労働組合運動は一般に地味であり 穏健であつて 労使間の紛争は稀にしか起らない。

イ、産業別性別単位労組組織状況

昭30.7.1現在

区分	事業別	鉱業	建設業	製造業	卸小売業	金融及保険業	運輸及通信事業	サービス業	公務
組合数		1	7	4	3	4	13	14	6
組合員	計	14	1,079	103	24	218	1,346	2,171	907
	男	14	619	73	20	141	917	1,384	793
	女	0	460	30	4	77	427	787	114

(別府労政事務所調)

ロ、関係法規別労組組織状況

昭30.7.1現在

区分	法規別	労組法適用組合	公企労組法適用組合	国公法適用組合	地公法適用組合	合計
組合数		29	8	7	4	48
組合員数	計	2,973	732	645	1,294	5,644
	男	2,023	526	330	941	3,820
	女	950	206	315	353	1,824

(別府労政事務所調)

ハ、労組協約締結状況

昭30.7.1.現在

区別	種別	協約締結可能なもの		協約を有しているもの		無協約のもの	
		県内交渉	中央交渉	県内交渉	中央交渉	県内交渉	中央交渉
組合数		24	13	8	13	16	—
組合員数		2,226	1,562	556	1,562	1,571	—

(別府労政事務所調)

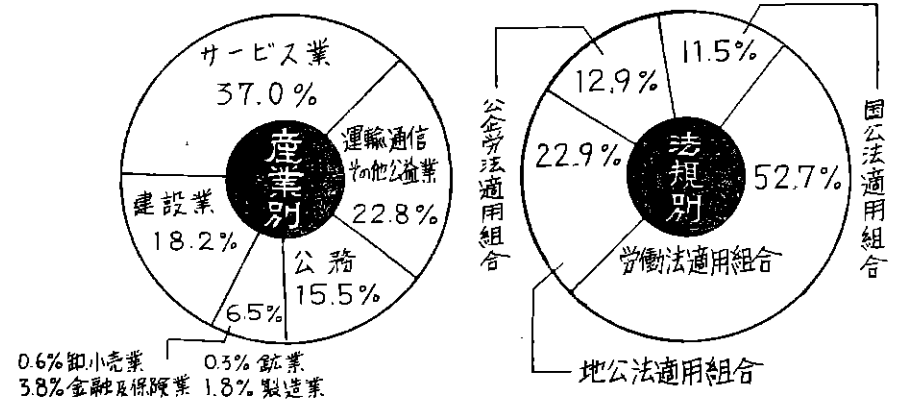
ニ、無協約状況

昭30.7.1現在

無協約		設立以来締結したことなし		締結したが現在失効	
組合数	組合員数	組合数	組合員数	組合数	組合員数
16	1,571	15	1,351	1	220

(別府労政事務所調)

労働組合組織状況



第十一編 保健衛生

1 衛 生 施 設

2 防 疫 狀 況

3 疾 病 罹 患 狀 況

第11編 保健衛生

医学の究極の理想は予防医学会の達成にある。完璧の予防が行われたならば少くとも伝染病は地上より消滅するであろう。本市は個人の衛生の向上を伝染予防の眼目として強力に推進して来た。個人衛生の向上は必然的に環境衛生の改善に結びつく。蚊とハエとネズミのいない街……これが本市の抱く夢である。この夢を実現するために本市は渾心の努力を傾けている。

1. 衛生施設

イ、医療保健調

昭29,7.1現在

分類	事業所数	組織別				従業者数
		個人	法人	法人でない団体	公営	
診療所	131	133	1	—	—	373
病院	11	4	4	1	2	301
療術業	101	99	—	2	—	1,193
保健所	1	—	—	—	1	52
助産婦業	23	23	—	—	—	27
獣医業	4	4	—	—	—	4
保養所	27	1	23	—	3	127
総計	301	261	28	3	6	2,077 ^人

ロ、医療関係従事者数

昭29.7.1現在

区 分	登 録 数	病 院 勤 務	そ の 他 勤 務	従 事 せ ず
医 師	201	120	—	—
歯 科 医 師	68	—	—	—
獣 医 師	10	—	6 (5保健所)	—
薬 劑 師	105	24	—	—
栄 養 師	9	7	2	—
助 産 婦	180	12	20	98
看 護 婦	816	380	49	—
保 健 婦	86	—	20	66
レ 線 技 師	18	14	4	—
歯 科 衛 生 士	1	—	1	—
柔 道 整 復 術 師	22	—	—	12
あんま、はり、きゆう-師	248	—	—	28
療 術 師	70	—	—	50

(別府保健所調)

2. 防 疫 状 況

イ、トラホーム検診治療状況

昭29.1~30.3

学校別	区 分	総 人 員	受 検 人 員	全 治 者	ト ラ ホ ー ム 同 疑 似 病			%
					未 治 患 者	新 患 者	計	
小 学 校		10,623 ^人	10,519 ^人	180 ^人	168 ^人	255 ^人	423 ^人	4.02
中 学 校		5,816	5,679	195	157	191	348	6.12

ロ、予防接種実施状況

昭29.1~30.3

区 分	種 痘	腸・パラチブス	百 日 咳	ジフテリヤ
該 当 人 員	6,350 ^人	64,370 ^人	2,540 ^人	6,350 ^人
接 種 完 了 者	5,359	30,566	1,203	5,413
接 種 率 %	84%	47%	47%	85%

ハ、定期種痘状況

昭29.1~30.3

総 数	完 全 痘 痘	不 完 全 痘 痘	免 疫 反 応	陰 性
5,359 ^人	2,031 ^人	1,109 ^人	2,214 ^人	5 ^人

ニ、消毒状況 (A)

昭29.1~30.3

総 数	公 共 用 施 設		個 人 用 施 設	
	人 頭 (戸) 数	床 面 積	人 頭 (戸) 数	床 面 積
粉末ダステイング	251 ^人	571 ^坪	2,393 ^人	663 ^坪
液体スプレイング	828 ^戸	7,717 ^坪	247 ^戸	2,572 ^坪

(B)

昭29.1~30.3

回 数	場 所	市 公 共 温 泉 区	官 公 署 及 社 会 施 設	劇 興 行 場	パ ー タ イ ク シ ャ ス 及 1	そ の 他

ホ、鼠族駆除状況

昭29.1~12月

総 世 帯 数	施 行 世 帯 数	配 布 毒 飼 数	食 用 数	死 体 発 見 数
23,615 ^世	8,524 ^世	70,840 ^ケ	42,931 ^ケ	1,372 ^匹

ヘ、主要薬品使用量

昭29.1~12

BHC液体	DDT粉末	石油乳剤	クレゾール	ピカゾール	メツソ	カルキ
2979.8 ^キ	230.4 ^{ポンド}	190.5 ^キ	336.9 ^キ	312.0 ^キ	1,647 ^キ	45.05 ^キ

ト、狂犬病予防状況

昭29.1~12

登 録 頭 数	予 防 注 射 済 数	捕 獲 数	処 分 数	鑑 札 再 交 付 数
2,335 ^匹	3,386 ^匹	1,034 ^匹	850 ^匹	68 ^匹

チ、埋火葬状況

昭29.1~12

総 数	火 葬			埋 葬		
	市 民	非 市 民	死 産	男	女	死 産
1,995 ^人	964 ^人	291 ^人	400 ^人	61 ^人	54 ^人	223 ^人

リ、屠畜状況

昭29.4~30.3

区分	29年												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
牛	81	62	63	71	80	78	70	83	128	122	97	88	1,023
馬	40	21	18	22	29	21	28	31	35	30	25	30	333
豚	76	67	64	68	61	61	50	62	97	76	81	72	838
鶏	4	8	4	2	6	2	5	2	4	3	2	2	44
仔馬	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	1	0	4
計	201	158	149	163	179	165	153	181	264	231	206	192	2,242

ヌ、塵芥

昭30.3.31現在

車 輛 数			塵芥搬出車	塵芥搬出量	対象戸数	搬出人 1人当戸数
普通自動車	三輪自動車	計		混合塵芥	世帯 19,049	世帯 635
5台	3台	8台		11,068.92 t		

ル、尿 尿

昭29.4~30.3

車 輛 数				シ 尿 搬 出 量						対象戸数	搬出人 1人当戸数	
市 業 者				市 業 者								
真空式タンク車	普通タンク車	普通業者数	普通タンク三輪車	市貯溜槽入	農家還元	計	市貯溜槽入	農家還元	船舶	計	世帯 18,823	世帯 362
1台	2台	6社	16台	石	石	石	石	石	石	石		
				20,633	4,305	24,968	20,814	81	518.75	105,811.04		

3. 疾病罹患状況

1、病名別死亡者数

昭29.4~30.3

病名数	老 衰	消 化 器	呼 吸 器	脳 溢 血	肺 炎	脳 膜 炎	胃 腸	心 臓 病	肋 膜	腎 臓 炎
	1,996人	114	3	208	141	45	15	133	127	1
	発育不全	委縮腎	伝染病	死産児	脳 炎	腹膜炎	姿 死	栄 養	そ の 他	備 考
	2	7	14	617	17	17	92	12	410	

ロ、赤痢発生より死亡迄の時間

区 分	時 間	6時間以内	12時間以内	24時間以内	2日以内	3日以内	4日以内
		赤痢	乳幼児	—	1	—	—
	その他	—	—	—	—	—	2
疫痢	乳幼児	6	3	1	—	—	—
	その他	—	—	—	—	—	—

ハ、法定伝染病の発生届数年次別推移

年次	病名	腸チフス	パラチフス	赤痢	日本脳炎	流脳	猩紅熱	チフス発疹チフス	コレラ	ペスト	痘瘡	計
昭和10年		31	2	2	—	1	1	—	—	—	—	37
11		43	1	1	—	2	—	—	—	—	—	47
12		22	1	13	—	1	2	—	—	—	—	39
13		15	2	8	—	—	1	—	—	—	—	26
14		11	1	26	—	5	—	—	—	—	—	43
15		23	2	12	—	—	—	—	—	—	—	37
16		18	1	17	—	—	1	—	—	—	—	37
17		19	2	15	—	—	—	1	—	—	2	39
18		13	7	5	—	—	—	21	—	—	—	46
19		21	4	77	—	—	—	200	6	—	1	309
20		44	5	59	—	1	—	200	—	—	—	309
21		29	22	70	—	1	1	90	—	—	—	213
22		6	4	10	—	6	—	37	—	—	—	63
23		8	5	12	1	5	—	28	—	—	—	59
24		1	1	13	5	8	—	22	—	—	2	52
25		2	1	17	2	3	—	16	—	—	2	43
26		4	2	85	3	3	—	9	—	—	—	106
27		3	—	97	6	—	2	18	—	—	—	126
28		6	8	167	2	2	5	29	—	—	—	219

ニ、法定伝染病患者死亡の年次別推移

区 分	腸チブス	パラチブス	赤痢	日本脳炎	赤痢	猩紅熱	デフテリア	発疹チブス	コレラ	ペスト	痘瘡	計
昭23年	—	—	4	1	2	—	6	—	—	—	—	13
24	1	—	1	3	3	—	2	—	—	—	—	10
25	—	—	5	—	—	—	3	—	—	—	—	8
26	2	—	21	2	1	—	—	—	—	—	—	26
27	—	—	9	5	—	—	3	—	—	—	—	17
28	1	—	13	1	1	—	2	—	—	—	—	18

ホ、昭和25年以降年令別結核発生数

年 令	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60以上	不詳	計
昭25年	52	39	39	149	289	216	137	115	62	61	31	30	47	—	1,267
26年	71	64	66	185	358	345	221	149	109	33	74	39	75	—	1,839
27年	78	121	93	150	384	417	265	187	128	93	68	58	68	41	2,144
28年	66	80	64	182	485	485	321	213	146	112	86	56	76	6	2,380

ヘ、結核発生罹患率の年次別推移

区 分	管内発生総数		別府市住居者		大 分 県		全 国	
	実 数	率	実 数	率	実 数	率	実 数	率
昭23年	2,472	261.9	—	—	5,484	44.4	382,810	47.7
24年	1,814	190.5	804	84.4	5,040	40.5	464,903	56.5
25年	1,267	136.4	807	86.4	6,222	49.7	528,832	63.5
26年	1,837	197.7	842	90.5	7,557	54.2	—	—
27年	2,144	230.6	1,155	124.3	—	—	584,318	70.2
28年	2,380	255.8	1,202	129.2	8,043	64.4	—	—

ト、性病患者届出数の年次別推移

区 分	昭23年	24年	25年	26年	27年	28年
淋 病	1,361	1,640	1,059	1,160	864	1,168
梅毒	1,115	1,091	583	1,510	260	265
軟性下疳	140	68	45	115	76	119
第四性病	5	2	1	0	2	0
計	2,621	2,801	1,688	1,785	1,202	1,552

チ、精神障害者入院者年次別比較

年 次	区 分	精 神 分 裂	心 因 反 応	進 行 麻 痺	アルコール中毒	ヒロポン中毒	オートン中毒	躁 病	憂 う つ 症	て 精 神 性 病	神 経 衰 弱	ヒ ス テ リ ー	そ の 他	計
昭二七年	管内	22	3	9	3	1	—	2	—	—	—	2	3	45
	管外	95	1	25	2	2	—	14	9	2	—	3	7	160
	計	117	4	34	5	3	—	16	9	2	—	5	10	205
昭二八年	管内	19	5	10	5	11	5	3	3	—	—	—	5	66
	管外	74	13	11	3	1	4	8	3	4	2	2	1	126
	計	93	18	21	8	12	9	11	6	4	2	2	6	192

リ、死産及び死産率の年次別推移

区 分	昭22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年
死産数	241	363	485	603	582	586	524
比 率	63.0	91.7	118.4	205.7	179.6	308.0	277.3

ヌ、既往5ヶ年間の赤痢の月別発生数

区 分	総数	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
昭和24年	13		1	—	2	—	1	—	2	2	1	2	1	1
25	17		—	1	1	—	—	1	5	—	5	1	3	—
26	85		—	—	1	—	1	2	5	31	27	16	1	1
27	91		4	2	5	5	6	5	20	23	17	2	2	—
28	167		—	8	12	7	6	5	57	15	18	16	17	6

ル、赤痢の細病名別月別発生数

昭28年

区 分	総数	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
細菌性赤痢	105		—	6	4	4	4	—	50	7	9	9	10	2
細菌性(疫痢)	19		—	1	1	2	2	3	3	2	2	—	3	—
アメーバー症	19		—	1	3	—	—	2	1	5	3	3	1	—
保菌者	24		—	—	4	1	—	—	3	1	4	4	3	4
総 数	167		—	8	12	7	6	5	57	15	18	16	17	6

オ、町内別赤痢発生数

昭28年

町 名	人口密度	発生数	町 名	人口密度	発生数	町 名	人口密度	発生数
上田の湯	6.53	1	東野口	11.97	3	北石垣	1.33	1
田の湯	14.65	1	上原	1.90	9	扇山	0.48	53
上の町	43.97	1	中浜	56.46	1	野田	0.16	6
北浜	17.84	5	東蓮田	30.44	1	湯山	0.10	2
弓ヶ浜	13.71	1	南野口	21.47	2	内籠	0.21	5
浜町	27.16	1	本町	35.93	8	浜田	7.86	5
海門寺	20.74	1	八幡	29.14	1	亀川下	7.07	11
南町	37.60	1	不老	28.68	4	東山	0.04	8
富士見	17.89	2	山家	5.47	4	枝郷	0.03	2
上のヶ浜	27.62	1	鉄輪	2.19	1			
鶴見	0.37	2	火売	0.62	2			
錦区	21.79	1	南石垣	1.28	3	総 数		150

第十二編 交通通信

- | | |
|---------|---|
| 1 道 | 路 |
| 2 国 | 鉄 |
| 3 船 | 船 |
| 4 軌道及バス | 車 |
| 5 諸 | 信 |
| 6 通 | 話 |
| 7 電 | |

第12編 交通通信

交通は人体に於ける血管の如きものでその状況如何は市民生活及都市発展上に大きな関係がある。

本市は国鉄日豊線の要点にあり、電車及びバス路線は市内は勿論、大分亀川間にまで延び、別府港を起点（終点）とする海上交通も亦、本州、四国、その他海上遠隔地とも連絡を持つている。

今後此等交通機関は観光法と共に一層発展して行く事と思う。

1. 道 路

イ、道 路

昭30.7.1現在

区分	種別	延 長	内 訳			舗装延長	非 舗 装 延 長	全道路に対する舗装道路の比
			10m以上	9m~6m	5m以下			
国 道		27,100	2,140	24,960	—	19,840	7,260	0.73
県 道		41,714	482	23,272	17,960	11,072	30,642	0.26
市 道		454,817	1,683	7,491	445,643	17,619	437,198	0.39
計		523,631	4,305	55,723	463,603	48,531	475,100	4.4

(大分県土木事務所調)

ロ、橋 梁

昭30.7.1現在

区 分	国 道	県 道	市 道	計
延 長	213.2	460.8	881	1,555

(大分県土木事務所調)

2. 国 鐵

イ、月別乗降客数

昭29.4~30.3

区分 月別	乗 客 数				降 客 数			
	別府駅	東別府駅	亀川駅	計	別府駅	東別府駅	亀川駅	計
29年4月	171,621	35,956	35,117	242,694	166,301	29,816	36,533	232,650
5月	164,592	32,890	32,781	230,263	163,337	28,895	33,890	226,122
6月	132,790	28,202	28,142	189,134	130,112	26,116	28,847	185,075
7月	139,780	30,856	30,857	201,493	134,673	28,223	31,544	194,440
8月	163,254	33,685	35,468	232,407	162,704	29,502	36,546	228,752
9月	134,552	27,514	28,367	190,433	129,291	25,080	29,986	184,357
10月	161,219	30,762	25,951	217,942	156,700	26,629	27,882	211,211
11月	149,822	30,617	29,067	209,506	149,723	26,810	30,330	206,863
12月	142,245	29,526	30,263	202,034	140,361	26,777	30,763	197,901
30年1月	164,905	32,430	31,609	228,944	159,824	27,905	34,017	221,746
2月	133,275	25,636	26,624	185,535	126,444	23,403	27,971	177,818
3月	163,470	31,116	33,939	231,525	160,163	30,118	36,886	227,167
計	1,821,525	372,190	368,195	2,561,910	1,779,633	329,276	385,195	2,494,104

(大分鉄道管理局調)

ロ、貨物発着量

昭29.4~30.3

区分 駅名	貨 物				手 小 荷 物			
	昭和29年度		一 日 平 均		昭和29年度		一 日 平 均	
	発送屯数	到着屯数	発送屯数	到着屯数	発送個数	到着個数	発送個数	到着個数
別府駅	20,161	67,001	55.2	183.1	68,742	188,756	188.3	517
東別府駅	792	609	2.1	1.87	7,252	4,189	19.8	11.4
亀川駅	5,749	5,926	15.7	16.2	7,407	22,055	22	60.4
計	26,705	73,536	73	201	83,401	215,000	2,301	588.8

(大分鉄道管理局調)

ハ、収 入

昭29.4~30.3

区分 駅名	旅客収入	貨物収入	手小荷物収入	計
別府駅	240,936,024	40,303,680	10,864,226	292,103,930
東別府駅	19,143,233	116,100	1,073,440	20,332,773
亀川駅	19,165,039	3,604,010	1,106,550	23,875,599
計	279,244,296	44,023,790	13,044,216	336,312,302

(大分鉄道管理局調)

ニ、定期券数及団体券数

昭29.4~30.3

区分 駅名	定 期 券		団 体 券	
	発売枚数	金額	発売枚数	金額
別府駅	7,736	6,080,795	389	6,292,921
東別府駅	3,299	116,100	56	458,314
亀川駅	2,423	3,604,010	50	756,090
計	13,458	9,800,905	491	7,507,325

(大分鉄道管理局調)

ホ、国鉄年度別乗降人員

駅別 乗降別	年度別							
	昭和10年	15年	20年	22年	25年	27年	29年	
別府駅	乗車人員	433,430	975,155	1,770,061	2,351,393	1,619,647	1,737,009	1,821,525
	降車人員	468,080	933,853	1,699,781	2,311,775	1,597,666	1,790,645	1,779,633
東別府駅	乗車人員	98,797	121,981	139,684	302,432	248,721	359,194	372,190
	降車人員	47,442	105,871	115,227	241,791	206,075	324,321	329,276
亀川駅	乗車人員	84,809	126,150	165,811	238,362	319,006	345,006	368,195
	降車人員	89,909	123,621	171,475	367,113	341,770	358,621	385,195

(大分鉄道管理局調)

3. 船 舶

イ、航路状況

昭29.4~30.3

船別	船路名	期別	経営者	本航路の就航船舶		寄港地	寄港数	代表船名	総屯数
				隻数	総屯数				
貨客船	大阪、別府線	定期	関西汽船	6隻	8,812屯	大分、高浜、今治、高松、神戸	日2回	あかつき丸	1,920
"	宇和島、別府線	"	宇和島運輸	2	788	大分、八幡浜	日1回	あかつき丸	443
"	呉、広島、別府線	"	"	1	343	柳井、宮島、広島	月12回	第14宇和島丸	313
"	八幡浜、別府線	"	青木運輸	1	198	佐賀、関	日1回	繁久丸	193
"	姫島、別府線	"	東豊汽船	1	51	大分、国東	日1回	竹島丸	51
"	宿毛、別府線	"	山口廻送店	1	80	船越、深浦	月1回	すくも丸	80
"	呉、広島、別府線	"	瀬戸内汽船	2	628	柳井、宮島、広島	日1回	つるみ丸	418
貨物船	大阪、別府線	不定期	関西汽船	6	1,500	高浜、大分	一	瀬丸	275

(大分県別府土木事務所調)

ロ、入港船舶

昭29.4~30.3

種別	汽船			機帆船			帆船			計		
	船数	総屯数	重量中数	船数	総屯数	重量中数	船数	総屯数	重量中数	船数	総屯数	重量中数
客船	1,851	1,373,145	2,117,424	-	-	-	-	-	-	1,851	1,373,145	2,117,424
漁船	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	66	9,286	14,572	302	86,026	172,052	368	95,312	190,624
計	1,851	1,373,145	2,117,424	66	9,286	14,572	302	86,026	172,052	2,219	1,468,457	2,308,048

(大分県別府土木事務所調)

ハ、入港船舶屯数階級別

昭29.4~30.3

種別	隻数	5,000屯	1,000屯	500屯	100屯	20屯	計
		末	末	末	末	末	
汽船	隻数	635	2	1,139	56	19	1,851
	総屯数	983,282	1,818	383,275	3,592	1,178	1,373,145
機帆船	隻数	-	-	57	9	-	66
	総屯数	-	-	8,479	807	-	9,286
帆船	隻数	-	-	302	-	-	302
	総屯数	-	-	86,026	-	-	86,026
合計	隻数	635	2	1,498	65	19	2,219
	総屯数	983,282	1,818	477,760	4,399	1,178	1,468,457

(大分県別府土木事務所調)

ニ、航路別乗降人員

昭29.4~30.3

船路別	乗込人員	上陸人員	計
別府一大阪線	207,211人	178,892	386,103
別府一呉、広島線	33,083人	37,896	70,979
別府一字和島線	64,325人	54,535	118,860
別府一宿毛線	252人	-	252
計	304,871人	271,323	576,194

(大分県別府土木事務所調)

4. 軌道及バス

イ、乗車人員

区分	路線延長	車輛数		停車場数	昭和29年度		一口平均	
		実例	予備計		乗車人員	乗車料金	乗車人員	乗車料金
軌道	6,358m(単線)	台	台	ヶ所	人	円	乗車人員	乗車料金
別大線	12,640(復線)	26	14	40	33	11,699,301	151,168,746	32,052 414,160

(大分県乗合自動車協会調)

ロ、貸切バス

昭29.4~30.3

種別	区分	総走行料数	輸送人員	運輸収入	実在車数	延実例車数
大分交通		218,107円	441,323人	29,022,245円	7台	2,592台
亀の井バス						

(大分県乗合自動車協会調)

ハ、定期バス輸送実績

昭29.4~30.3

区分	路線名	片道行程	延運行回数	総走行料数	輸送人員	輸送収入	実在車数	延実例車数
	環状線	18.5	9,602	177,637	376,909	34,777,550	17	6,257
	由布院線	24.7	5,976	147,607	253,078	12,616,250	4	1,126
	堀印輪線	6.0	730	4,380	14,045	308,765	1	365
	鉄輪線	7.6	32,202	246,318	1,418,554	23,307,562	8	2,252
	明亀線	7.3	5,374	39,230				
	明(平田)	6.1	1,926	11,752	270,072	3,454,500	2	730
	明(平田)~鉄輪	2.6	730	1,898				
	上廻り温研線	4.6	1,252	5,759	27,774	274,790	1	138
	下廻り温研線	4.0	20,258	82,492	568,705	6,578,349	2	730
	福海寺線	5.1	8,700	45,830	186,551	2,491,825	1	365
	北廻り鉄輪線	6.2	4,685	29,047	53,857	865,260	1	330
	亀川病院線	6.0	10,042	60,252	199,672	3,036,314	2	730
	鐘乳洞線	117.4	139	16,318	1,410	561,600	1	139
	耶馬溪線	184.4	148	27,291	4,146	2,016,600	2	730
	競輪場線	5.1	102	520	1,521	26,580	共用	
	安心院線	35.9	2,190	78,621	126,547	6,909,175	3	1,095
	ケープル線	2.4	25,579	61,389	603,748	5,563,745	2	730
	ゴルフ場線	17.6	1,060	18,656	17,998	517,640	1	265
	石垣線	6.8	7,128	48,470	136,330	1,794,675	2	546
	津房線	9.2	730	6,716	11,002	232,165	共用	
	明(平田)~鉄輪	8.4	2,640	22,176	63,953	967,670	1	365
	キャンプ線	5.0	2,918	14,590	55,951	787,270	1	365
	湯の平線	10.8	2,502	27,021	80,693	1,183,805	1	315
	日出生台線	14.1	1,015	14,311	18,742	750,745	1	251
	阿南線	20.2	498	9,857	17,041	488,425	1	244
	小田の池、山下の池線	12.7	256	4,251	3,429	108,075	1	42
	東山線	14.5	664	9,628	30,082	335,850	1	158
	塚原線	10.9	510	5,559	8,769	273,730	1	126
	二豊線	78.8	3,010	199,820	413,019	13,886,151	36	1,116
	別府~杵築線	25.8	15,783	394,468	882,943	29,348,988	116	3,756
	別府~大分線	13.1	27,170	349,387	800,659	31,948,577	78	2,610
	別府~浄土寺線	9.6	3,603	34,454	110,769	2,496,675	24	740
	鉄輪線	6.5	18,396	145,353	447,621	7,647,232	51	1,638
	石垣線	6.8	1,546	10,539	24,057	373,107		
	八坂線	5.3	3,254	19,404	66,355	1,390,024		
	別府駅線	1.1	996	10,934	6,955	69,647		
	競輪場線	5.2	2,446	13,417	29,421	581,978		
	杵井線	17.8	1,439	23,911	54,666	2,371,255	5	153
	唐川線	51.7	752	28,935	33,132	1,387,513	12	369
	瀬戸線		412	2,014	7,694	75,767		
	別大廻送線	15.1	563	6,730	511	21,407		
	亀川線	7.6	1,055	7,803	101	2,176		
	其の他線		1,752	6,159	22,153	601,013	2	41
	計	818.5	231,723	2,468,904	7,450,635	202,430,425	382	28,817

(大分交通KK、亀の井バスKK調)

5、諸 車

イ、諸 車 台 数

昭 30.6.28 現在

区分 種別	乗用車	バス	小型 乗用車	スクーター 軽二輪車	トラック	小型 三輪車	特殊車	消防車	單車	小型 貨物車	計
総台数	261	64	64	692	227	436	34	13	62	94	1,947
官公庁用	16	2	1	4	27	10	12	13	4	9	98
自家用	63	1	15	660	151	413	20	—	34	74	1,431
営業用	83	61	47	—	49	13	2	—	—	11	266
外人用	99	—	1	28	—	—	—	—	24	—	152

(別府県税事務所調)

ロ、自 転 車 及 荷 車

昭 30.8.1 現在

区分 種別	自 転 車			荷 車			
	二 輪 車	三 輪 車	原 動 機 付	荷 積 牛 馬 車	荷 積 大 車	荷 積 小 車	リヤカー
台 数	9,323	252	131	48	363	390	1561
総 数	9,706			2,362			

6、通 信

イ、郵 政

昭 30.8.10 現在

普 通 局	集 配 特 定 局	無 集 配 特 定 局	郵便切手、収入印紙 売 切 所	ポ ス ト
1	1	7	94	99 (私設1を含む)

(別府、亀川、鉄輪局調)

ロ、郵 便 物

昭 29.4~30.3

区 分 月 別	通 常				速 達				小 包			
	引 受		配 達		引 受		配 達		引 受		配 達	
	普 通	特 殊	普 通	特 殊	普 通	特 殊	普 通	特 殊	内 国	外 国	内 国	外 国
29年 4月	378,472	8,528	409,052	15,357	6,714	1,213	8,907	1,220	5,751	151	9,031	69
5月	399,335	9,004	425,998	16,394	7,003	1,059	9,526	1,267	6,679	196	9,158	56
6月	379,305	9,660	428,359	16,183	6,784	792	8,696	1,106	5,855	122	9,062	54
7月	426,660	8,194	491,034	15,156	7,323	1,560	9,218	1,215	5,784	126	9,222	48
8月	520,317	7,712	595,030	14,876	6,839	959	8,651	1,166	4,570	83	9,062	58
9月	478,900	8,248	565,429	14,553	7,047	918	8,245	1,029	5,938	127	7,627	38
10月	449,203	7,750	537,178	15,622	7,319	993	8,309	1,123	6,427	170	9,403	55
11月	377,089	10,173	452,268	14,142	8,363	935	9,728	1,014	5,837	452	9,094	49
12月	(1,051,413) 464,243	7,178	(1,010,619) 555,575	20,426	9,154	1,275	9,489	1,543	8,197	249	15,239	145
30年 1月	381,267	7,943	450,630	13,703	8,556	838	8,939	1,036	4,983	149	8,621	92
2月	361,168	8,336	438,355	14,872	8,275	632	8,624	1,039	5,119	113	8,489	43
3月	386,330	9,062	445,420	16,114	11,151	1,087	11,078	1,289	6,011	150	9,283	67
計	(1,051,413) 5,001,989	101,788	(1,010,619) 5,794,321	187,398	94,528	12,201	109,410	14,657	71,151	2,088	113,289	774

(注) () は年賀郵便物別揚

(別府、亀川、鉄輪郵便局調)

ハ、電 報

昭 29.4~30.3 現在

区 分 月 別	内 国				外 国			
	発 信	受 信	中 継	料 金	発 信	受 信	中 継	料 金
29年 4月	14,533	13,442	2,895	1,290,718	99	63	—	84,411
5月	12,887	11,705	2,598	1,129,764	104	47	—	65,819
6月	10,174	9,661	2,138	909,664	80	61	—	72,087
7月	11,533	10,838	2,281	1,017,301	59	35	—	41,897
8月	12,774	12,005	2,661	1,113,132	56	25	—	61,124
9月	12,418	12,536	2,781	1,106,599	59	43	—	38,365
10月	13,232	11,689	2,766	1,148,928	77	51	—	78,400
11月	11,758	10,433	2,231	1,033,592	63	38	—	61,056
12月	15,704	14,102	3,112	1,205,196	162	74	—	83,620
30年 1月	12,196	10,649	2,369	1,041,389	66	51	—	52,309
2月	11,180	9,585	2,474	976,820	40	36	—	32,403
3月	14,844	12,680	3,125	1,278,680	35	44	—	31,987
計	153,233	139,325	31,431	13,251,983	900	568	—	703,478

(別府電報局調)

7、電 話

イ、年度別加入者数及電話機数

昭 25 ~ 昭 30

年 度 別	加入者数	電話機数	公衆電話	火災報知	警察電話
昭 和 2 5 年	1,824件	2,410台	10台	1台	1台
昭 和 2 6 年	2,338	3,327	12	1	1
昭 和 2 7 年	2,675	4,011	16	1	1
昭 和 2 8 年	3,103	4,618	29	1	1
昭 和 2 9 年	3,774	5,699	22	1	1
昭 和 3 0 年	3,823	5,764	34	1	1

(別府電話局調)

第十三編 温 泉

- 1 温 泉 効 能 内
- 2 温 泉 効 能 内
- 3 温 泉 効 能 内

ロ、月 別 通 話 数

昭和 29.4~30.3

区分 月別	電話回線路		市外通話度数			市外通話料金
	市 内	市 外	発 信	中 継	着 信	
29年 4月	3,121	78	86,736	7,337	92,917	4,370,472 ^円
5月	3,128	78	84,544	8,275	86,224	4,932,306
6月	3,115	78	78,335	6,618	78,305	4,458,606
7月	3,122	78	83,319	7,783	83,942	4,050,128
8月	3,115	78	83,072	7,174	84,217	3,931,690
9月	3,187	78	81,131	6,838	82,832	4,210,812
10月	3,307	78	92,805	7,698	92,793	4,077,522
11月	3,309	78	85,667	6,926	89,711	4,361,207
12月	3,628	79	93,675	7,305	95,728	4,651,315
30年 1月	3,695	79	84,071	5,771	87,969	4,565,357
2月	3,719	79	85,500	6,738	87,613	4,689,773
3月	3,743	79	99,086	7,707	105,229	4,875,519
計	—	—	1,037,941	86,170	1,067,480	53,174,707

(別府電話局調)

第 13 編 温 泉

別府温泉の起源は、遠く神代にありと云われ、伊予風土記に少彦名命が大分、速見の湯を汲んで大日貴命に浴せしめて、その病を癒したとあり、その後聖徳天皇の御代に日子三依が別府に温泉を開いて薬師堂を建てたと云われ、その外色々の故実が伝えられている。

1、温 泉

イ、温 泉 数

昭 30.3.30 現在

年 度 末 現 在			活 動 数	本 年 掘 出 額		
公 有	私 有	計		公 有	私 有	計
70	2,274	2,344	1,671	—	5	5

ロ、噴 気 孔 数

昭 30.3.30 現在

亀 川	石 垣・南立石	朝 日	計
37	216	185	418

ハ、地区別温泉数

昭 30.3.30 現在

旧 市 内	亀 川	朝 日	石 垣	南 立 石	計
1,279	372	152	80	43	1,926

ニ、温 泉 工 事 費

昭 29.4~30.3

工 事 名	泉 源 工 事	給 湯 工 事	改 良 費	営 繕 費
工 事 金	814,000 ^円	1,895,271 ^円	116,500 ^円	2,226,700 ^円

ト、月別各市営温泉入浴料金

昭 29.4~30.3

区分 月別	竹瓦温泉	靈潮泉	靈潮泉蒸湯	柳温泉	楠温泉	永石温泉	浜脇温泉	浜脇高等温泉	錦温泉
昭29年4月	427,168	169,812	47,520	28,721	45,213	68,839	204,017	78,980	67,456
5月	439,895	33,075	37,725	33,200	55,465	64,050	197,855	81,840	71,640
6月	276,463	県 に 移 管	25,060	31,520	区 に 移 管	56,445	183,655	74,705	69,775
7月	220,215		30,650	35,335		65,545	196,180	81,415	76,860
8月	254,830		38,620	38,825		73,765	218,220	97,775	85,380
9月	224,765		21,235	30,110		58,535	182,045	80,470	67,750
10月	340,160		31,320	35,195		69,885	205,760	86,345	74,525
11月	272,465		30,540	29,695		65,505	195,235	79,190	79,665
12月	217,630		40,385	37,410		82,155	249,250	65,058	82,875
30年1月	366,765		48,745	32,115		80,690	200,285	91,520	84,775
2月	289,685		38,860	29,790		65,860	172,745	87,080	81,310
3月	383,565		41,825	30,835		70,640	178,010	101,145	89,550

ホ、市営有料温泉入浴者数

温泉名	一日平均入浴者数	一年間入浴者数	率%	温泉名	一日平均入浴者数	一年間入浴者数	率%
浜脇温泉	1,860	682,036	25.80	不老泉	331	120,912	4.57
錦温泉	782	285,721	10.81	柳温泉	260	105,305	3.98
浜脇高等温泉	770	280,891	10.62	浜田温泉	178	64,970	2.45
竹瓦温泉	677	247,225	9.35	鉄輪蒸湯	123	44,942	1.70
田の湯温泉	640	234,276	8.86	東亀陽泉	61	25,715	0.97
永石温泉	635	231,934	8.77	靈潮泉蒸湯	57	20,787	0.78
海門寺温泉	433	153,148	5.98	天然砂湯	39	13,899	0.52
亀陽泉	343	125,190	4.73	計	7,240	2,642,956	100.00

ハ、市営有料温泉入浴者及料金年別比較

年別	温泉数	入浴者	料 金	年別	温泉数	入浴者	料 金
昭和 13	6	156,581	8,635.07	昭和 22	16	4,183,071	2,010,605.00
14	6	773,522	40,675.24	23	17	3,918,407	5,268,270.00
15	7	955,145	54,713.67	24	17	3,929,508	5,280,770.00
16	8	1,164,013	58,252.62	25	18	2,781,265	9,466,485.00
17	7	1,239,851	53,327.47	26	17	2,991,399	10,543,064.00
18	9	1,603,721	74,290.55	27	17	3,115,601	12,281,846.00
19	9	1,606,107	73,364.66	28	17	3,079,137	13,005,867.00
20	9	1,483,730	78,836.95	29	15	2,642,956	14,919,186.00
21	16	3,060,152	563,423.00				

区分 月別	不老泉	田の湯温泉	海門寺温泉	亀陽泉	東亀陽泉	浜田温泉	鉄輪蒸湯	天然砂湯	温泉課扱
昭29年4月	35,243	119,413	49,545	55,838	32,231	26,284	205,680	128,710	9,000
5月	31,770	106,650	49,030	46,630	24,350	25,865	75,240	119,160	14,460
6月	30,655	92,430	43,600	35,735	17,360	21,345	27,840	71,125	4,480
7月	33,355	107,585	49,950	37,975	19,405	25,950	20,940	48,040	8,650
8月	34,520	113,165	53,960	44,270	16,920	25,520	17,560	62,625	5,210
9月	30,510	87,210	45,350	39,125	15,310	20,960	35,440	60,720	4,900
10月	34,430	99,880	48,080	40,755	17,360	21,900	41,320	49,825	5,840
11月	36,365	102,905	57,170	39,615	17,975	25,725	39,420	36,920	7,920
12月	44,735	120,135	59,210	52,370	21,540	20,615	43,680	15,810	7,600
30年1月	41,155	105,350	53,145	53,915	26,050	24,890	107,640	35,845	7,920
2月	35,305	90,910	46,690	48,080	22,035	13,235	111,480	53,990	8,160
3月	36,370	86,465	53,940	45,090	24,855	24,565	131,620	70,980	6,640

(単位円)

2. 温泉効能

1. 温泉効能

経営別	温泉名	所在地	泉質	入浴設備及施設	医療効能
市営	田ノ湯温泉	田ノ湯	含炭酸単純硫酸黄泉	泉浴	諸瘡、皮膚病、胃腸病、婦人病、神経痛、ロイマチス等
"	不老泉	不老町	含炭酸単純硫酸黄泉	"	胃腸病、皮膚病、腫物神経痛、ロイマチス、新陳代謝病等
"	竹瓦温泉	北浜	含炭酸単純硫酸黄泉(塩類泉)	砂湯、臥湯泉浴	ロイマチス、神経痛、婦人病、新陳代謝病等
"	靈潮泉蒸湯	"	含土類単純泉	温泉気浴、泉浴、休憩室	咽喉諸症、ロイマチス、神経痛、関節強直等
"	浜脇温泉	魚葉	炭酸性硫酸黄泉	泉浴	慢性皮膚病、頑固ノ潰瘍、消化不良、利尿、痛風、慢性関節、ロイマチス
"	錦温泉	錦町	"	"	"
"	浜脇高等温泉	魚葉	含土類食塩泉	泉浴、休憩室、家族室	ロイマチス、神経痛、一般虚弱者、病後恢復期等
"	柳温泉	楠浜	含炭酸単純泉	泉浴	外傷後恢復期、神経衰弱、半身不随及関節、皮膚病、ヒステリー、婦人病等
"	永石温泉	南町	含炭酸単純泉	"	外傷後恢復期、神経衰弱、半身不随関節、皮膚病、ヒステリー、婦人病等
"	海門寺温泉	海門寺	"	"	"
"	浜田温泉	浜田	含土類塩類泉	"	ロイマチス、神経痛
"	海岸天然砂湯	北浜	含食塩アルカリ性炭酸泉	泉浴、臥湯、休憩室、家族室	一般虚弱者、ロイマチス、神経痛、病後恢復期等
"	亀陽泉	亀川	塩類泉	泉浴	ロイマチス、神経痛、外傷婦人病、虚弱者、萎黄病等
"	東亀陽泉	"	"	泉浴、砂湯	"
"	鉄輪蒸湯	鉄輪	温泉	温泉気浴	ロイマチス、神経痛、関節強直、運動麻痺、咽喉諸症等
泉営	靈潮泉	港町	含土類単純泉	砂湯、臥湯泉	ロイマチス、神経痛、内分泌病、新陳代謝病等
市有区営	八幡温泉	八幡	"	泉浴	慢性皮膚病、頑固ノ潰瘍、消化不良、利尿、痛風、慢性関節、ロイマチス
"	朝見温泉	朝見	"	"	"
"	楠温泉	楠町	含炭酸単純泉	泉浴	疝瘕、腫物、ロイマチス、婦人病、神経痛、関節強直等

経営別	温泉名	所在地	泉質	入浴設備及施設	医療効能
市有区営	四ノ湯温泉	亀川	アルカリ性土類泉	泉浴、飲用	胃腸病、神経器麻痺、運動麻痺、外傷、神経痛、ロイマチス等
"	南部温泉	石垣	硫酸黄泉	温泉浴	皮膚、筋肉疾患、婦人病
"	吉弘温泉	吉弘	"	"	"
"	中津川温泉	南立石	"	"	"
"	望潮泉	上人	塩類泉	"	ロイマチス、神経痛、外傷婦人病、虚弱者、萎黄病等
"	日の出温泉	向浜	硫酸黄泉	"	皮膚病、筋肉疾患、婦人病
"	富士見温泉	富士見	炭酸性硫酸黄泉	泉浴	慢性皮膚病、頑固ノ潰瘍、消化不良、利尿、痛風、慢性関節、ロイマチス
"	大和温泉	大和	"	"	"
"	天満温泉	北野口	"	"	"
"	古市温泉	古市	含土類、塩類泉	"	ロイマチス、神経痛
"	北部温泉	北石垣	—	"	—
"	東町温泉	東町	—	"	—
市有無料	畑田温泉	畑田	炭酸性硫酸黄泉	"	慢性皮膚病、頑固ノ潰瘍、消化不良、利尿、痛風、慢性関節、ロイマチス
"	畑田東温泉	"	"	"	"
"	柴石温泉	柴石	含鉄芒硝泉	滝湯、蒸湯、泉浴	虚弱者、皮膚病、肝臓病、便秘、神経衰弱、貧血症等
"	波ノ湯	"	土類含有食塩泉(含鉄酸性泉)	泉浴、砂湯、滝湯	虚弱者、病後恢復期、ロイマチス、神経痛、慢性胃腸カタル、貧血性機能性神経系諸病等
"	熱ノ湯	"	含硫酸単純泉 含炭酸単純泉	泉浴、蒸湯	ロイマチス、神経痛、運動麻痺、消化不良婦人病、神経系諸病等
"	地藏温泉	明礬	含土類(硫酸酸性)泉	温泉浴	慢性皮膚病、外傷(頑固ノ潰瘍)慢性下痢、婦人性殖器、慢性カタル等
"	鶴寿泉	"	土類硫酸黄泉(含鉄硫酸黄泉)	"	皮膚病、筋肉疾患、婦人病
"	薬師温泉	"	含鉄硫酸黄酸性泉	"	皮膚病、筋肉疾患、咽喉諸症等
"	観海寺高等温泉	観海寺	炭酸単純泉	"	疝瘕、腫物、ロイマチス、婦人病、神経痛、関節強直等
"	観海寺温泉	"	"	"	"

3、温泉案内

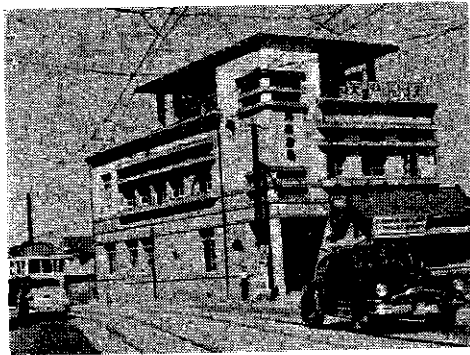
保健都市別府

別府市は世界公園と称へられる瀬戸内海に連なる温泉郷で、泉質の多様多種と泉量の豊富なることは蓋し世界第一と云はれている。天与の温泉と景趣さまざまな自然美に恵まれている上に、幾多の近代的施設が完備し実に理想的な温泉療養地である。所謂別府入湯と名付ける明礬、鉄輪、亀川、柴石、観海寺、浜脇、別府等大別府市内の温泉は随所に亙々と湧出ている。

泉質は硫黄泉、鉄泉、アルカリ泉、土類泉、食塩泉、単純泉、炭酸泉、酸性泉で世界薬劑学会の認定した十一種類中八種を占め、之等の温泉は九州大学温泉治療学研究所、鉄道療養所、大会社大工場其の他の経営する療養所、病院、保養所、国立病院、市内数百の旅館、貸間、商店一般家庭の湯壺に溢れている。湧出口四千余、一昼夜の湧出量四十万石に及ぶと推定され、保健と療養方面に大きな役割を預けていて、治病上の効能はあらゆる方面に及んでいる。

更に此の天恵豊かな、温泉や地熱は生産方面にも利用され蔬菜の速成栽培、醸造、孵卵、乾燥製菓、製茶、養蠶、繊維工業其の他各方面にまで応用されている。交通は陸路日豊本線により、北は門司、小倉、福岡方面に南は宮崎、鹿児島に通じ、西は豊肥線、久大線等により阿蘇、熊本、久留米、佐賀方面に連絡している。

海路は関西汽船が大坂、別府間の急行遊覧船を毎日二往復している外、宇和島線、広島線等によつて四国、中国との海上交通は極めて繁く、文字通り四通八達して訪れる浴客は年間三百万を算している。別府温泉こそ平和の復興に寄与せんとする国民の健康と資源、体力増進のオアシスであり明日への飛躍に備へるよき休養地である。この豊富なる温泉を有する別府はその良き風光と共に世界の観光地として将来の発展を約束されている。



別府天然砂湯温泉場

別府温泉

交通 日豊線別府駅下車附近一帯
泉質効能 多種多様、炭酸鉄泉、単純泉、単純炭酸泉、弱食塩泉泉温45'—68'
特色 保養並に慰安向

別府温泉群の中心で街は殆ど湯の上に浮いていると云うべく、市営、区営、部落経営、共同浴場合せて八十箇所に余り、旅館その他にある内湯の数は千を以て数える程である。

その中主な共同浴場は次の通りである。

【不老泉】（不老町）炭酸鉄泉、泉温52°神経痛、胃腸病等に効く。

駅から300m別府第一の浴場、和洋折衷の三階楼、屋上の眺望がよい、家族湯、普通湯の外に電気治療室、娯楽室、売店、ダンスホール等の設備がある。

【雲潮泉】（港町）単純温泉、泉温60°—65°咽喉諸病、筋肉疾患等に効く。

駅から700m別府國橋から30m鉄筋コンクリートの宏大な建物、砂湯裏側に蒸湯の設備あり海岸に近く、潮が満ちると浴泉は温海水となり、潮が退くと砂に仰臥し、或は砂中に半身を、埋めて入浴が出来る。

【楠温泉】（楠町）単純温泉、泉温65°筋肉疾患、風物などに効く。

駅から1.1軒老楠の根元から湧く。

【竹瓦温泉】（北浜）炭酸鉄泉、泉温54°リュウマチス、神経痛に卓効

港棧橋附近、設備、砂湯、休憩室あり。

【田の湯温泉】（田ノ湯町）単純泉、泉温51°皮膚病に効く。

駅から半軒湯の肌さわりが軟かい。

【寿温泉】（港町）弱食塩泉45°婦人病に効く。

棧橋附近洋館二階建、設備は婦人本位である。

【柳温泉】（柳町）弱食塩泉、泉温50°皮膚、婦人病、古来から痔病に効くとして名高い。

港棧橋附近

【二条温泉】（日の出町）弱食塩泉、泉温63°神経痛、リュウマチスに効く。

港棧橋から300m二階建、階上は真宗説教所、浴槽は泉浴と臥湯がある。

【紙屋温泉】（南町）単純炭酸泉、泉温47°神経痛、リュウマチスに効く。

市の中央に位し、軟肌触りのよい湯。

【北町温泉】（駅前通り）炭酸鉄泉、泉温49°慢性胃腸病、病後衰弱などに効く。

二階建、階上は休憩室。

その他海門寺、永石、野口、的ヶ浜、弓松、梅園温泉なども知られている。海辺の砂湯は指宿と共に誇りとするもので他に類のないものである。港の南北海浜一帯に湧出する温泉を利用しての天壽張の浴場で干潮の際、砂を掘り分け、各自随意の場所と適當の温度を選んで、自由に入浴する仕組で、半身を砂中に埋めるもの、横臥するもの、仰臥するもの、或は温砂を患部に盛つて治療するものあり、その快味は忘れられない。泉質食塩泉、神経系統諸病、リュウマチスなどに効く。



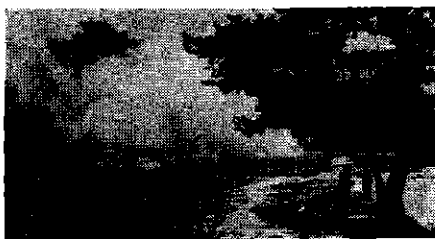
亀川天然砂湯

亀陽泉、東亀陽泉、四ノ湯、浜田の湯、筋湯温泉がある。

【亀陽泉】塩類泉、泉温 60° 神経痛、リュウマチス、外傷、婦人病等に効く。

駅から南方 300m、一千数百年前の記録を有し、その広大なる浴槽は非常に有名で俗に千人風呂といわれ階上は休憩集会場家族室も完備している。隣接して東亀陽泉ありて、砂湯、滝湯の設備がある。

【四ノ湯】古来日本四霊泉の一と呼ばれ、黄金の湯ともいわれる海辺には千間土堤と称する天然砂湯がある。ここでは温泉利用の醤油製造、製塩、蔬菜栽培等が行われ国立亀川病院があり温泉による物療治療が施されている。附近には承知年間（9世紀）にこの浦から出た雌、雄の白亀を祀つたという白亀塚、鉾泥浴場、血の池地獄、かまど地獄、上古の墳墓という鬼の窟、大友、黒田両氏の古戦場の石垣原、実相寺山等がある。実相寺山は別府温泉地帯の中央に位し石垣原合戦の時黒田氏の本営を置いたところで古刹実相寺がある。山の麓は新別府温泉と称し、海地獄から引揚している。



十万地獄

柴石温泉

交通 亀川駅から西二軒バスの便あり

泉質効能 含鉄芒硝泉、泉温 58° 神経痛、皮膚病、リュウマチ、貧血性諸症、便秘等

特色 療養向

鶴見岳北麓の谿間にあり、風致に富んでいる。温泉は巖石の隙から湧出し、泉となり、滝とな

亀川温泉

交通 日豊本線亀川駅下車附近一帯

泉質効能 弱食塩泉、含食塩酸性緑礬泉、泉温 53°-76° リュウマチ、婦人病、胃腸病、外傷

特色 保養並に療養向

別府温泉郷の北の門戸をなし旧別府と同じく海辺の温泉場で繁華な一郭をなし亀の井バス地獄巡りの通路となつている。

り溪流となる。溪流は即ち霊泉の流である。柴石の名は附近から柴の化石が出るので起つたのである。

谿間の滝湯と蒸風呂は市営の共同浴場で滝湯は約 3 米余の高さから落下して溪水に入る。附近には後朱雀天皇の代（11世紀）皇太子親仁親王、豊後、羅ノ荘の薬師如来の霊夢を感じ入浴したとの由緒ある親仁親王御枕石、赤の坂石仏、かまど地獄、血の池地獄などがある。血の池地獄は亀川からの途中にあり、海地獄に次いでの大地獄である。水酸化鉄を含有するのでその熱湯は朱紅色を帯びている。この地獄の鉄泥をとつて浴するので鉄泥浴湯という。

鉄輪温泉

交通 亀川駅から西南四軒、別府から西北六軒、柴石から南八百米バスの便があり

泉質効能 「熱の湯」炭酸鉄泉、泉温 89° 皮膚病、下腹充血、貧血、水銀中毒

「熱の湯」単純温泉、泉温 52° 無色透明、胃腸病、消化不良、婦人病、性病

「新湯」酸性緑礬泉、泉温 62° 胃腸病、貧血等

別府の西北に位し鶴見嶽の前山である扇山の東北にある。東に別府湾を眺め西に由布、鶴見の連山を負い南に鍋山がある。土地高燥、海山の眺望がよい。温泉の豊富なことは別府に譲らず天然蒸気を利用して戸々槽前に直径 38 寸のセメント製壺状の竈を設けて炊事をしている。其の吸入浴や竹材の抜油にも利用され温泉を利用して味噌醤油の醸造、蔬菜の速成栽培、製塩、養鰯、養鶏、製菓等が行われている。鉄輪は昔は一軒四方の地獄であつたが、建治年間（13世紀）一遍上人が大藏経の一字一石を投じて地獄を埋めて開いたものと伝へられ、現在蒸湯、洗湯、熱の湯、上人風呂皆市営である。熱の湯は清澄鏡の如く、落した針も拾うべく、蒸湯は鉄輪の生命といわれ



海地獄

る程世に知られ、熱泉の上に石室を建てて、十六羅漢に擬した十六箇の石枕を設けて、十六人宛
臥浴する仕掛になつている。入口上にある薬師様に奉納山積せる松葉杖は、この治療法の効験を
語るものである。温泉場の中央に鉄輪地獄があり、約1杆を隔てゝ温泉を神とする火男火売神社
があり、九月九日のお祭は賑う。

附近には城が塚、一遍上人に因みある温泉山永福寺、海地獄、坊主地獄、鬼石坊主、金龍、雷
圃、白池、十万、鬼山、御西方公園地獄、養鰯場があり、地獄めぐりの中樞地をなし、紺屋地獄
を経て明礬温泉へ行かれる。海地獄は鉄輪から西に半杆登つたところ、広さ264平方メートルの碧緑高
熱の湯池と、小壁を隔てて33アールの澄明湖水の如き噴湯井を併せ、地獄中最大のもので底知れ
ぬ青藍の色を湛え、渦巻るその湯煙は遠くから望見せられる池中の湯は、鶏卵が数分間で茹で
られる程の温度である。新坊主地獄や白土の製造所がこの近くにある。

坊主地獄は海地獄から西南約1杆、沸騰の壮観第一のところで、高さ約1米に昇ることさえあ
る。附近は朝日公園といい景趣に富んでいる。

坊主地獄から西北明礬温泉に向うこと約半杆で紺屋地獄があり、そこから約半杆で明礬温泉に
着く。紺屋地獄は沸騰せず、熱泥紺色の波紋を作つて渦巻いている。

明礬温泉

交通 別府駅から西北10杆亀川駅から7杆バス

泉質効能 酸性明礬緑礬泉、泉温 52° - 91° 性病、皮膚病、胃腸病、婦人病（飲用）慢性胃腸
下痢等

特色 療養向

鶴見岳の北麓明礬山の東腹にあり、海拔約400米の高燥の地で、海山の眺望がよい。市営共同
浴場の霧垂泉、地蔵湯、薬師湯あり、湯滝、蒸湯もある。

ここも鉄輪と同じく薪炭の要らぬ土地で、湧出する蒸気を利用して。附近には紺屋地獄、
湯の花製造所金羅山、円山の大樹林などがある。又温泉から更に登路4杆、硫黄山の山腹に湯
布院温泉に属する塚原温泉がある。内山溪谷は明礬温泉の背後にある。鶴見岳の東北麓で、山形
が扇に似ているから扇山溪谷とも云う。山肩の南北が欠けて、一大溪谷を成し、竈々4杆余に亘
つて懸崖あり、溪流あり、瀑布あり、また温泉の湧出もあり、紅葉の頃は最も優れた景趣を取
るのである。

濱脇温泉

交通 日豊本線東別府下車附近一円

泉質効能 弱食塩泉、硫黄泉、泉温 50° リウマチス、神経痛、病後回復期等

特色 保養向、並に慰安向

浜脇は朝見川の流を界にした別府市の南端にあり、特異の雰囲気有する温泉場である。市営
の浜脇高等温泉があり、高等温泉は洋風建築で階上は林窓室となつている。浜脇の南丘は東公園
と云い、丘麓に秋葉神社、丘上に金羅神社があり、附近南山の展望台になつている。松原公園
は東別府駅から西北1杆、街路公園で八幡朝見神社の御旅所を中心に、池、噴水、桜樹を配し、

園内と附近に劇場、映画館があり繁華の色を見せている市の南方に兜型の頭を見せる高崎山や、
大分市八幡の海辺にある仏崎公園も、浜脇浴泉者の散策区域である。

観海寺温泉

交通 別府駅から西約3杆、バス

泉質効能 単純温泉、泉温 56° 胃腸病、リュウマチス、神経痛、婦人病、貧血症等

特色 保養並に療養向

観海寺山の中腹にあり、後に鶴見岳を負うて高燥な崖上に、一の温泉郷を成している。前面に
は石垣原を見越して別府湾を見下し、伊予の連山も雲煙漂渺の間に望まれる。展望の勝別府諸温
泉中の自眉とされている。春は六百余株の桜に粧はれ、別府市の美観をここにちりばめた観が
ある。旅館の尽きるところ山路羊腸の間に清湯山観海寺があり眺望がよい。また北方峡谷の間に一
面の硫黄の蒸騰を見るは、いわゆる観海寺地獄である。温泉から600米ばかり登つた処に白湯で
白濁の硫黄泉硫黄鼻を衝く、疥癬、悪疽腫物などに特効があり、膏薬を製造している。観海寺温
泉の北麓一帯の地域は鶴見ヶ丘または石垣原と呼ばれる高燥な土地で、慶長5年(1600年)の秋
大友義統が黒田如水と戦つたところ、千人塚、鐘掛の松などの遺跡がある。今は鶴見園、山水
園の設あり、京大理学部附属火山温泉研究所、九大温泉治療学研究所等がある。観海寺から堀田
温泉に至る途中に鶴見地獄がある。

堀田温泉

交通 別府駅から西北6杆、バス、観海寺温泉の西北2杆2。

泉質効能 単純炭酸泉。泉温 80° 皮膚病、胃腸病、婦人、リュウマチス等。



堀田温泉場

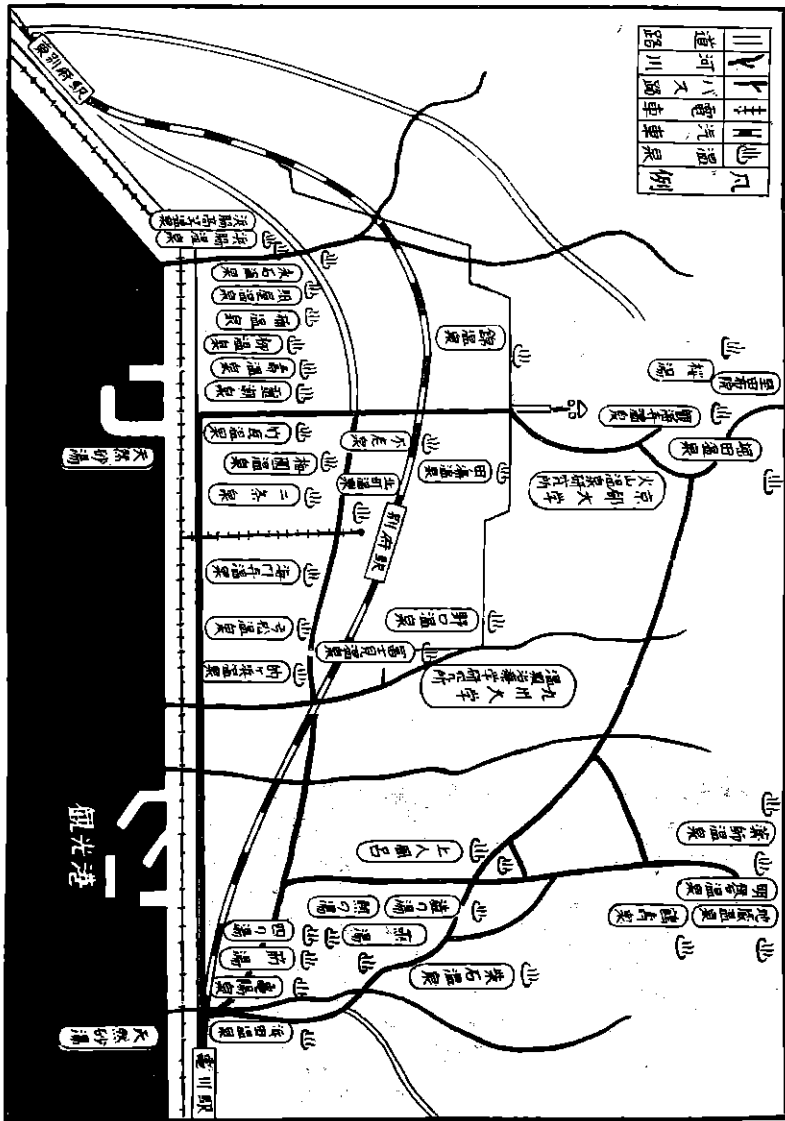
附近には石垣原合戦を物語る鐘掛の松、細川公菩提寺跡、生目神社などがある。

鶴見ヶ丘の東麓に
あり、三方岳麓に囲
まれ前面遙かに海光
を望み野趣豊かな温
泉場である。附近の
田圃、籾間は硫煙を
噴出するところが多
く濛々としてきなが
ら激しい霧をこめた
ようなところが堀田
地獄である。この噴
気孔を利用して水を
注入し鶴見ヶ丘の文
化住宅其他に引湯浴
泉の便を計つている

第十四編 建設

- 1 はしがき
- 2 別府市の現状並びに特異性
- 3 都市建設計画

別府代表温泉案内図



第14編 建設

1 はしがき

別府市は、昭和25年7月18日別府国際観光温泉文化都市建設法（以下単に別府法と称する）^①の制定以来、従来の都市計画に再検討を加え、終戦後著しく増加した人口に対処し、併せて将来益々増加を予想せられる観光客の受入態勢確立の一環として、本市の二大特性たる観光温泉資源の開発に重点を指向した国際泉都の建設を目標とする総合的建設計画を街路、公園、港湾、上水道、下水道、土地区画整理、並びに用途地域等諸般に亘つて策定し、又その一部を具体化する建設事業も建設計画と同時に法定決定（昭和27年3月31日附）をなし、目下着々実施中である。

2 別府市の現状並びに特異性

別府市は北、西、南の三面を鶴見、高崎をはじめ重畳たる翠嶺に囲繞せられ、東に向つて緩傾斜性のスロープをなして海岸線に達し、瀬戸内海の西端別府湾に臨んでいる。山岳地帯には河内内山両溪谷、由布川峡谷、志高湖及び城島高原の景勝地に恵まれ、地獄廻遊道路以東の市外地域には、別府、亀川、鉄輪の三大温泉街が鼎立し、近郊に観海寺、明礬、堀田、柴石等の温泉郷を擁している。

別府湾の海岸線は単調ではあるが綺麗な弧線を示し、海陸に跨る大景観は東洋のナポリと謳われている。

気候は内海性の温暖な特性を示し、冬期は西北風を山岳によつて遮ぎられ冬知らずの避寒地として知られ、夏期はの恒風によつて蒸暑さが緩和され、特に高地における温泉郷は避暑に適している。

別府市の温泉は、世界屈指に数えられ、温泉湧出地帯が広範であり、湧出量は豊富で、泉種は世界薬剤学公認11種の内8種を占めている。

行政区域名積は108.469平方軒で、現在人口99,512人（昭和30年4月1日現在）である。人口の大半は旧市内（別府）に集り69,520人を算し、本市の観光経済の中核をなしている。

3 都市建設計画

イ、都市計画区域

別府市計画区域は昭和10年3月決定され、現在の行政区域と一致する。

ロ、将来の人口

計画人口を200,000人とし、昭和57年において飽和するものとするが差当り昭和34年末において130,000人を第一目標とする。

ハ、都市の性格

本市の二大特性たる風光、温泉の自然的観光資源の整備による観光温泉都市たらしめると共に西日本における国際観光ルートの要衝として観光客誘致に資するため国際文化都市の性格を具備せしめるものとする。

ニ、市街地区域

市街地区域は主として地獄廻遊道海岸線に至る面積約15平方町の区域とする。

ホ、街路計画

街路建設計画は昭和27年7月3日告示され、既定の別府都市計画街路は同時に廃止された。決定路線総数は30路線で、一般路線23路線、公園道路4路線、緑道3路線に分けられる。

その内容は第一表の通りである。

第一表 別府国際観光温泉文化都市建設計画決定街路一覧表

街路番号 等級別番号	街路名称	起 点	終 点	重要経過地	幅員 メートル	摘 要
1 1 1	国際観光ルート	大字北石垣字娘田	大字南立石字引野	大字鶴見字今井	40	但し2.3.7号線との接 触点に約6,000平方 メートルの広場を設ける
1 2 1	海岸通線	大字浜脇字一の坪	大字内竈字北新田	大字南石垣字餅ヶ浜	30	但し起点より1.3.1号 線との交差点に至る区 間2.1.1号線との交 差点より終点に至る区 間は幅員25メートル とし亀川駅前約1,200 平方メートルの駅前 広場を設ける
1 2 2	実相寺中央線	大字鶴見字下原	大字鶴見字木の原	大字鶴見字横井	20	

街路番号 等級別番号	街路名称	起 点	終 点	重要経過地	幅員 メートル	摘 要
1 3 1	別府駅北浜線	大字別府字北町上	大字別府字北町下	大字別府字北町下	22	但し別府駅前に約6.50 平方メートルの駅前 広場を設ける
1 3 2	乙原中津岬公園道路	大字別府字前原	大字別府字丸尾	大字別府字原	22	
1 3 3	野口原堀田公園道路	大字別府字野口原	大字南立石字引野	大字南立石字板地	26	但し1.3.5号線との交 差点より終点に至る区 間は幅員22メートルと する
1 3 4	野口原実相寺公園道路	大字別府字野口原	大字鶴見字八川	大字鶴見字鶴見原	22	但し起点より2.3.5号 線との交差点に至る区 間は幅員16メートル 2.3.5号線より1.2.2 号線との交差点に至る 区間は幅員26メートル とする
1 3 5	南立石大畑公園道路	大字鶴見字板地中須賀	大字鶴見字古殿	大字鶴見字古巖敷	26	
2 1 1	東別府古市線	大字浜脇字東町	大字内竈字古市	大字南石垣字宮の前	20	但し2.1.2号線との交 差点より2.3.7号線と の交差点に至る区間は 幅員25メートルとする
2 1 2	別府駅前原線	大字別府字北町上	大字別府字前原	大字別府字前原	20	但し起点より2.1.1号 線との交差点に至る区 間は22メートル、2.3. 5号線との交差点より 終点に至る区間は幅員 12メートルとし起点附 近に約4,600平方 メートルの駅前広場を 設ける
2 1 3	亀川駅裏線	大字内竈字上別府	大字内竈字上別府	大字内竈字上別府	20	但し起点附近に約2,40 0平方メートルの裏 駅前広場を設ける
2 2 1	東蓮田弓ヶ浜線	大字別府字中須賀	大字南石垣字牛踏	大字別府字北町上	16	但し1.3.1号線より終 点に至る区間は幅員12 メートルとする
2 2 2	秋葉通行合町線	大字別府字太呂辺	大字別府字仲間	大字別府字北町上	16	但し起点より2.3.2号 線との交差点に至る区 間は幅員12メートルと する
2 2 3	富士見通野口原線	大字別府字境下	大字別府字野口原	大字別府字境	16	
2 2 4	鉄輪亀川線	大字鶴見字古殿	大字内竈字浜町	大字野田字御手洗	16	
2 3 1	秋葉通前原線	大字別府字南町下	大字別府字前原	大字別府字中島	12	
2 3 2	田の湯線	大字別府字北町上	大字別府字太呂辺	大字別府字太呂辺	12	
2 3 3	別府駅裏田の湯線	大字別府字北町上	大字別府字北町上	大字別府字北町上	12	

街路番号 等級	種別	番号	街路名称	起 点	終 点	重要経過地	幅員 メートル	摘 要
2	3	4	朝見川照波園線	大字別府 字田島田井	大字亀川 字天神町	大字南石垣 字庄原	12	
2	3	5	乙原野口原線	大字別府 字中島	大字別府 字野口原	大字別府 字中原	12	
2	3	6	餅ヶ浜庄原線	大字南石垣 字餅ヶ浜	大字南石垣 字庄原	大字南石垣 字徳丸	12	
2	3	7	鉄輪上人ヶ浜線	大字鶴見 字八川	大字北石垣 字鷹天津	大字北石垣 字竹の畑	12	
2	3	8	国立病院線	大字野田 字山下	大字内竈 字杉田平	大字内竈 字川原田	12	
2	3	9	鶴見明鑿線	大字鶴見 字木の原	大字鶴見 字照湯	大字鶴見 字竹の内	12	
2	3	10	鉄輪明鑿線	大字鉄輪 字大平井	大字鶴見 字明鑿	大字鶴見 字甲水	12	
1	小	1	浜脇観海寺線	大字浜脇 字一の坪	大字南石垣 字端	大字別府 字乙原	8	
1	小	1	別府由布院線	大字南石垣 字引野	大字東山 字川上境	大字東山 字鳥井	8	
緑	幹	1	境川緑道	大字南石垣 字牛踏	大字鶴見 字鶴見	大字南立石 字向原		幅員5メートル以上
緑	幹	2	春木川緑道	大字北石垣 字四月田	原大字鶴見 字小倉	大字鉄輪 字馬場		"
緑	幹	3	朝見川緑道	大字浜脇 字向浜	大字別府 字前原	大字浜脇 字朝見		"

街路建設事業としては国際観光ルート及び野口原、実相寺公園道路を昭和26年度より継続事業として実施中にして、今年で五年目に当る。(昭和27年7月3日告示)

へ、公園計画

公園建設計画は従前の別府都市計画公園を廃止し、市街地区域を中心とする一帯に互り地形、修景、誘致、距離等も勘案して、地域の特長及び利用目的に応じて公園の性格を定め次の通り13公園を配置するものとする。その計画内容は第二表の通り。

第二表 別府国際観光温泉文化都市建設計画決定公園一覧表

番 号	名 称	位 置	地 積	摘 要
第 1 号	浜脇公園	別府市大字別府地内	ヘクタール 約 8.7	
第 2 号	海門寺公園	" "	" 0.4	
第 3 号	別府公園	" "	" 14.2	
第 4 号	乙原公園	" "	" 47.6	
第 5 号	緑ヶ丘公園	" "	" 8.8	
第 6 号	南立石公園	" 南立石地内	" 20.4	
第 7 号	実相寺中央公園	" 鶴見地内	" 109.3	
第 8 号	上人ヶ浜公園	" 北石垣地内	" 22.8	
第 9 号	鉄輪地獄地帯公園	" 鉄輪地内	" 125.8	
第 10 号	亀川公園	" 亀川地内	" 26.8	
第 11 号	流水公園	" 内竈地内	" 5.4	
第 12 号	松原公園	" 別府地内	" 0.37	
第 13 号	山田児童公園	" 浜脇地内	" 0.16	

公園建設事業は浜脇公園を昭和26年度及び同27年度3ヶ年継続事業とし、松原公園及び山田児童公園を昭和28年29年度事業として完成した。

ト、港湾計画

別府市の経済は、その大半を観光収入に依存する点に鑑みて観光の受入態勢を確立するため海の玄関たる港湾の整備を喫緊とするので、別府国際観光港修築計画を本市の総合計画の一環として決定し、昭和27年7月3日告示された。その計画内容第三表の通り。

第三表 別府国際観光温泉文化都市建設計画決定港湾一覧表

番号	名称	種別	位置	面積 平方メートル	幅員 メートル	延長 メートル
第1号	別府国際観光港	北突堤	別府市大字南石垣 字八反坪地先海面	6,500	52	北側 150 南側 100
		南突堤	別府市大字南石垣 字小平田地先海面	1,560	26	60
		南防波堤	"			50
		東防波堤	"			250
		北突堤上屋		6,100		
		南突堤上屋		1,200		
		埋立面積		47,000		

註 港湾を都市計画として決定したのは別府市を以て嚆矢とする。

下水道改良事業は昭和26年度より公共事業として継続執行中であるが、差当たり駐留軍関係区域の排水に必要な施設整備を図りつつある。

チ 土地区劃整理地区

石垣地区は別府、亀川両市街の中間に位し地理的には本市の中央部を占め、地形的に見ても将

来を約束されている地区であるが、曩に昭和26年度より本地先海岸線において別府国際観光港修築事業が着手されるに及び此の発展も急速に具体化されようとしているので、これを合理的発展に導くために先づ本地区の土地区劃整理を決定しようとするものである。

石垣土地区劃整理地区は別府市大字南石垣、同北石垣、同鶴見の各一部を含み、境川、春木川間東は国道三号線より西は鶴見ヶ丘高等学校及び大分県農林療養所を結ぶ線に至る一帯の面積約637,000坪の区域であつて昭和27年7月3日告示された。尙ほ設計は今後の認可に俟つこととなるがその方針をのべると大略次の通り。

- ① 街路は都市計画として規定するものによるほか、土地の状況を精査してその配置を定めるものとし、その幅員は特別の事情あるものを除いてすべて6メートル以上とする。
- ② 公園其の他緑地は総地積の約3%以上とし土地の状況を精査してその配置を決定するものとする。
- ③ 水路は地形、排水区域利用の範囲並びに副地の配置を勘案して下水道排水幹線となるようその位置を決定するものとする。
- ④ 副地は特別の理由のある場合を除いて住居商業に適するよう決定するものとする。

事業内容としては昭和30年3月15日第一工区分139,000坪の施行命令をうけ昭和30年3月31日大分県知事の設計認可を受けたので、本年度より3ヶ年計画として施行する。

リ、用途地域

別府市は終戦後の発展特に著しく、これが対策を諸般に亘つて樹立することを急がれていたが別府法の制定を機にこれが趣旨にそふ都市計画も根本より再検討を行つた結果従来旧市内のみに指定されていた用途地域を亀川、鉄輪方面まで拡大して合理的発展に資しようとするものである。尙用途地域の面積及び比率は第六表の通り。

第六表 用途地域指定一覧表

地域名 区分	商業地域	住居地域	準工業地域	住居専用地域
面積(ヘクタール)	291.89	751.72	21.76	205.37
比率(%)	23	59	2	16

ス、風致地区

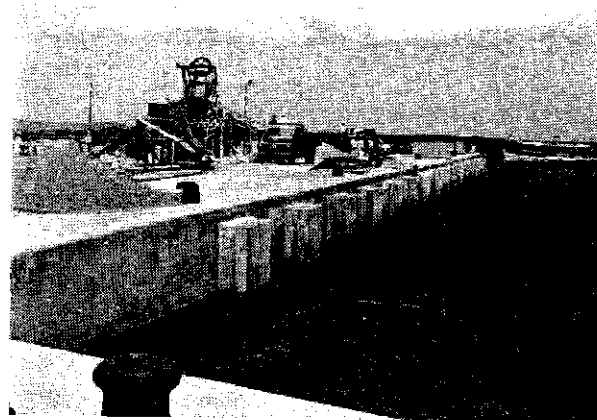
昭和13年3月25日別府都市計画風致地区として決定した6ヶ所中速見ヶ浦風致地区は前記石屋土地区劃整理の実施に伴い昭和30年3月31日を以てその一部を廃止したので現在は第七表の通りである。

第七表 風致地区一覧表

名 称	面 積	備 考
赤松風致地区	ヘクタール 52.2	
山ノ手風致地区	153.6	
鶴見ヶ丘風致地区	838.4	
地獄地帯風致地区	642.8	
春木川風致地区	29.2	
速見ヶ浦風致地区	43.2	

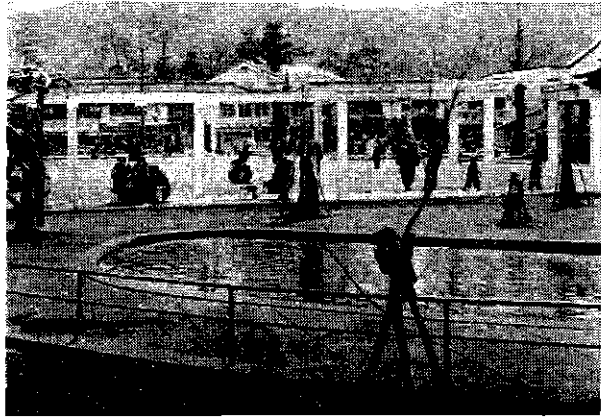
4. む す び

別府法の制定以来別府市将来の発展を合理化する基礎的都市計画施設の計画を総合的に決定したがこれ等を具体化する建設事業は国家並びに地方の財政事情の推移に俟たなければならないことはもとよりいうまでもないが、国際泉都の建設は一に十万市民の理解と熱意にあると称しても過言でない。官公民一致協力して内外観光客の世望に応へ、外には国家経済の興隆に寄与し国際親善の実をあげると共に内には観光事業の振興によつて泉都の発展並びに市民生活向上に努めなければならない。



国際観光港

観光都市別府の海の大玄関となる別府観光港の工事は昭和28年から5ヶ年計画で工事に着手している。現在5.5メートルの岸壁1バース(2千トン級汽船寄港)が完成しているが、今後造る岸壁は9メートル岸壁(1万トン級寄港)1バース4メートル岸壁(5千トン級寄港)2バースでこれに対する埋立夜浜護岸などの各工事を行う事になっている。なおこの工事に費する国の総予算は3億1千800万円である。



「別府の浅草」松原公園

本市が総工費約 200万円を投じて改装をした松原公園は昭和27年以来露店の立退を始め諸施設の完備を行っていたので、園内には噴水池、砂場、スベリ台、藤だなや各種の遊戯施設も備付られ新装の公衆便所も完備されている。

楠銀天街中浜筋を通りぬけた別府市の南端であり附近には映画館も密集しており「別府の浅草」としてその発展が期待されている。

(昭和30. 3. 13日完工)

第十五編 観 光

- 1 観 光 案 内
- 2 名 所 舊 蹟
- 3 別 府 の 民 謡

第15編 観 光

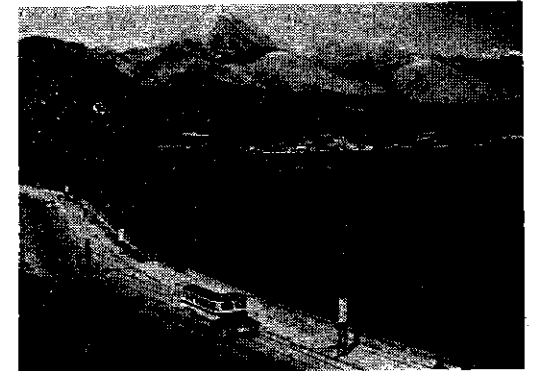
1 観 光 案 内

〔別府への交通路〕 陸路は日豊本線、本土直行の急行に依り北は東京、京都、大阪、小倉、門司、福岡方面に、南は宮崎、鹿児島方面に、西は豊肥線及び久大線に依り阿蘇、熊本、久留米、佐賀方面に連絡している。

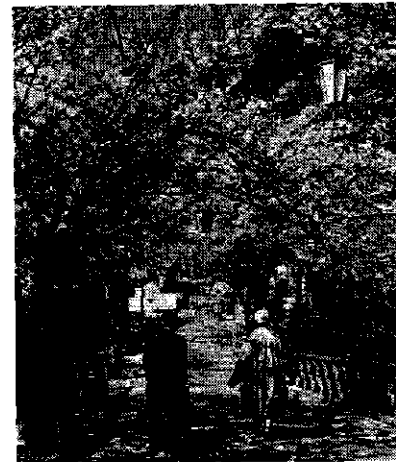
海路は関西汽船の大阪、別府航路が毎日二回往復し、又呉、広島への中国線、八幡浜、宇和島の四国線の航路がある。

〔別府への交通運賃〕

鉄 道	東京行急行(急行料金を含む)
	東京 1,920円 大阪 1,360円
日豊線	福 岡 380円 門 司 270円
	小 倉 250円 広 島 590円
	宮 崎 420円 鹿 児 島 600円
豊肥線	熊 本 340円
久大線	久留米 330円 長 崎 530円
急行バス	中 津 200円 杵 築 80円



別大国道より別府市を眺める



桜の名所観海寺温泉場

関西汽船

阪神航路	大阪、神戸	920円
	高 松	720円 今 治 530円
	高 浜	430円
呉、広島航路	呉、広 島	630円
	宮 島	600円 岩 国 580円
宇和島航路	宇 和 島	450円 八幡浜 330円

【旅館】 当市別府は旅館の数約350戸貸間、簡易宿泊所約200戸の多きに達し、市街海岸、郊外到るところに観光、療養に快適なサービスをモットーとしたる多種多彩な施設を以つて皆様の御来遊をお待ちしている。

別府市街	250軒	下車駅	別府駅、東別府駅	附近一帯
観海寺温泉場	15軒		別府駅	亀の井バス北浜本社より15分
亀川温泉場	30軒		亀川駅	附近一帯
鉄輪温泉場	30軒		別府駅、亀川駅	大分交通御成町別府支社又は亀の井バス北浜本社より30分、亀川駅より20分
明礬温泉場	10軒	下車駅	亀川駅	亀の井バスにて30分

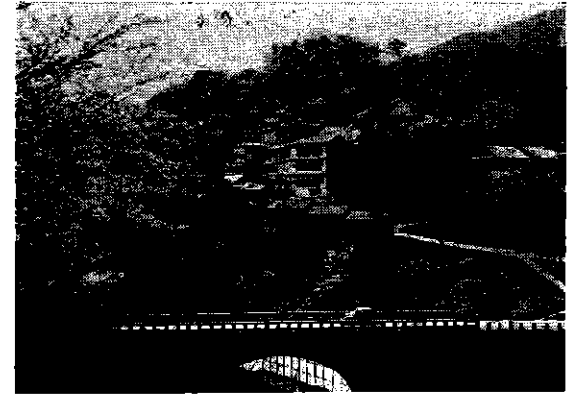
宿泊料金 (一泊二食税込)

特級	1200円以上
一級	900円以上
二級	700円以上
三級	500円以上

【四季の別府】

春	温泉祭	4月1日より5日まで
観	桜	観海寺温泉場・吉弘公園・乙原高台・浜脇公園・朝見浄水池・仏崎公園
わ	らび	狩り 志高湖畔・六枚屏風附近・高崎山麓・十文字原・青梅台・城島高原
夏	は	たる
魚	釣	湯布院温泉場・浜脇鳴川・石垣春木川
		ぼら 浜脇埋立海岸 黒鯛・いな 北浜海岸 きすご・かれい・こち 餅ヶ浜・上人ヶ浜一帯
	海	水
	浴	場 関ノ江海岸(市営)・餅ヶ浜海岸(私営)
	キ	ャ
	ン	プ
	場	志高湖畔(県市共営)・城島高原(私営)・内山(私営)・湯山(私営)
夏	祭	り 七月下旬
花	火	大
	会	八月上旬別府棧橋突堤
音	頭	大
	会	仲よし公園内
薬	師	祭
		八月下旬 見立細工・盆おどり

秋	茸	狩	り	銭瓶越・乙原附近・旗の台・十文字原
	紅	葉		鶴見溪谷・山水園・由布山腹北屋根
	観	光	祭	10月初旬 3日間
	温	泉	市	11月下旬
	沖	釣		いかの舟釣 別府沖一帯
冬	霧	水	見	物 由布嶽頂上・鶴見嶽頂上
	観	梅		野口天満社



登山・キャンプ・海水浴

登 山

観海寺温泉場

鶴見岳 (標高1,375米) 林火山にて頂上北側

附近に噴気孔があり頂上より別府湾、豊後水道方面及び九重アルプスの眺望雄大なり。

交 通 亀の井バスにて鳥居下車45円、徒歩3時間

由布岳 (標高1,584米) 一名豊後富士と称し頂上より祖母嶺山系、久重山等九州アルプスの遠望が出来、夏季の登山者にて賑う、山麓に湯布院温泉場がある。

交 通 亀の井バスにて登山口下車70円、徒歩3時間

キャンプ場 城島高原キャンプ場は市の中心部より西方7kmの高原由布岳、鶴見岳の両翼にありて附近の眺望は又格別なり。亀の井ホテル経営のキャンプ場はヒユツテ、ロマンスヒユツテ、テント式等完備して居り、附近には高原ホテルがある。

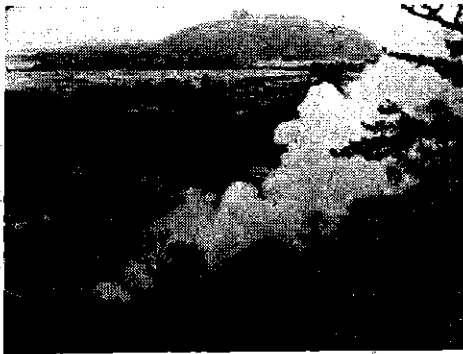
交 通 亀の井バスにて城島下車55円

海水浴場 餅ヶ浜海水浴場には海の家、温泉シャワー、ボート、キャンプ施設等が完備している。

交 通 大分交通の電車、亀の井バス等の便あり。

【観光遊覧】

地獄めぐり「東洋のナポリ」泉都別府を訪れる旅客は必ず地獄めぐりに観光の第一歩を印して別府温泉を象徴する地獄一造化の神秘に驚異の眼を見張られることであろう。



十 万 地 獄

此の地獄巡りは観光ガイドがバスの進行につれて車窓に移る沿線の風光や名所旧蹟を古き伝統を誇る亀の井バス独得の名調子で説明しながら更に小唄に民謡に一興を添えて多種多様な地獄十ヶ所を次から次へと案内する。

行程 22軒 所要時間 1周2時間半
午前八時半より午後四時半まで三十分乃至一時間毎に発車。(適宜臨時増発もある)

◎十 地 獄 血の池地獄・瀧巻地獄 坊主地獄 カマド地獄 海地獄
鬼山地獄 白池地獄 雷園地獄 金龍地獄 鶴見地獄

◎一周バス料金 一人 100円 ◎学生並に一般団体は団体割引優待がある。

◎貸切バス (展望式大型ロマンスカー及び大型トレラーバス)も利用出来る。

◎地獄観覧料 (一般)十ヶ所共通券 130円 一ヶ所 25円
(小中学生)十ヶ所共通券 50円 一ヶ所 10円

ケーブル楽天地 西日本唯一のケーブルで、ケーブルカー車中よりの別府市街、海の眺望は実に雄大である。楽天地内は子供は勿論、一般の方の各施設が完備しており、大展望温泉浴場、家族湯、観音地獄、動物園、電気科学館、人形館、運動場、望月荘、子供の国(おサル)の電車、豆自動車トレラーバス、スクーター、スケート、飛行塔、ピツクリハウス)大食堂等を備えて皆様方の御来遊をお待ちしている。

ケーブル楽天地料金表	一般	高校生	中学生	小学生 幼稚園
1人	100円	100円	80円	60円
30人~99人	95円	90円	75円	55円
100人以上	90円	85円	70円	50円

ケーブル線時刻表 8時0分~18時50分(30分毎)



かもめ丸より別府を眺める

(別府湾遊覧船)

別府湾一周約一時間

大人 200円

小人 100円

(別府を中心とした日帰り観光コース)

風連鍾乳洞 深田石仏めぐり

風連鍾乳洞 大分県大野郡川登村野津川右岸に在り。旧洞と新洞に分れ洞内白色無垢その壮麗無比なること実に言語に絶し地下の一大殿堂として我国鍾乳洞中の白眉。

洞内夏涼しく冬暖かく施設完備して婦女子の探勝も容易であり天然記念物に指定されている。

旧洞 長さ400米、金世界、銀世界、龍宮城の三区に分れている。白銀に輝く、鍾乳石は天井より、ようらくの如く垂下し或は石筍の群叢となり千状万態、造化の妙趣に唯々感歎驚異の外はない。

新洞 旧洞より東半軒、長さ70米、自然井戸をなし九米の梯子によつて下る。千体薬師、人待地蔵、北斗七聖、冥想窟等17の名所があり其の美観は旧洞に劣らない。

入 場 料

大人 50円

小人 25円

深田石佛 大小60余体の石仏は其の大部分は磨崖仏で丘陵の大懸崖に羅列遺存し平安時代及鎌倉時代の作と謂はれる。その規模の大にして、作の優秀なる我が国石造美術界の最高峯として史蹟に指定されている。

行程 約117km バス所要時間 6時間

湯布院温泉 海拔480m、別府奥の院と称された九州の軽井沢として絶好の避暑地である。

朝霧の大観、初夏蜚群れ交う美観。鯉鮒と混浴する金鱗湖畔の温泉は独得のもので幽雅な旧蹟
秀麗な風光と共に浴客を喜ばせている。

泉質効能 胃腸病、神経痛、皮膚病

行程 約23軒、唯一の交通機関として亀の井バスが一日六往復している。

所要時間 1時間半 料金 90円

耶馬溪めぐり 海内無比の奇勝として始めて耶馬溪を周く世に紹介したのは申す迄もなく一代の
詩聖頼山陽である。

耶馬溪は山国川流域総面積70余万里に亘る峡谷一帯の総称で山陽の命名した耶馬溪より遙かに
広く名勝並に天然記念物に指定されている。

紅葉谷 「この深耶馬溪は名にし負う、紅葉の名所なれば…… 晩春、初夏の新緑と冬の
雪景色はそれぞれ美しく四季の名所である。」

一目八景 「此の溪谷の西、約7軒奥の谷筋一帯は耶馬十溪谷の一つである。」

裏耶馬溪 「此の溪谷の西、約7軒奥の谷筋一帯は耶馬十溪中の一つである。」

擲筆峯 「山陽先生が絵にも文字にも書き得ざる、絶景なりと感嘆し、筆を投げたと伝
えられる筆投山である。」

羅漢寺 「あの岩窟の右の方、断崖上に高く建つ羅漢寺は、開基六百年前の曹洞宗の一
名刹である。

青の洞門 「禅海和尚が衆生済度のため、30年の歳月を費して掘り抜いたと云う、競秀峯
直下の隧道でかの菊池寛の「恩響の彼方」と云う小説で有名である。」

行程 約190km 所要時間 9時間

2 名 所 旧 蹟

一、別 府 八 景

〔高 崎 山〕 別府湾頭に聳ゆるかぶと型の標峰で大別府を象徴する代表的名山にして史蹟又豊富である。標高628米、山脚は直に海中に入り山頂には六百年の昔大友氏が武威を九州に振ひし高崎城の遺趾があり現に残存する烽火釜は往時の史実を偲ぶものである。全山保安林にして山猿の禁猟区に指定され、珍鳥亦よく繁殖し、現在国立公園として指定せられ喜嬉として棲息する山猿の姿を見られる。浜脇東山より赤松峠を越えて登れば行程約一里にして山上の遠望は筆舌の及ばぬものがある。



高崎山自然動物園

〔鶴 見 ケ 丘〕 秀峰鶴見の裾野が海に続かんとする緩漫なる傾斜地帯で古来石垣原と呼ばれた所である。往昔慶長五年九月大友義統の軍三千余騎と黒田孝高の軍八千余騎とが秋風荒寥たる石垣原に対戦し激戦五日、屍山血河殺気天地を震撼せしめた古戦場で当時を偲ぶ幾多の史蹟がある。今は緑ヶ丘、雲雀ヶ丘等の住宅地となり、京都大学火山温泉研究所、九州大学温泉治療学研究所等の学術機関もある。

〔実 相 寺 山〕 別府市街の西北4軒、温泉地帯の中央に位し、山容恰も饅頭の如き翠巒である。慶長五年、中津城主黒田孝高が本陣を布き、大友義統の軍と力戦奮闘した古戦場である。頂上には日本山妙法寺があり樹木森々として繁り別府湾の碧水と茫漠たる石垣原とを脚下に俯瞰し得る、附近には忠烈の名を千載に伝うる大友方の忠臣吉弘公祀廟及古刹実相寺址がある。

〔観海寺、乙原高台〕 別府の西方に位する一帯の高台で別府市街を脚下に俯瞰し、洋々たる豊予の大観をを満眸する眺望は古来幾多の詩歌に詠ぜられている。

〔東 公 園〕 別府の南部、高崎山に連なる一帯の丘陵で金比羅山を中心としている。脚下に泉都の大市街を展望し、豊後湾の碧波に反映する 国東半島を遠望し、西方はるか由布、鶴見の秀峰を仰ぎ更に山岳美、海洋美、市街美を一眸の中に収むる景勝地で四季の行楽に適し附近には古来百穴と称する横穴古墳及北西には河鹿鳴く河内谷と云う溪谷がある。

〔日出城下海岸〕 別府湾頭の景勝地で別府より約12軒慶長六年以来の木下氏の城址がある。城下一帯の海岸には幾百年の星霜を経た巨木老松が聳立し、湾内の波静かに帆影のここかしこに浮遊する状、わけても仲秋の月影映ずる金波の眺は一輻の画を見る様である 名物に城下鯉がある。又松屋寺の蘇鉄は日本一を以て誇るに足るもので現に天然記念物に指定されている。

〔柴石溪流〕 別府の西北約8軒、柴石川の溪流に臨む幽邃境で往昔後朱雀天皇の皇太子親仁親王の御湯治遊ばされし地と伝えられる附近に柴の化石の出づるに依り柴石の名を生じた。流るる霊泉に身を浸せば霞々たる溪流の音は蟬の啼声と和し、さながら人外境にあるを覚ゆる。春の桜、秋の紅葉も亦一入美しい眺めである。

〔由布仙境〕 豊後富士の称ある霊峰由布の西に位する一大盆地で海拔590米、風光昌媚温泉も亦豊富である。別府を距る西方約20軒、堀田温泉を過ぎ、鳥居峠を越せば途中広漠たる城島高原や神秘的な猪ノ瀬戸等を過ぎ、現地の仙境に一步を踏み入るれば静寂の天地、雄大の景観は泰西の名画を見る如く盛夏尚晩秋の爽涼を感ずる恰好の避暑地である。鬱蒼たる巨木老杉、柗さびた六所権現・清泉湧出す若宮八幡、天然記念物大杉で有名な大杵神社、美しい金鱗湖、銀鱗湖、とりわけ朝霧のかすむ由布は見逃せぬ美観である。



高原ホテル

二、別府三勝

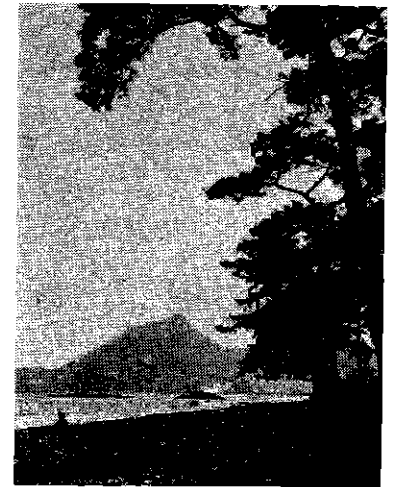
〔内山溪谷〕 別府の西方約二里、鶴見連峰と伽藍嶽と扇山の間に存在する一大溪谷で甍々一里余懸崖数千尺にして壯観を極めている。背後の山勢は急峻にして千古斧鉞の大原始林に接し春夏秋冬を通じ鶯の声を聞く事が出来る。殊に晩秋の紅葉は美しい眺めである。溪流中に温泉の湧出する地がありキャンプに絶好の適地である。

〔志高湖〕 別府の西南方約8軒、鳥居峠に近く、海拔590米の高原中に在り、周囲約4軒、湖面積の如く美しい湖水である。由布、鶴見の連峰を湖面に浮べ、春若草の萌出する頃、湖畔に悠々として牛群のつどう風景は正に其のままの名画にして、浮世の黄塵を絶つ景観の地である 夏はキャンプに冬はスケートに、一泊の清遊に好適である。

〔佛崎公園〕 別府より南へ6軒、大分へ通ずる国道の中途にある小丘陵で海辺には奇巖怪石磊々として相並び千古の緑を伝える（鶴の松）がある。丘上には無数の桜樹の鬱蒼として園内到處所風光に富み、一眸の中に収むる別府湾一帯の景観は全く近郊無比である。花時に来遊する人多く、電車自動車の便がある。

三、其の他の名所旧蹟

〔井上侯千辛萬苦の場〕 別府駅の西南、市公民館の北側にあり、元治元年九月故侯爵が山口城外袖付橋にて俗論派の兇刃に撃れし後別府に亡命し、若松屋主人、松尾彦七及び俠客灘亀の仁侠に依り匿われ創痍を養う傍ら維新の大業を企策した所である。明治四十四年五月侯は再び別府に來り、若松屋を訪ひ旧愆を謝し、四十七年前潜伏の室に入り往時を追懐して感慨に堪へず、直ちに筆を執つて「千辛萬苦の場」と書し之を楯間に掲げた由緒ある建物である。



聖人ヶ浜

〔大 佛〕 別府駅の西北にあり、高さ八十尺、拇指の周囲六尺八寸東洋一の釈迦像の称がある。

〔油屋熊八記念公園〕 別府駅の西方にあり、大分県観光の恩人油屋熊八翁の業績を記念に作られた道路小公園である。

〔城島原高台〕 別府西方9軒、由布鶴見の両山に抱かれた海拔600米の大高原で、空気高燥にして眺望雄大である。

〔聖人ヶ浜〕 市の北方餅ヶ浜海岸の北部、海中に突出した小松林で往昔一遍上人がここに船をつけ初めて九州の地を踏んだ処と伝えられる風光明媚の地である。

〔由布川峡谷〕 大分県50勝の一つで幼年期の峡谷美は黒部の縮図と称され両壁の屹立、清烈な流れは本峡谷の特長であり、冬季オンドリの群生は有名である。

〔十文字原〕 別府の大展望台とも云われ広大な草原美、猫岩山、ガラン岳の雄大な眺めと春のワラビ狩、秋の薬草採取は此の高原の持つ特長である。

〔山の口峡谷〕 大分県50勝の一つで観音滝を始め幾多の瀑布と深淵を持ち一竿を垂れてアブラメ、スワナを釣る好適な幽境である。

〔塚原盆地〕 雪峯由布、鶴見、離戸、立石、ガランの五山に囲まれた盆地で上代の遺蹟99塚と称する伝説の古墳群があり、爽涼の気満つ静寂境で附近に山の湯、塚原温泉場がある。

四、史 蹟

〔石垣原古戦場〕 観海寺温泉、湯研附近から実相寺山方面一帯がこの地で、慶長五年大友義統の臣吉弘兵衛尉統幸と黒田孝高の将井上九郎右衛門の両軍が合戦した所、現在の地獄回遊道路石垣原一帯が激戦の場所と伝えられ附近の境川にはこれに因んで「古戦場橋」と呼ぶ橋が架せられている。黒田軍が陣を構へたと謂はれる実相寺山は、将来の国際観光都市のセンターとし

て色々の計画が立てられているこの実相寺址には遺蹟が多く六面塔、法匠印塔等が旧寺内に残存し、山下の三島神社には奇水があり風光の地である。

〔鎮西八郎爲朝の城址〕 亀川と鉄輪温泉の中間に位し野田と称する高地にある。久寿二年四月鎮西八郎爲朝が速見郡領主大神惟敏父子及窰内庄司貞継等を伐ち従へ羽室山上に城を築き其の女達を質として弓術の練習をしていたと云う所で東西を塚ヶ城、東北を羽室城と云い、弓掛松と云うのが東北面の丘に残っている。城地高燥眺望佳、守るに易く取るに難き要害である。

地内に御霊社というのがある社殿の背後に十二基の五輪塔がある、内二基（鎌倉時代嘉元四年正月二十一日、吉野時代暦応二年六月二十八日）在銘塔は為朝十二妃の墓だと伝えている。

〔迫の横穴古墳〕 浜脇の田ノ口にあり、吉備山の東北の中腹廻路の一角、迫の部落にある突出した岬、処を宇土と云い東西の岬腹に各々三個の横穴古墳があつて形状規模等金毘羅山の横穴古墳群と同じである。宇土は洞穴を意味する古語という。

〔姫山メンヒル〕 亀川野田区の姫山の北面山中にある。此の巨石文化の遺蹟は二千五百年以前のものだと云われている。周囲は鬱蒼たる原始林にかこまれている、この石は神代紀の千引の鍛冶に等しいもので古来同所は神霊の地域と崇められている。

〔鬼の岩窟古墳〕 北石垣地区にあり、景行天皇紀に「天皇速見に到る女あり速津姫と曰ひ、一処の長となす天皇の車駕を自ら迎へ奉る路に依りて言へらく茲の山に大石窟に住す一を青と曰ひ二を白と謂ふ云々」とあり、又豊後国志には「風窟は今北石垣村にあり、俗に鬼の岩屋と謂ふ蓋し土蜘蛛賊の巢居する所なり云々」とある我が国考古学の泰斗故鳥居龍藏博士は九州稀有の円形大古墳であると考証した。古墳の高さ594米東西1,980米南北1,650米入口より最奥まで1,205米玄室の高さ330米、三室より成つている亦西方5,940米離れて石廊式西側古墳があり、二室より成つている。

〔貼返の滝六枚屏風岩〕 吉備山の西腹にあり庄内道に面す。滝は落下する事数百米飛瀑は溪谷を経て朝見川へそそいでいる、是より貼返の名がある。滝より登る事200米溪谷の断崖左右に迫り、数十丈の大巖石に宛も六曲の屏風を展げた様に乾

立して奇観であるので別府耶馬の名があり、附近は初松茸の産地として有名である。

〔乙原の滝〕 市内乙原区あり、飛瀑断崖絶壁に懸り落下する事 594 米深音轟々と溪間に響くので附近を音原とも云つた。水源は立石、小鹿等の山溪に発し、大巖石に堰かれ二段二条に岐れて落下その壮观は遠く海上より望むことが出来る、上段を雌滝、下段を雄滝と云い、殿頭に滝神の石祠があるが参拝者の為鉄鎖が設けてある、昔は英彦山の山伏の修験場であつたという、岬角の怪巖を天狗岩と称し文武天皇の守役の行者並に仁聞菩薩法蓮和尚等の修験だともいふ、又滝壺は雌雄の大蛇が寝み夜々乙原の里に出て人畜及田畑を荒すので里民が国主に訴えた処、大友氏時は屈強の武士を派遣したが之を滅する能はず鎌倉より下つた昌幸祐公和尚が法華経を誦読し念被観音力を以て遂に之を退治し五穀成就万民快樂の本懐を達したので国主氏時は祐公和尚の徳を敬い吉祥寺を創立したとの説がある。

〔お土産品〕 竹細工品、黄揚細工、湯の花、ざぼん漬、ゆづねり、温泉おこし、しばり染、藍胎漆器、針、温泉製菓等が当市の特産品で、品質も年々良くなつて、主として楠銀天街、銀座街、流川通り、中浜筋、弥生町各所の商店街で販売されている。

別府エレジー

坂口 淳 作詞
吉田 正 作曲
小沢直与志 編曲

一、湯の香消えても 思ひは残る
今宵一と夜の うす情
流す 流すギターも 哀しぢやないか
月も泣いてる 涙水灘はみだた
二、旅で結んだ はかない恋は
風にはうりと 散る椿
別れ 別れ切ない 手をとりあへば
佐がの岬の 灯もうるむ
三、たとえこのまゝ 別れたとて
なんで忘りよか 君のこと
別府 別府恋しと 旅路の空で
流すギターは さみしかろ

(制作担当 磯部健雄)

湯の香小唄

坂口 淳 作詞
吉田 正 作曲
小沢直与志 編曲

一、別府よいとこ 湯の香に明けて
ヨイトサツサ
夢の名残りか 白いうなじに サノセ
とけてからまる
とけてからまる 洗ひ髪 サツチネ
(雑子言葉以下同じ)
二、涙の砂湯で 見染めた二人
いつか一と夜の あつい情に
とけてはずかし
とけてはずかし 昼夜帯
三、月の出ごろか 四極しよすの山は
淡い湯の香に 暮れてほのぼの
ネオン花咲く
ネオン花咲く 名残川

四、恋の棧橋 出船のドラに

投げたテープも 切れて悲しや
泣いて別れる
泣いて別れる 人もある

五、夜の眺めは 遊覧船で
夢は七色 好きなお方と
二人連れなら
二人連れなら なほよかる
六、地獄めぐりは 乗合ひバスで
君と寄り添う 窓にたのしく
豊後富士さへ
豊後富士さへ ちよいとのぞく
七、春は桜よ 秋なら紅葉
恋のケーブル のぼりつめれば
浮世はなれた
浮世はなれた 楽天地

(制作担当 磯部健雄)

別府行進曲

西条 八十 作詩
江口 夜詩 作曲

(一)別府通ひの 汽船のうへで
ちらり見交す 顔と顔

あなたも アベックノ
わたしも アベックノ
ホネームーンののく青い空

(二)派手なパラソル 散る花うけて

地獄めぐりの 麗かさ
あなたも ドライヴノ
わたしも ドライヴノ
街は湯の川く湯のながれ

(三)瀬戸の漣 そよそよ夜風

なぜか嬉しい 対浴衣
あなたも スマートノ
わたしも スマートノ
ダンスしませうかく月の下

(四)浜の砂湯で ほのぼの二人

夢みごちの 真帆片帆
あなたも 永久ノ
わたしも 永久ノ
別府湯どころく縁どころ

別府湯の町音頭

徳丸 一郎 作詩
滝本利 一郎 作曲

(一)君を松原 よく北浜よ

湯の町別府はうれしかる
ともに忘れぬ 中浜通り
便りついたか 屈いたか

サツテモ ヨイノ
ヨイヤサノサ

(以下繰返し)

(二)春は楽しや 温泉まつり

湯の町別府は 人の波
昼は桜よ 夜は夜でネオン
唄も浮き浮き 流川

(三)バスに揺られて 温泉めぐり

湯の町別府は パラダイス
送りましたるか 送られませうか
船は棧橋 名残り紐

(四)音頭とれとれ 輪になれ踊れ

湯の町別府は お湯景気
汗になつたら 一風呂あびて
粋な浴衣で 又踊れ

別府ブルース

藤浦 洗 作詞
服部 良一 編曲

(一)恋の七色 テープが切れて

船は出て行く 湯の街港
波止場しぐれてまつげがぬれて
あそこホテルの
カーテン越しに
すゝり泣くよな サキソホン

(二)君は今頃 多度津の沖か

又の逢ふ日が つれない月日
一人松原 柳のかげで
ぬれるいずみの
しぶきのそばで
乙女椿の 散る夕べ

(三)思い浮べて 流れてゆれて

流川町 サロンのすみで
君がのこした やさしい言葉
書いて消しては
つくため息の
港娘に夜が更ける

別府流し

友永 豊 作詞
平川 英夫 編曲

(一)郷土の名物 流しは冴える

ヨイヤナ コイワイセ
月もヨイヤサで
ヤンレ踊り出す
ヤートコセーノ ヨイヤサ
ハレワイセ コレワイセ
ナンデモセー (以下囃子同じ)

(二)手振り品よい 姉さんかむり

ちらりえくば が投げる謎
(三)旅衆浮かれりや 月様笑ふ
四極山まんまる 寝ていやる

(四)私しや湯の町 別府の生れ

胸に情の 灯がともる
(五)別府名どころ 色よい所
瀬戸のかもめが 文づかい

瀬戸の島々

山下 彬麿 作詞
松平 信時 編曲

(一)瀬戸の島々ヨ 浪々こえて

豊後べつべつへはるくくと
豊後別府は東洋のナポリ
今じや世界の湯のみやこ

(二)花に若葉にヨ 鶴見丘ヨ

波に月浮くのはま
浜の彼方はアリアヤ日出の城
磯にカレイの住むところ

(三)地獄めぐりてヨ 石垣原ヨ

ここは大友古戦場
戦場とほれば夏草しげる
今もつわもの夢のやど

(四)鶴見風しにヨ テープはなびく

峰はしぐれて招く由布
由布よくもるな鶴見よさらば
一と夜波路じやまた逢へる

録

附

- 1 員 議 會 議 員
- 2 署 公 官
- 3 所 通 信 行 發 刷 物 局 支 聞 新
- 4 體 體 團 治 政
- 5 員 員 體 團 文
- 6 委 委 組 種 各
- 7 員 員 委 治 自
- 8 員 員 委 生 民

別 府 音 頭

西条 八十 作詞
 中山 晋平 作曲

(一) 別府湯の街ヨサコリヤサイサイ
 別府湯の街湯川に湯灌アリヤサイ
 一と夜千両のヨサコリヤサイサイ
 一と夜千両のお湯が湧く
 ハイノ~~~~ヨイシヨ~~~~ナ
 ヨイシヨ~~~~ハイノ~~~~ハイ
 (以下同じ)

(二) 虹は由布からヨサコリヤサイサイ
 虹は由布から縁は湯から
 恋しお方はヨサコリヤサイサイ
 恋しお方は瀬戸越えて
 (三) 誰に似たやらヨサコリヤサイサイ
 誰に似たやら湯煙けむり
 すねて見せたりヨサコリヤサイサイ
 すねて見せたりなびいたり

(四) 浜の砂湯でヨサコリヤサイサイ
 浜の砂湯で絵日傘させば
 沖の白帆がヨサコリヤサイサイ
 沖の白帆が寄つて来る

(四) 音頭とれとれヨサコリヤサイサイ
 音頭とれとれ声はりあげて
 由布の高嶺にヨサコリヤサイサイ
 由布の高嶺にとどくほど

温泉 おどり

西条 八十 選詩
 大村 能章 作曲

(一) おぼろ湯煙り紫そめて
 ハアー 別府よいとこ山と海
 お湯の情に抱かれて暮しや
 いつも春風 夢ごごち
 トコトロリトサ 夢ごごち

(二) 結ぶ縁を砂湯が招く

ハアー 君と北浜仲の良き
 ままよ浮名はかもめの唄に
 沖の白帆も 波まかせ
 トコトロリトサ 波まかせ

(三) 行こうか八景巡ろか地獄

ハアー ころろ極楽バスのうちへ
 うれし揺られてより添ふ笑顔
 豊後富士きへ 日本晴
 トコトロリトサ 日本晴

(四) うらら旅衆も浮かれて踊る

ハアー 温泉まつりの春景色
 あの娘齡ごろ 桜は見ごろ
 ほろり絵のように 花がちる
 トコトロリトサ 花がちる

1、県議会議員

昭 30.7.1 現在

氏 名	生 年 月 日	職 業	電 話 番 号	住 所
西 田 熊 太 郎	明 治 31.9.17	会 社 重 役	23	流 川
池 田 稔	明 治 19.5.1	会 社 重 役	158	浜 町
佐 藤 文 生	大 正 7.2.1	会 社 重 役	1,758次	真 光 寺
安 部 雅 也	明 治 27.6.22	会 社 重 役	127	上 田 の 湯

2、官公署其他

昭 30.7.1 現在

名 称	職 名	代 表 者 氏 名	電 話 番 号	位 置
別 府 市 役 所	市 長	荒 金 啓 治	3,000	大 字 別 府 100 番 地 / 1
別 府 市 公 民 館	館 長	阿 部 耘 平	642	上 田 ノ 湯
別 府 市 美 術 館	館 長	河 村 恒 雄	642	朝 見
別 府 市 図 書 館	館 長	河 村 恒 雄	642	"
別 府 市 競 輪 場	課 長	河 野 通 文	8,211 8,212	亀 川 平 田
別 府 市 亀 川 出 張 所	所 長 補 佐	原 田 李 一	8,001	亀 川 下
別 府 市 朝 日 出 張 所	所 長	荒 金 正 志	8,321	鉄 輪
別 府 警 察 署	署 長	大 津 尚 理	2,130	御 成 町
別 府 市 消 防 署	署 長	和 田 富 彦	1,570	南 町 下
別 府 市 立 工 芸 研 究 所	所 長	山 本 白 圭	342	立 花 通 り
大 分 県 別 府 県 税 事 務 所	所 長	首 藤 治 郎	2,900	浜 脇
大 分 県 物 産 観 光 館	館 長	築 城 加 久 雄	1,623	流 川 通 り 1 丁 目
大 分 県 別 府 工 芸 指 導 所	所 長	古 代 幸 三	1,482	秋 葉 通 り 12 丁 目
大 分 県 別 府 土 木 事 務 所	所 長	稻 栗 貞	8,208	亀 川 浜 田
大 分 県 別 府 労 政 事 務 所	所 長	中 尾 定 夫	346	中 浜 通 り 1 丁 目
大 分 県 別 府 渉 外 労 務 管 理 事 務 所	所 長	池 辺 駿 三	51	東 町
別 府 公 共 職 業 安 定 所	所 長	小 原 由 岐 雄	192	曙 通 り 2 丁 目
大 分 県 砂 防 工 事 事 務 所	所 長	小 菅 曾 登 雄	1,578	荘 園 町
大 分 県 立 別 府 病 院	院 長 心 得	宇 都 宮 彦 七	260	八 幡 区
大 分 県 立 別 府 保 健 所	所 長	広 瀬 重 信	1,200	上 田 ノ 湯
大 分 県 農 民 療 養 所	所 長	神 田 栄 治	84	荘 園 町
県 立 教 員 保 養 所	所 長	熊 ノ 御 堂 義 胤	1,255	"
別 府 通 信 診 療 所	所 長	岡 本 芳 生	1,400	楠 湯 通 り 16 丁 目
九 州 大 学 温 泉 治 療 学 研 究 所	所 長	八 田 秋	1,213	荘 園 町

名 称	職 名	代表者氏名	電話番号	位 置
国立別府病院	院長	高安慎一	8,500	龜川内籠
国立別府病院田ノ湯病棟	病棟長	阿久津徹	258	上田の湯
国立別府保養所	所長	代家 薫	2,500	荘園町
国立療養所別府荘	院長	鳥潟恒雄	460	朝 見
国立療養所光の園	園長	南 勲	1,518	荘園町
国立療養所石垣原病院	院長	中嶋俊郎	835	"
別府電話局	局長	山口藤夫	1,800	南 町
別府電報局	"	吉岡一郎	1,750	海門寺
別府郵便局	"	松本久馬	700	海門寺
浜 脇	"	永田欣也	1,551	上ノ町
松 原	"	甲斐猪之助	1,552	松 原
富士見	"	村田 潔	1,553	富士見通り4丁目
流 川	"	溝辺武臣	1,554	流川9丁目
南 町	"	河村義一	1,555	南 町
龜 川	"	藤内寛吾	8,042	龜川下
鉄 輪	"	佐原晃善	8,342	鉄 輪
観海寺	"	佐藤保雄	1,556	観海寺
別府特別電話局	"	伊東三夫	1,190	野 口 原
大分県別府簡易裁判所	所長	高橋猪兎喜	519	富士見通り6丁目
別府調達局事務所	所長	古長豊利	1,677	原 区
門司税関別府出張所	所長	亀田 環	8,203	北 別 府
別府区検察庁	副検事	田中一夫	311	不老泉通り11丁目
大分地方法務局別府出張所	所長	小野 繁	151	北 末 広
別府税務署	署長	吉田健次	2,110	流川11丁目
農林省大分統計調査事務所	所長	岡田 一	347-乙	魚 薬 町
別府出張所	所長	長谷川万吉	713	野 口 原
京都大学理学部附属火山温泉研究所	所長	長谷川万吉	713	野 口 原
農林省大分食糧事務所別府出張所	所長	藤原 太	1,728	立花通り2丁目
運輸省第四港湾建設局別府港工事事務所	所長	福内大正	2,450	南 石 垣
別府 駅	駅長	相部 鼎	236・193	北 町
東 別 府 駅	駅長	池田 進	442	東 町
龜 川 駅	駅長	青柳 義之	8,010	龜川浜田町
別府市観光協会	協会長	岡本忠夫	1,610	市役所内
別府商工会議所	会 頭	西田熊太郎	1,100	御 成 町
日本専売公社別府出張所	所長	曾我俊三	1,210	富士見通2丁目
日本交通公社別府案内所	所長	富永千秋	2,480	北 浜

3、新聞支局、印刷物発行通信所

昭 30.7.1 現在

名 称	代表者氏名	所 在 地	発行種別	電 話	発行年月日
毎日新聞別府通信部	天野次夫	不老町	日刊	1,105	大正11年10月23日
朝日新聞別府支局	須川常夫	不老町	日刊	76 471	大正14年3月28日
産業経済新聞別府通信部	松村典生	上田ノ湯	日刊	1,233	昭和8年1月1日
八雲短歌社	田吹繁子	錦 町	月刊	525 次	昭和13年7月1日
大分新聞別府総局	衛藤 馨	楠本町1丁目	日刊	2,003	昭和15年12月3日
大分放送局別府通信部	有吉晴雄	市役所記者室	放送	1,610	昭和16年6月2日
大分合同新聞別府支社	小松薬州邦	向浜上町	日刊	295 1,621	昭和17年4月3日
西日本新聞別府支局	藤井青三	太呂辺町	日刊	1,406	昭和17年4月18日
西日本商工新聞社	梅村 彰	向浜下町	旬刊	1,465 次	昭和21年5月1日
済美タイムズ別府支局	都 尚 政 教	朝 見	旬刊	一	昭和21年11月20日
別府タイムス社	田井正三	南 区	旬刊	1,146 次	昭和21年12月15日
商業タイムス社	山 蔭 智 軌	松原町8組	旬刊	1,751	昭和22年3月10日
泉都べつふ新聞社	渋谷銀蔵	上田ノ湯町	旬刊	1,853	昭和22年3月22日
東九州新聞社	有田耕也	北末広町	旬刊	1,181	昭和22年5月20日
鉄道観光新聞社	神崎豊星	上原町5組	旬刊	1,978 次	昭和22年7月1日
産 業 新 聞 社	山本耕平	上田ノ湯町	月刊	一	昭和22年9月20日
二豊の文化社	西 香 山	龜川四ノ湯	月刊	一	昭和22年11月1日
九州観光タイムス社	仁科昌男	北浜電停前	旬刊	73	昭和23年6月1日
国鉄新聞社	時元長一郎	西 町	旬刊	一	昭和24年3月7日
大別府新聞社	金沢 史	秋葉通8丁目	旬刊	一	昭和24年3月7日
読売新聞別府通信部	川端芳夫	西 町	日刊	一	昭和24年3月10日
西日本商工時報	築城 東	行合町	月刊	一	昭和24年4月1日
九州産業経済新聞社	岩田正樹	龜川浜田	旬刊	一	昭和25年1月1日
観光別府新聞社	市原旦久	上のヶ浜	月刊	一	昭和25年1月10日
大分読売新聞社	戎 篁 一	西立田町	旬刊	一	昭和25年5月5日
新九州新聞別府通信部	江口 茂	浜 町 商工会議所内	日刊	1,100 1,220	昭和25年9月1日
泉都タイムス社	鶴 素 文	朝 見	旬刊	一	昭和25年12月25日
湯けわり社	松本 登	真光寺	月刊	一	昭和26年5月1日
国際観光新聞社	小野良太郎	東 仲 町	旬刊	一	昭和27年2月1日
大分報知社	矢木武夫	永石通七	月刊	一	昭和27年11月10日

名 称	代表者氏名	所在地	発行周期	電 話	発行年月日
芸 道 新 聞	今 村 吉 彦	仲 町	月刊	—	昭和27年 7月 1日
伊予合同新聞大分総局	小 林 美 津 路	上 田ノ湯	日刊	—	昭和27年 8月 9日
観 光 新 聞 社	瀬 戸 山 鉄 太 郎	南 立 石 二	旬刊	1,074	昭和28年 4月 1日
ス ポ ー ツ 大 分	登 肥 常 一	上 原	旬刊	—	昭和28年 9月 1日
新 別 府 新 聞 社	上 方 滋	向 浜 下	週刊	—	昭和29年 1月10日
大 分 新 報	岡 本 敏 夫	亀 川 上	月刊	—	昭和29年 3月 1日
豊 州 雑 筆	柳 川 勉	南 町	月刊	—	昭和29年 7月 1日
九 州 新 聞 社	中 野 正 之	東 仲 町	旬刊	—	昭和29年 8月 1日
今 日 新 聞	塩 上 栄	旭 通 り 四 丁 目	日刊	—	昭和29年11月25日
時 事 新 聞 社	大 串 菊	南 区	旬刊	—	昭和29年12月 1日
大 東 新 聞 社	二 宮 金 蔵	富 士 見 通 り 八 丁 目	旬刊	—	昭和30年 5月12日
九 州 憲 政 時 報 社	小 野 隆	流 川 通 り 十 三 丁 目	旬刊	2,398	昭和30年 7月12日

4. 政 治 団 体

昭 30.7.1 現在

名 称	結 成 年 月 日	所在地	代表者氏名	名 称	結 成 年 月 日	所在地	代表者氏名
日本社会党 別府支部	昭 23. 8	流 川	内藤 慎三	別 府 同 志 会	昭 28.12	不老町	森本兎之助
白 菊 会	昭 25. 4	浜 脇	古賀 一郎	明 誠 会	昭 29. 6	向浜下	石田代太郎
自 由 党 別府支部	昭 26. 1	不老町	村上 春蔵	国粋青年隊 大分県支部	昭 29. 8	楠 浜	小林 健
日本共産党 別府細胞	昭 26.10	北野口	永松 道夫	日本民主党 別府支部	昭 29.12	仲 町	村田 左文
別府市政 革新同志会	昭 27. 6	流 川	江藤 隆夫	鶴見郷 振興会	昭 30. 1	鶴 見	安部 政雄
愛市青年連盟	昭 27. 6	柳 町	渡辺 皓州	民主党別府市石 垣振興同志会	昭 30. 1	南石垣	荒金 梅枝
別 府 十 日 会	昭 28. 3	仲 町	村田 左文	協同組合 別府専門店会	昭 30. 4	仲 町	近藤 健一

5. 文 化 団 体

昭 30.7.1 現在

名 称	事 務 所 在 地	役員氏名	名 称	事 務 所 在 地	役員氏名
別府市映画の会	鶴 水 園	内藤 慎三	梅 園 婦 人 会	梅 園	甲斐コウメ
別府市簿記友の会	公 民 館 内	高山 正成	洗 心 会	北 町	伊藤 タカ
別府市青年研修会	"	和田 吉久	西 方 寺	本 町	酒井 トク
八 雲 短 歌 会	錦	田吹 繁子	仲 町	仲 町	田辺ミソノ
別 府 パ レ ッ ト 会	流 川 通 り 四 丁 目	中条 正一	錦	錦 町	清松よし江
別 府 美 術 協 会	"	"	錦 白 珠	"	田吹 繁子
別府市華道連盟	高 砂 町	青木 碧山	友 の 会	不 老 町	藤森 睦子
小原流国風会 大分支部	上 田ノ湯	三浦 光緒	栄 婦 人 会	栄 町	兼子 貞子
旧嵯峨御所 華道別府司所	南 町	羽田 翠宵	朝 見	朝 見	河村 垂我
中組若草青年会 筑前琵琶	火 売	工藤 公男	上田の湯	上 田 の 湯	石川 貞代
別府清絃会	楠 浜	塩月 旭禎	田 の 口	田 の 口	近藤 サワ
" 別府旭会	下 野 口	秦 恵喜太	山 田	山 田	竹ノ内フサ子
演 芸 グ ル ー プ	旭 通 り 二 丁 目	大賀 ルイ	東 山 連 合	東 山	平野美和子
別府コーラス会	朝 見	草場 和夫	北 石 垣	北 石 垣	伊藤シズエ
亀川ピアノ友の会	亀 川	渡瀬 末信	南 石 垣	南 石 垣	荒金ミツ子
別府面劇文化組合	山 田	筒井 恰	宝 蓮 寺	上 人	国東 テズ
糸 竹 会	永 石 通 り 七 丁 目	藤田 筑山	田 の 湯	四 の 湯	児玉 瑞子
鶴 柳 会	行 合	若林 梅子	泉 会	照 波 園	須東 妙子
青 柳 会	亀 川 中	花柳芳七治	北 中 婦 人 会		松川 敏子
亀 川 若 柳 会	亀 川 下	若柳吉正寿	森 山	実 相 寺	新辺 君子
さ と な み 会	南 町	岩崎竹五郎	馬 場	馬 場	西山 敏子
成 美 会	朝 見	神 燭二	小 倉	小 倉	長野ヤス子
糸 柳 会	東 仲 町	花柳芳七糸	竹 の 内	竹 の 内	平 ケイ子
富 士 見 婦 人 会	富 士 見	工藤 寿香	中 組	中 組	近藤ゆき子
大 和	大 和	池崎 千代	鶴 見	鶴 見	上田ヤス子
北 町	北 町	池崎 千代	大 畑	大 畑	吉岡 政子
行 合	行 合	西田喜久子	北 中	北 中	吉田フジエ
下 野 口	下 野 口	矢野 まき	明 礬	明 礬	脇屋モ、エ
東 野 口	東 野 口	三好 時子	湯 山	湯 山	恒松 久子
南 区	南 区	香椎 咲子	北 鉄 輪	北 鉄 輪	椎木 チエ
中 島	向 浜	河野 初子	婦 人 有 権 者 同 盟	梅 園	甲斐コウメ

名 称	事務所所在地	役員氏名	名 称	事務所所在地	役員氏名
桜風会別府支部	錦	田吹 繁子	朝 幡 子供会	八 幡	紫田宗二郎
山 田 子供会	山 田	末友 敏博	朝 見 親子会	朝 見	小野 勝美
八 幡 "	八 幡	貫島 実	鶴 見 "	鶴 見	大友 富藏
金光教泉郷少年少女会	錦	川田 雅章	信行寺 "	亀 川 中	首藤 孝之
錦 小 鳩 会	錦	益田 学	西校原地区 こども会	原	浜崎 直
大 畑 小 供 会	大 畑	長野 末夫	真光寺 "	真 光 寺	工藤 隆喜
新別府 "	新 別 府	安部フサエ	富士見 "	富 士 見	坂東 四良
四の湯 "	四 の 湯	児玉 瑞子			

名 称	代表者氏名	所在地	電 話	名 称	代表者氏名	所在地	電 話
別府竹製品工業 協同組合	岩尾 直	秋 葉	342	別府メソセン ジャー組合	中川清市	北 町	1,227
別 府 栗 劑 師 協 会	益田 学	錦	2,080	別 府 栗 子 商 組 合	宮崎益雄	秋 葉	1,082
別府竹製玩具 工業組合	得丸 積	松 原		別 府 果 実 商 組 合	安部定雄	浜 町	573
別府時計眼鏡 商組合	東保辰生	銀 座	365	別 府 芸 妓 寮 組 合	中村藤太郎	検番内	1,019
別府写真商業組合	久保田要	港 町	515	別 府 芸 妓 組 合	目黒えみ	"	1,019
別府陶磁器商組合	野口喜一	羽 衣	728	別 府 地 獄 組 合	高橋万吉	鉄 輪	8,305
別府紙文具商組合	森沢光雄	楠 町	751	亀 川 旅 館 組 合	手嶋康夫	亀 川	
別 府 印 刷 業 組 合	梶原君三	南 町	1,016	新正亀川旅館組合	手島藤夫	"	8,174
別府電気工業 組合	金尾留蔵	不 老	1,381	亀 川 商 工 会	高橋福松	"	
別府ラジオ商組合	浜田摩吾	中浜筋	1,511	鉄 輪 旅 館 組 合	原 良三	鉄 輪	8,358
別府自転車商組合	中川勝見	海門寺	2,598	鉄 輪 貨 間 組 合	佐藤晴吉	"	
別 府 青 果 商 組 合	富山政市	泉 町	2,360	鉄 輪 商 工 会	本田已太郎	"	
大分県冷菓工業組 合別府支部	西田熊太郎	桜 町	23	観 海 寺 旅 館 組 合	吉武義人	観海寺	339
別 府 鮮 魚 商 組 合	若藤八郎	御成町	139	明 礬 旅 館 組 合	緒方 真	明 礬	8,328
別 府 豆 腐 商 組 合	阿部猪七	秋 葉	1,934	海 門 寺 市 場	斎藤生知	海門寺	
別府食肉商業 協同組合	山崎春生	銀 座	141	竹 瓦 市 場	佐藤武夫	竹 瓦	810
別府滝鉦工業 協同組合	本山秀雄	御成町	423	別 府 旅 館 組 合	佐藤福治	楠 浜	401
別府酒類販売組合	二宮唯志	梅 園	369	別 府 料 理 業 組 合	森川泰広	不 老	360
大分県酒類卸協同 組合別府営業所	水江保男	浜 町	1,743	別 府 食 堂 商 業 協同組合	津田八郎	本 町	546
別 府 医 師 会	山本哲次郎	錦	2,394	別 府 旅 館 徒 業 員 組合	板東 茂	駅 前	2,293
別 府 齒 科 医 師 会	酒井修一	港 町	421	別 府 料 飲 店 組 合	新宅喜一	秋 葉	473
別 府 鍼 灸 按 摩 師 会	後藤十郎	南 区	408	別 府 貸 席 組 合	阿部 新	梅 園	1,128
大分県米穀卸 協同組合	星野数夫	松 原	911	泉 都 旅 館 組 合	木村男也	仲 町	1,310
別府リソタク組合	水本悦弘	原	1,869次	別 府 A B C 組 合	"	"	2,580
別 府 理 容 師 会	溝部展平	楠 町		楠 銀 天 街	近藤健一	楠 町	615
別 府 美 容 師 組 合	広瀬重信	上田ノ湯		中 浜 筋 会	北村正夫	中 浜	1,305
大分県建設協会 別府支部	大石哲也	錦 町	1,137	流 川 通 り 会	西尾 博	流 川	224

6、各種組合

昭 30.7.1 現在

名 称	代表者氏名	所在地	電 話	名 称	代表者氏名	所在地	電 話
別府市農業 協同組合	大野 義雄	曙通り	1,483	別 府 美容師連盟	安東 未子	浜 町	677
亀 川 "	高橋 作市	亀川浜田	8,216	別 府 遊戯場組合	森田忠太郎	楠本町	
朝 日 "	矢田 光夫	鉄 輪	8,341	別 府 興業組合	八坂 芳雄	日ノ出	988
石 垣 "	弥田 五郎	南石垣	601	別府商店街 協同組合	青木 光次	銀 座	975
別府漁業 協同組合	長井 芳雄	泉 町	708	中央市場	生駒 昇三	梅 園	440
亀 川 "	松村 三郎	亀川古市	8,049	標準市場	駒田 団二	錦	2,024
亀川北部 "	寺山 斜一	" 中	8,218	松原市場	築山弘三郎	松 原	705
別府小間物化粧 品石鹸小売 商組合	甲斐 位次	銀 座	949	流川市場	小林 賢二	仲 町	
別府専門店会	近藤 健一	仲 町	2,065	"	吉田 政之	流 川	548
別府百貨連盟	西尾 博	流 川	1,170	別 府 質屋組合	野田 幹雄	秋 葉	914次
みつわ会	伊藤 信一	秋 葉	2,319	大分不動産 商組合	大塚 熊喜	流 川	1,629
別府竹製品商 業協同組合	諸賀 弥十	"	914	別 府 木材商組合	園上 静馬	曙 通	1,547

名称	代表者氏名	所在地	電話	名称	代表者氏名	所在地	電話
大分県電気工事協同組合	井上要平			日豊竹工業協同組合	由布 定	錦	
大分県製品販売協同組合	河村 茂	楠 町	1.209	別府洋服商工組合	佐藤荒太	行 合	
竹製品工業協同組合	大野彰一	原 区		大分県水産加工協同組合	梶原慶三郎	立田町	
弥生町通り会	玉井政美	弥生町	1.444	県注文服商工業協同組合	後藤雪馬	永石通	
尾花町通り会	前田松夫	行 合	892	大分県漬物業協同組合	近藤一夫	秋葉通	
銀座繁栄会	根ノ木正男	流 川	1.373	県植物油脂工業協同組合	中野金吾		
別府衣料品協同組合	井上正人	不 老		別府家畜商業協同組合	梶原道重	鶴 見	
駅前繁栄会	松野 直	北 町	833	大分県竹ビーズ加工協同組合	園田伍三郎		
羽衣泉都街	野口喜市	羽 衣	728	泉都中古衣類協同組合	片岡辰男	向 浜	
浜脇商店街	渡部昌志	新 町	2.021	県故漁業資材商業協同組合	前田松夫	行 合	
新天地食堂街	松田喜一	海門寺		亀川青果商業協同組合	藤内洋三	亀 川	
別府土産品協会	岡本亮介	別府市役所 議事室内	3.000	別府速見土建工業協同組合	伊藤徳重	亀 川	
別府目家用自動車組合	紀井 進	浜 町	1.120	別府高熱温泉事業協同組合	石坂一馬	南石垣	
日豊輸出竹製品協同組合	小泉吉三	東 町	164	速見木材協同組合	徳田鶴太郎	行 合	
南豊竹笠工業協同組合	友永福市	八 幡	1.632次	県輸出竹材竹製品協同組合	長沼秀六		
大分県主食卸商業協同組合	草本利雄	北 町	78	別府土産品製造販売協同組合	西尾 博	流 川	
北浜繁栄会	佐藤武雄	北 浜		別府竹製品工業協同組合	岩尾 直		
別府移動商業協同組合	金本 勇	松 原		別府燃料商業協同組合	和田陸郎	錦	
国鉄推薦旅館連盟 大分支部 別府連絡会	岡本忠夫	流 川	2.200	速見郡建設業協同組合	工藤茂男	亀 川	
泉都小路割烹組合	東条義海	羽 衣	2.334	別府観光社協同組合	近藤健一	駅前通	
別府漬物佃煮組合	菊地清治	錦		別府竹業品協組連合会	池田 穂	指導所内	
別府米穀販売組合	荒巻辰郎	松 原		別府旅館業協同組合	真宮 保	南立石	
別府製氷組合	佐藤静雄	的ヶ浜		別府温泉旅館協同組合	水谷宅末	北 町	
別府金融懇談会	当番銀行						
別府貸金業組合	佐藤武夫	中 浜	575				
別府輸出竹製品協同組合	時枝高雄	錦					
別府竹籠工業協同組合	佐々木佐治	立田町					

7、自治委員

昭30.7.1現在

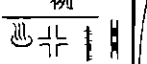
町名	氏名	町名	氏名	町名	氏名	町名	氏名
天満町	新田 百一	上 原	村上 嘉市	新 町	角田 日吉	火 売	後藤 武重
上野口	佐藤 義人	住 吉	久保 鶴繁	魚 菜	岩崎 四郎	鉄 輪	
東野口	河島 守義	松 原	諸富 典稔	田の口	近藤 サヲ	北鉄輪	椎木 清
南野口	羽田野義夫	向 上	舞 万蔵	浦 田	古沢又一郎	亀川上	手島 康夫
下野口	矢野 道雄	向 下	福原 金一	河 内	手島 狷介	〃 中	宮森 源吾
大 和	亀川秀次郎	中 浜	宮内 常吉	鳥 越	石井 森与	〃 下	堀下 八郎
富士見	矢野 嶺雄	浜 町	三上 信賢	柳	大野 末男	平 田	荒金 勇
行 合	山崎 正人	羽 衣	栗尾 清秀	東蓮田	小曾根正宣	四の湯	荒金 武八
北 町	藪成 久夫	秋 葉	市原 綱五郎	西蓮田	梶原 幸造	内 籠	上原 虎太
北 浜	石井 嘉俊	北末広	中道 走介	山 家	辻 勘治郎	古 市	高橋 作市
海門寺	二宮 威徳	南 町	河村 万平	東 町	加藤 栄治	野 田	竹下 伝
楠 浜	野田 敏彦	南 区	今村 蘭平	東仲町	阿部 信明	浜 田	伊東 義孝
流 川	林 庄吉	南 下	山下 藤間	実相寺	松川 庄作	湯 山	草牧 来良
老 松	久間 敏弘	朝 見	手島 市郎	北中須賀	江藤 貢	上人浜	土岐 亨
仲 町	田辺 光由	此の花	後藤 博	五春木	佐藤 若松	国 立	高橋 直
楠 町	近藤 健一	錦	山本 哲次郎	南須賀	佐藤 輝男	南立石一	相部 吾助
的ヶ浜	藤原虎之助	乙 原	浜崎 和枝	上人町	山林 末吉	〃 二	甲斐 艶喜
上のヶ浜	玉田 初平	原	大野 彰一	南石垣	荒金利喜太	堀 田	荒金 吉郎
梅 園	佐藤 衛	上朝見	糸永 辰雄	吉 弘		荘 園	手嶋 利勝
日の出	鶴田 浩道	眞光寺	工藤 強吾	若 草	長井 武吉	扇 山	冢田 政雄
港 町	河合式太郎	栄 町	松田 長四郎	明 礬	平野 伍一	東山一	阿部 勝亀
弓ヶ浜	河村 坦吉	八 幡	友永 蘭平	小 倉	田中 肇	〃 二	大野 彦馬
西野口	安部 英吉	上の町	浜崎 鈴夫	竹の内	荒金 顯二	枝 郷	日高 豊
本 町	堀 七衛	赤 松	佐々木 稼	馬 場	河野 玉喜	山の口	矢野 亥三雄
不老町	森川 金造	西 町	尾 林 俠	新別府	新辺 林一	城 島	田原 春吉
田の湯	草野 貞雄	山 田	中野 録三	鶴 見	後藤 熊造		
上田の湯	山内 春吉	南末広	松井 静雄	大 畑	荒金 俊平		

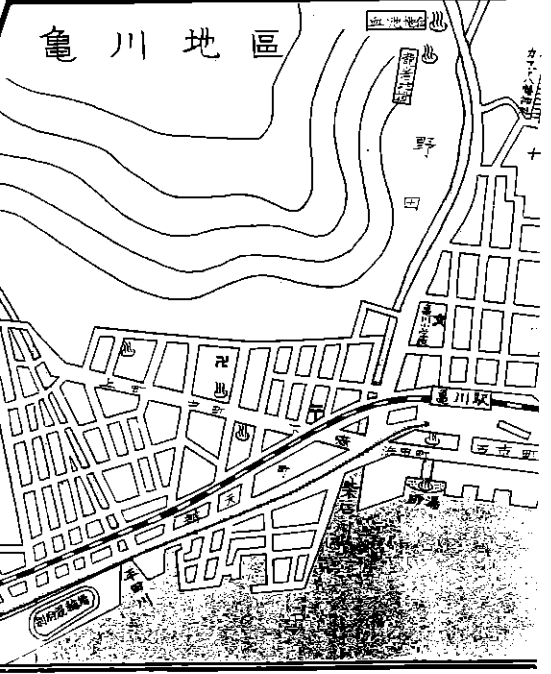
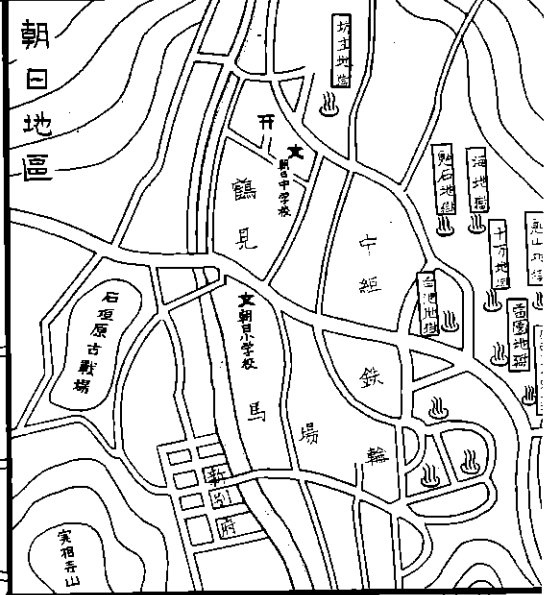
8、民生委員

昭30.8.1現在

町名	氏名	町名	氏名	町名	氏名
本町	堀七衛	北全校区	平野富貴子	魚藻	入江文雄
不老町	明石泰良	浜町	竹本福馬	東仲町	阿部信明
田ノ湯	三浦徳治	松原	久保好雄	東町	永井寿一郎
上田ノ湯	指原熊雄	向浜上	舞万藏	山冢	東保数雄
上原	末松利治	向浜下	福原金一	浦田	佐藤高藏
西野口	吉野秀夫	住吉	波多野参一郎	田ノ口	佐藤高藏
全校区	堀永みつ子	南区一		河内	佐藤幸三郎
上野口	安部佐一	南区二	今村カナエ	吉弘	宮本彦吉
天満	久恒百応	南下	野村直次	冥相寺	板井録市
東野口	友永辰平	中浜	豊島森太	北石垣	矢多豊水
南野口	加藤八五郎	羽衣	安達晴薫	上人	平松実
下野口	片野重老	南町	梶原君三	石垣全校区	上野サク
北町	高橋一	秋葉	河野力	平田	環大見
行合町	又野勝	北末広	有田耕也	四ノ湯	
大和	亀川秀次郎	南全校区	工藤馬	亀川上	宮内政美
富士見	住原得雄	錦	大津留維一	亀川中	田中要作
野口全校区	工藤寿香	此ノ花	上野光張	亀川下	加藤寛
弓ヶ浜	指原黒衛門	栄	黒田清次郎	古市	藤内隆止
的ヶ浜	藤原虎之助	真光寺	中河原チエ子	浜田	佐藤庄一
上のヶ浜	中要新作	上朝見	大野一郎	内竈	高橋哲夫
老松	安部サタヨ	朝見	河村無我	野田	関藤寿夫
海門寺	長山憲弘	乙原	浜崎亨	湯山	恒松助之丞
日ノ出	末友清	原	大野義雄	亀川全校区	松村孝子
北浜	中野作一	八幡	石松正木	北鉄輪	矢野光夫
梅園	佐藤衛	西全校区	山本久子	明礬	加藤蕃
流川	藤岡秀雄	山田	阿部吉彦	鉄輪	丸山四郎
楠町	佐藤喜代秀	西蓮田	野副春三	火売	近藤喜一
楠浜	後藤義彦	西町	河越利一郎	新別府	久末吉次
仲町	田辺みつ子	上ノ町	糸永今日平	馬場	西山大一
港町	河合藤七	新町	角田日吉	柳	大野喜衛門

町名	氏名	町名	氏名	町名	氏名
鳥越	葛城倉一	南立石全校区	林松江	大畑	荒金俊平
赤松	葛城倉一	東山一	田中久喜	竹ノ内	桑原貞夫
東蓮田	森与之吉	山ノ口	小野清彦	小倉	大野弘
南末広	仲元寺久男	城島	田原亀鶴	朝日全校区	安波サキ
蓮田全校区	糸永スギ	東山二	大野豊吉	荘園	太田治
若草	長井武吉	枝郷	大野朴	扇山	倉田晴一
南石垣	矢田保	東山全校区	平野美和子	南立石一	相部吾助
南立石二	村上有仙	鶴見	猪頭理市		

例

 温道電鉄
 東路車道



別府市街圖

別府市勢要覽

昭和30年11月10日印刷
昭和30年11月15日発行

【非賣品】

編集者 別府市役所市長室調査係
印刷者 大野綾藏
印刷所 大野印刷所
発行所 別府市役所